

令和5年度

主要施策の成果に関する報告書
定額の資金を運用する
基金の運用状況報告書

千葉県

目 次

主要施策の成果に関する報告書

第1部 総 論

県財政の状況

1 一般会計決算の状況	1
2 特別会計決算の状況	2
3 県債の状況	2

第2部 各部門の事業概要

1 総 務 部	11
2 総合企画部	24
3 防災危機管理部	35
4 健康福祉部	40
5 環境生活部	76
6 商工労働部	101
7 農林水産部	118
8 県土整備部	144
9 教 育 庁	161
10 警 察 本 部	179

定額の資金を運用する基金の運用状況報告書

1 土地開発基金・美術品等取得基金運用状況報告書	183
--------------------------------	-----

主要施策の成果に関する報告書

第 1 部 総 論

県財政の状況

本県の財政は、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、新型コロナウイルス感染症に対応するための歳出及びその財源となる国庫支出金等の歳入が大幅に減少した。

こうした中で、令和5年度は、防災・交通安全など危機管理や県民の安全確保にしっかり取り組みながら、県内経済の活性化、子育て・教育施策の推進、地域づくりや千葉ブランドの確立など、将来の千葉県の発展につなげていくための施策を実施した。

また、物価高騰対策として、農業者・漁業者、医療機関、社会福祉施設や子育て世帯などを支援するとともに、令和5年台風第13号の接近に伴う大雨により被害を受けた方々の生活再建支援やインフラの復旧、被災地域の復旧・復興に取り組んだ。

この結果、令和5年度の一般会計及び特別会計の決算は以下のとおりとなった。

1 一般会計決算の状況

(1) 決算規模及び収支の状況（第1表）

令和5年度一般会計の決算は、歳入が、前年度比8.9%減（1,968億6,447万円減）の2兆212億5,682万円、歳出が、前年度比8.8%減（1,923億8,825万円減）の1兆9,976億2,592万円であり、いずれも減となった。

実質収支は96億4,690万円となったが、このうち38億4,817万円は、新型コロナウイルス感染症に係る交付金等の概算交付によるもので、今後、国に返還する必要がある。このため、国庫返還分を除いた実質収支は、57億9,873万円となった。

歳入が8.9%減、歳出が8.8%減と、いずれも大幅な減となったのは、新型コロナウイルス感染症に対応するための歳出が、前年の3,648億円と比べ2,430億円減の1,218億円となり、その財源となる国庫支出金等の歳入も大幅に減少したことが主な要因である。

(2) 歳入内訳（第2表、第3表）

歳入総額2兆212億5,682万円の内訳は、県税9,260億1,472万円、構成比45.8%（対前年度比227億8,168万円、2.4%の減）、国庫支出金2,590億578万円、構成比12.8%（対前年度比1,553億6,236万円、37.5%の減）、地方交付税2,335億915万円、構成比11.5%（対前年度比196億1,139万円、9.2%の増）、地方譲与税1,226億413万円、構成比6.1%（対前年度比4億9,339万円、0.4%の増）、地方特例交付金40億2,034万円、構成比0.2%（対前年度比3億2,233万円、7.4%の減）、県債1,360億3,697万円、構成比6.7%（対前年度比131億6,623万円、8.8%の減）等となった。

また、県税、諸収入、使用料及び手数料等の自主財源は、1兆2,649億8,581万円、構成比62.6%

(対前年度比3.7%の減)となり、国庫支出金、地方交付税、地方譲与税、県債等の依存財源は、7,562億7,101万円、構成比37.4%(対前年度比16.4%の減)となった。

(3) 歳出内訳 (第4表、第5表)

歳出総額1兆9,976億2,592万円の内訳を目的別に見ると、総務費1,416億3,070万円、構成比7.1%(対前年度比140億7,858万円、9.0%の減)、民生費3,624億7,003万円、構成比18.1%(対前年度比62億5,593万円、1.8%の増)、衛生費1,140億6,439万円、構成比5.7%(対前年度比1,234億8,871万円、52.0%の減)、商工費2,612億8,523万円、構成比13.1%(対前年度比628億6,406万円、19.4%の減)、土木費1,419億531万円、構成比7.1%(対前年度比116億130万円、8.9%の増)、警察費1,429億9,719万円、構成比7.2%(対前年度比2億5,463万円、0.2%の減)、教育費3,467億1,483万円、構成比17.4%(対前年度比135億4,649万円、3.8%の減)等となった。

また、性質別に見ると、消費的経費1兆5,476億3,604万円、構成比77.5%(対前年度比2,132億2,821万円、12.1%の減)、投資的経費1,749億8,533万円、構成比8.8%(対前年度比162億944万円、10.2%の増)、公債費2,263億8,791万円、構成比11.3%(対前年度比25億2,485万円、1.1%の減)、繰出金486億1,664万円、構成比2.4%(対前年度比71億5,536万円、17.3%の増)となった。

2 特別会計決算の状況 (第6表)

令和5年度における特別会計の決算状況は、18会計で歳入総額2兆41億5,104万円(対前年度比449億4,394万円、2.3%の増)、歳出総額1兆9,737億6,621万円(対前年度比444億3,223万円、2.3%の増)となった。

3 県債の状況 (第8表)

一般会計における令和4年度末現在高は3兆7,482億1,182万円、令和5年度の発行額は1,360億3,697万円、元金償還額は2,057億7,681万円であったことから、令和5年度末現在高は3兆6,784億7,198万円(対前年度末比697億3,984万円、1.9%の減)となった。

第1表 一般会計決算収支の状況

(単位：千円)

区 分	5 年 度 ①	4 年 度 ②	比 較	
			①－②	①／② (%)
歳 入 総 額 (A)	2,021,256,824	2,218,121,298	△ 196,864,474	91.1
歳 出 総 額 (B)	1,997,625,919	2,190,014,171	△ 192,388,252	91.2
差引額 (A)－(B) (C)	23,630,905	28,107,127	△ 4,476,222	
翌年度へ繰り越すべき財源				
通次繰越 (D)	47,868		47,868	
明許繰越 (E)	13,436,057	14,103,668	△ 667,611	
事故繰越 (F)	500,080	907,688	△ 407,608	
計(D)+(E)+(F) (G)	13,984,005	15,011,356	△ 1,027,351	
実質収支(C)－(G)	9,646,900 (5,798,730)	13,095,771 (6,214,625)	△ 3,448,871 (△ 415,895)	
単年度収支	△ 3,448,871 (△ 415,895)	△ 15,079,312 (△ 2,071,103)	11,630,441 (△ 1,655,208)	

() 内は、新型コロナウイルス感染症に係る交付金等の返還分を控除したものの。

第2表 一般会計歳入決算状況

(単位：千円)

区 分	5 年 度			4 年 度		
	決算額	構成比 (%)	対前年度比 (%)	決算額	構成比 (%)	対前年度比 (%)
1 自 主 財 源	1,264,985,814	62.6	96.3	1,312,994,622	59.2	101.9
(1) 県 税	926,014,720	45.8	97.6	948,796,403	42.8	104.0
(2) 諸 収 入	261,465,802	12.9	96.3	271,431,122	12.2	99.6
(3) 使用料及び手数料	26,055,057	1.3	94.4	27,586,174	1.3	98.6
(4) 分担金及び負担金	7,736,760	0.4	110.9	6,974,311	0.3	78.4
(5) そ の 他	43,713,475	2.2	75.1	58,206,612	2.6	86.5
2 依 存 財 源	756,271,010	37.4	83.6	905,126,676	40.8	72.4
(1) 国庫支出金	259,005,777	12.8	62.5	414,368,140	18.7	65.0
(2) 地方交付税	233,509,147	11.5	109.2	213,897,762	9.6	84.1
(3) 地方譲与税	122,604,134	6.1	100.4	122,110,747	5.5	117.9
(4) 交通安全対策特別交付金	1,094,646	0.1	90.9	1,204,154	0.1	90.7
(5) 地方特例交付金	4,020,339	0.2	92.6	4,342,673	0.2	100.7
(6) 県 債	136,036,967	6.7	91.2	149,203,200	6.7	60.1
合 計	2,021,256,824	100.0	91.1	2,218,121,298	100.0	87.4

第3表 一般会計歳入決算状況（款別）

款 別	5 年 度 予 算 現 額			
	当 初	補 正	繰越充当	計 (A)
1 県 税	930,937,000	△ 7,377,000		923,560,000
2 地 方 譲 与 税	114,368,000	7,958,000		122,326,000
3 地 方 特 例 交 付 金	4,100,000	△ 79,661		4,020,339
4 地 方 交 付 税	209,000,000	23,636,025		232,636,025
5 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,300,000	△ 160,000		1,140,000
6 分 担 金 及 び 負 担 金	7,976,861	352,755	1,390,113	9,719,729
7 使 用 料 及 び 手 数 料	28,975,314	△ 2,172,546		26,802,768
8 国 庫 支 出 金	268,616,228	△ 8,842,503	50,354,439	310,128,164
9 財 産 収 入	1,225,785	180,172		1,405,957
10 寄 附 金	16,252	171,240		187,492
11 繰 入 金	79,264,630	△ 31,891,766		47,372,864
12 繰 越 金		13,095,771	15,011,355	28,107,126
13 諸 収 入	405,873,610	4,710,388	88,393	410,672,391
14 県 債	145,471,066	5,370,700	31,323,700	182,165,466
合 計	2,197,124,746	4,951,575	98,168,000	2,300,244,321

第4表 一般会計歳出決算状況（目的別）

款 別	5 年 度 予 算 現 額				
	当 初	補 正	前年度繰越額	予備費充用	計 (A)
1 議 会 費	2,795,282	△ 97,601			2,697,681
2 総 務 費	137,021,041	11,978,796	589,101		149,588,938
3 民 生 費	356,290,414	19,718,830	4,412,230		380,421,474
4 衛 生 費	168,887,500	△ 40,013,580	2,959,062		131,832,982
5 環 境 費	6,761,353	407,229	4,972,238		12,140,820
6 労 働 費	4,821,368	△ 690,860			4,130,508
7 農 林 水 産 業 費	51,930,229	649,097	10,210,744		62,790,070
8 商 工 費	389,408,102	12,524,775	19,917,471		421,850,348
9 土 木 費	144,326,445	7,485,716	52,823,405		204,635,566
10 警 察 費	146,901,751	△ 1,563,847	439,211		145,777,115
11 教 育 費	350,008,520	3,879,505	1,600,162		355,488,187
12 災 害 復 旧 費	1,951,481	3,500,577	237,357		5,689,415
13 公 債 費	233,802,502	△ 6,251,377			227,551,125
14 諸 支 出 金	200,218,758	△ 5,575,685	7,019		194,650,092
15 予 備 費	2,000,000	△ 1,000,000			1,000,000
合 計	2,197,124,746	4,951,575	98,168,000		2,300,244,321

(単位：千円)

5年度収入済額 (B)		予算現額対比増減 (B) - (A)	4年度収入済額 (C)	比 較	
	構成比 (%)			(B) - (C)	(B) / (C) (%)
926,014,720	45.8	2,454,720	948,796,403	△ 22,781,683	97.6
122,604,134	6.1	278,134	122,110,747	493,387	100.4
4,020,339	0.2		4,342,673	△ 322,334	92.6
233,509,147	11.5	873,122	213,897,762	19,611,385	109.2
1,094,646	0.1	△ 45,354	1,204,154	△ 109,508	90.9
7,736,760	0.4	△ 1,982,969	6,974,311	762,449	110.9
26,055,057	1.3	△ 747,711	27,586,174	△ 1,531,117	94.4
259,005,777	12.8	△ 51,122,387	414,368,140	△ 155,362,363	62.5
1,409,993	0.1	4,036	1,792,236	△ 382,243	78.7
204,768	0.0	17,276	189,170	15,598	108.2
13,991,588	0.7	△ 33,381,276	20,653,733	△ 6,662,145	67.7
28,107,127	1.4	1	35,571,474	△ 7,464,347	79.0
261,465,802	12.9	△ 149,206,589	271,431,122	△ 9,965,320	96.3
136,036,966	6.7	△ 46,128,499	149,203,200	△ 13,166,234	91.2
2,021,256,824	100.0	△ 278,987,497	2,218,121,298	△ 196,864,474	91.1

(単位：千円)

5年度支出済額 (B)		予算現額対比増減 (B) - (A)	4年度支出済額 (C)	比 較	
	構成比 (%)			(B) - (C)	(B) / (C) (%)
2,610,527	0.1	△ 87,153	2,446,257	164,270	106.7
141,630,704	7.1	△ 7,958,233	155,709,281	△ 14,078,577	91.0
362,470,025	18.1	△ 17,951,449	356,214,099	6,255,926	101.8
114,064,391	5.7	△ 17,768,591	237,553,104	△ 123,488,713	48.0
11,101,803	0.6	△ 1,039,017	8,427,653	2,674,150	131.7
3,902,080	0.2	△ 228,428	3,965,175	△ 63,095	98.4
48,536,672	2.4	△ 14,253,398	48,702,408	△ 165,736	99.7
261,285,232	13.1	△ 160,565,116	324,149,294	△ 62,864,062	80.6
141,905,309	7.1	△ 62,730,257	130,304,006	11,601,303	108.9
142,997,192	7.2	△ 2,779,923	143,251,821	△ 254,629	99.8
346,714,825	17.4	△ 8,773,362	360,261,318	△ 13,546,493	96.2
700,143	0.0	△ 4,989,272	885,445	△ 185,302	79.1
227,472,743	11.4	△ 78,382	229,819,673	△ 2,346,930	99.0
192,234,273	9.6	△ 2,415,819	188,324,639	3,909,634	102.1
1,997,625,919	100.0	△ 302,618,402	2,190,014,171	△ 192,388,252	91.2

第5表 一般会計歳出決算状況（性質別）

（単位：千円）

区 分	5 年 度		4 年 度		比 較	
	決算額 (A)	構成比 (%)	決算額 (B)	構成比 (%)	(A) - (B)	(A) / (B) (%)
1 消費的経費	1,547,636,038	77.5	1,760,864,246	80.4	△ 213,228,208	87.9
(1) 人件費	497,990,033	24.9	517,430,517	23.6	△ 19,440,484	96.2
ア 基本給	251,004,383	12.6	248,822,728	11.4	2,181,655	100.9
イ その他	246,985,650	12.3	268,607,789	12.2	△ 21,622,139	92.0
(2) 物件費	97,630,950	4.9	155,321,483	7.1	△ 57,690,533	62.9
(3) 維持補修費	2,990,018	0.2	2,060,925	0.1	929,093	145.1
(4) 扶助費	44,271,930	2.2	45,231,261	2.1	△ 959,331	97.9
(5) その他の消費的経費	904,753,107	45.3	1,040,820,060	47.5	△ 136,088,365	86.9
ア 貸付金	223,701,557	11.2	231,669,981	10.6	△ 7,968,424	96.6
イ 積立金	18,769,640	0.9	51,882,673	2.3	△ 33,113,033	36.2
ウ その他	662,281,910	33.2	757,267,406	34.6	△ 95,006,908	87.5
2 投資的経費	174,985,333	8.8	158,775,889	7.2	16,209,444	110.2
(1) 普通建設事業費	157,900,269	7.9	142,388,514	6.5	15,511,755	110.9
ア 補助	88,007,809	4.4	81,648,976	3.7	6,358,833	107.8
イ 単独	69,892,460	3.5	60,739,538	2.8	9,152,922	115.1
(2) 災害復旧事業費	700,143	0.1	885,445	0.0	△ 185,302	79.1
ア 補助	525,109	0.1	720,195	0.0	△ 195,086	72.9
イ 単独	175,034	0.0	165,250	0.0	9,784	105.9
(3) 国直轄事業費負担金	16,384,921	0.8	15,501,930	0.7	882,991	105.7
3 公債費	226,387,909	11.3	228,912,757	10.5	△ 2,524,848	98.9
4 繰出金	48,616,639	2.4	41,461,278	1.9	7,155,361	117.3
合 計	1,997,625,919	100.0	2,190,014,171	100.0	△ 192,388,252	91.2

第6表 特別会計決算状況

(単位：千円)

会計名	区分	5年度			4年度決算額 (C)	比較 (B) - (C)
		予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (A) - (B)		
財政調整基金	歳入	20,202,200	3,202,164	17,000,036	4,201,943	△ 999,779
	歳出	20,202,200	3,202,164	17,000,036	4,201,943	△ 999,779
	差引額					
県債管理事業	歳入	512,564,849	512,509,597	55,252	416,600,017	95,909,580
	歳出	512,564,849	512,509,597	55,252	416,600,017	95,909,580
	差引額					
地方消費税清算	歳入	912,704,000	913,756,837	△ 1,052,837	962,742,331	△ 48,985,494
	歳出	912,704,000	912,691,783	12,217	962,742,331	△ 50,050,548
	差引額		1,065,054	△ 1,065,054		1,065,054
自動車税証紙	歳入	5,057,000	5,468,843	△ 411,843	5,072,548	396,295
	歳出	5,057,000	5,056,907	93	4,799,561	257,346
	差引額		411,936	△ 411,936	272,987	138,949
市町村振興資金	歳入	3,753,794	3,753,795	△ 1	4,276,788	△ 522,993
	歳出	3,753,794	1,072,100	2,681,694	1,721,400	△ 649,300
	差引額		2,681,695	△ 2,681,695	2,555,388	126,307
母子父子寡婦福祉資金	歳入	654,055	675,573	△ 21,518	534,012	141,561
	歳出	654,055	208,963	445,092	53,066	155,897
	差引額		466,610	△ 466,610	480,946	△ 14,336
心身障害者扶養年金事業	歳入	784,159	768,941	15,218	763,722	5,219
	歳出	784,159	768,883	15,276	763,622	5,261
	差引額		58	△ 58	100	△ 42
国民健康保険事業	歳入	525,395,343	523,897,244	1,498,099	526,416,940	△ 2,519,696
	歳出	525,395,343	514,754,824	10,640,519	517,004,158	△ 2,249,334
	差引額		9,142,420	△ 9,142,420	9,412,782	△ 270,362
日本コンベンションセンター国際展示場事業	歳入	3,596,035	7,162,778	△ 3,566,743	5,874,380	1,288,398
	歳出	3,596,035	3,572,115	23,920	3,664,767	△ 92,652
	差引額		3,590,663	△ 3,590,663	2,209,613	1,381,050
小規模企業者等設備導入資金	歳入	91,881	173,352	△ 81,471	220,330	△ 46,978
	歳出	91,881	89,873	2,008	103,086	△ 13,213
	差引額		83,479	△ 83,479	117,244	△ 33,765

(単位：千円)

会 計 名	区 分	5 年 度			4年度決算額 (C)	比 較 (B) - (C)
		予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (A) - (B)		
就 農 支 援 資 金	歳 入	21,577	21,543	34	29,089	△ 7,546
	歳 出	21,577	20,723	854	24,795	△ 4,072
	差引額		820	△ 820	4,294	△ 3,474
営 林 事 業	歳 入	298,617	333,360	△ 34,743	308,939	24,421
	歳 出	298,617	273,524	25,093	259,265	14,259
	差引額		59,836	△ 59,836	49,674	10,162
林業・木材産業 改 善 資 金	歳 入	99,540	98,805	735	98,743	62
	歳 出	99,540	20	99,520	20	
	差引額		98,785	△ 98,785	98,723	62
沿 岸 漁 業 改 善 資 金	歳 入	392,454	392,315	139	382,670	9,645
	歳 出	392,454	89,494	302,960	128	89,366
	差引額		302,821	△ 302,821	382,542	△ 79,721
奨 学 資 金	歳 入	1,930,664	1,944,226	△ 13,562	1,629,661	314,565
	歳 出	1,930,664	244,225	1,686,439	245,732	△ 1,507
	差引額		1,700,001	△ 1,700,001	1,383,929	316,072
工 業 団 地 整 備 事 業	歳 入	532,171	5,700,133	△ 5,167,962	5,608,663	91,470
	歳 出	532,171	531,175	996	9,331	521,844
	差引額		5,168,958	△ 5,168,958	5,599,332	△ 430,374
港 湾 整 備 事 業	歳 入	3,784,966	6,171,864	△ 2,386,898	4,550,988	1,620,876
	歳 出	3,784,966	3,628,060	156,906	1,892,053	1,736,007
	差引額		2,543,804	△ 2,543,804	2,658,935	△ 115,131
土 地 区 画 整 理 事 業	歳 入	15,169,056	18,119,671	△ 2,950,615	19,895,335	△ 1,775,664
	歳 出	15,169,056	15,051,775	117,281	15,248,702	△ 196,927
	差引額		3,067,896	△ 3,067,896	4,646,633	△ 1,578,737
合 計	歳 入	2,007,032,361	2,004,151,041	2,881,320	1,959,207,099	44,943,942
	歳 出	2,007,032,361	1,973,766,205	33,266,156	1,929,333,977	44,432,228
	差引額		30,384,836	△ 30,384,836	29,873,122	511,714

第7表 県債管理基金の状況

昭和60年2月27日 「千葉県県債管理基金条例」制定（条例第1号）

平成4年3月26日 一部改正（条例第9号）

（単位：千円）

年 度	積立額 (A)		取崩し (B)	計 (C) = (A) - (B)	累 計
	元 金	利 子			
S61	6,000,000	891,064		6,891,064	16,012,932
S62	10,000,000	696,261		10,696,261	26,709,193
S63		1,259,036		1,259,036	27,968,229
H元	41,561,000	1,490,594		43,051,594	71,019,823
H2	34,648,000	5,783,637	6,169,000	34,262,637	105,282,460
H3	25,753,000	7,477,987	13,831,000	19,399,987	124,682,447
H4	13,737,000	4,888,285	42,425,000	△23,799,715	100,882,732
H5		2,126,805	30,407,000	△28,280,195	72,602,537
H6		1,337,238	21,458,000	△20,120,762	52,481,775
H7	1,540,415	692,334	8,503,000	△6,270,251	46,211,524
H8	885,980	245,603	15,920,235	△14,788,652	31,422,872
H9	1,281,340	152,956	21,761,516	△20,327,220	11,095,652
H10	1,162,720	46,379	1,450,313	△241,214	10,854,438
H11	10,857,390	13,518	1,598,989	9,271,919	20,126,357
H12	16,683,460	24,682	281,344	16,426,798	36,553,155
H13	16,446,060	29,985	96,835	16,379,210	52,932,365
H14	20,230,680	8,340	10,626,828	9,612,192	62,544,557
H15	10,367,729	10,891	12,812,717	△2,434,097	60,110,460
H16	12,605,400	12,516	11,620,516	997,400	61,107,860
H17	56,843,087	12,565	21,288,565	35,567,087	96,674,947
H18	55,760,592	264,118	17,072,118	38,952,592	135,627,539
H19	55,325,938	699,939	23,308,568	32,717,309	168,344,848
H20	64,927,541	1,108,921	22,895,006	43,141,456	211,486,304
H21	75,634,106	1,107,212	53,695,297	23,046,021	234,532,325
H22	82,650,440	1,138,826	52,612,910	31,176,356	265,708,681
H23	82,565,612	1,289,435	50,257,520	33,597,527	299,306,208
H24	88,511,110	1,473,904	57,030,229	32,954,785	332,260,993
H25	111,513,611	1,929,983	80,465,186	32,978,408	365,239,401
H26	133,084,850	2,329,347	86,937,061	48,477,136	413,716,537
H27	109,350,756	2,655,235	96,386,605	15,619,386	429,335,923
H28	115,911,667	2,773,124	78,905,550	39,779,241	469,115,164
H29	122,965,396	2,900,675	76,351,475	49,514,596	518,629,760
H30	136,660,630	2,962,923	89,678,172	49,945,381	568,575,141
R元	138,266,108	2,903,822	114,546,879	26,623,051	595,198,192
R2	139,358,300	2,695,098	109,733,582	32,319,816	627,518,008
R3	203,638,224	2,490,848	78,681,164	127,447,908	754,965,916
R4	148,326,141	2,707,584	97,394,894	53,638,831	808,604,747
R5	154,625,480	2,908,340	147,196,390	10,337,430	818,942,177

第8表 一般会計地方債現在高の状況

(単位：千円)

区 分	4年度末 現在高 (A)	5年度 発行額 (B)	5年度償還額			5年度末 現在高 (A)+(B)-(C)
			元金 (C)	利子	計	
公 共 事 業 等 債	454,372,554	23,948,800	23,815,165	3,018,016	26,833,181	454,506,189
防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	20,917,122	5,081,000	5,270	96,683	101,953	25,992,852
一 般 単 独 事 業 債	645,652,037	41,925,700	36,166,522	3,516,590	39,683,112	651,411,215
公営住宅建設事業債	18,118,233	1,326,200	1,344,545	100,735	1,445,280	18,099,888
学校教育施設等整備事業債	9,691,519	346,300	171,820	32,165	203,985	9,865,999
災 害 復 旧 事 業 債	4,004,717	177,900	537,385	3,665	541,050	3,645,232
緊急防災・減災事業債	180,583		165,781	490	166,271	14,802
首都圏等建設事業債	6,022,855		540,903	47,287	588,190	5,481,952
厚生福祉施設整備事業債	860,001			3,355	3,355	860,001
社会福祉施設整備事業債	6,837,723	49,100	492,436	35,328	527,764	6,394,387
一般補助施設整備等事業債	10,726,978	6,800	185,806	43,641	229,447	10,547,972
施 設 整 備 事 業 債	42,441,637	2,345,700	595,555	139,349	734,904	44,191,782
行政改革推進債	44,424,152		228,800	254,829	483,629	44,195,352
地域財政特例対策債	4,500		4,500	19	4,519	
退 職 手 当 債	69,509,742		1,796,350	229,943	2,026,293	67,713,392
国 の 予 算 貸 付	6,422,729	12,867	822,067		822,067	5,613,529
減 収 補 て ん 債	210,069,925		14,945,183	1,305,925	16,251,108	195,124,742
財 源 対 策 債	160,710,556	14,729,600	16,961,835	429,692	17,391,527	158,478,321
臨時税収補てん債	7,904,000			41,360	41,360	7,904,000
減 税 補 て ん 債	65,615,393		4,826,962	376,363	5,203,325	60,788,431
臨時財政対策債	1,941,353,135	46,073,200	100,818,676	9,087,601	109,906,277	1,886,607,659
そ の 他	22,371,731	13,800	1,351,251	231,433	1,582,684	21,034,280
合 計	3,748,211,822	136,036,967	205,776,812	18,994,469	224,771,281	3,678,471,977

第2部 各部門の事業概要

総務部

総務課

1 行政管理事業

(1) 行政改革の推進

社会経済情勢の変化に伴い複雑・多様化する行政課題

や厳しい財政状況に対応しながら、「千葉県総合計画」の着実な推進を行財政面から下支えするため、令和4年3月に策定した「千葉県行財政改革計画」に基づき取組を推進した。

(2) コンプライアンスの推進

県のコンプライアンスの向上を着実に推進していくために、令和5年度に実施する具体的な取組を盛り込んだ推進計画を策定し、所属長に対するコンプライアンス研修等を実施した。

また、平成30年度に制定した千葉県職員倫理条例に関する取組については、職員や利害関係者等への周知啓発や相談への対応、贈与等の報告などの取りまとめを行った。

(3) 内部統制の整備・運用及び評価

令和2年度に導入した「内部統制制度」について、令和2年3月30日に策定した「千葉県内部統制基本方針」（令和3年6月18日改定）に基づき、前年度に引き続き、財務に関する事務に係る内部統制体制の整備及び運用を行った。

また、令和4年度の内部統制の整備・運用状況について評価した「内部統制評価報告書」を作成し、監査委員の審査に付した上で、監査委員の意見を付けて議会に提出し、公表を行った。

2 地域振興事務所事業

地域振興事務所が入居する合同庁舎について、適正な維持管理に努めた。山武合同庁舎については、新庁舎の

供用開始に伴い、道路標識の設置や必要な什器の調達等、移転に伴う整備を実施した。

- ・ 山武合同庁舎移転経費 62,758千円

予 算 額	予算執行額
3,826千円	3,230千円

予 算 額	予算執行額
480,228千円	434,385千円

人事課

1 職員研修事業

多様化する県民ニーズや社会情勢の変化に対応するため、在職期間に応じて行う若手職員育成研修、職務の役割・責任に応じて行う職務別研修、職員が自ら選択して受講するパワーアップ研修、職員に新たな気づきを促す特別研修等を実施した。

予 算 額	予算執行額
132,398千円	129,230千円

資産経営課

1 財産管理事業

資産経営課所管の普通財産について、土地等の状況を的確に把握するため現地調査を行うなど、適正な財産管理に努めた。

予 算 額	予算執行額
1,482,507千円	1,480,963千円

また、国有資産等所在市町村交付金法に基づき、県が所有する固定資産を他の者に貸し付けている場合などに、資産の所在する市町村に交付金を交付した。

(令和5年度交付状況)

市町村数	交付金額
48	1,466,732千円

厳しい財政状況の下での歳入確保の取組として、未利用県有地の売却について、千葉県ホームページや県民だより等を利用した広報活動を行い、一般競争入札により処分を行った。

(令和5年度未利用県有地の処分状況)

件 数	面 積	収入金額
7件	5,912.58㎡	411,784千円

2 県有施設再整備事業

(1) 山武合同庁舎再整備事業

山武合同庁舎の老朽化及び耐震性不足に対応するため、周辺の東金合同庁舎等と集約の上、山武合同庁舎敷地に新庁舎を建設するものである。

令和5年度は、新庁舎が5年7月に完成し、10月より供用を開始した。

予 算 額	予算執行額
4,534,368千円	3,903,854千円

(2) 夷隅合同庁舎再整備事業

夷隅合同庁舎の老朽化及び耐震性不足に対応するため、大多喜町内に新庁舎を建設し、併せて防災備蓄倉庫を集約するものである。

令和5年度は、昨年度に引き続き新庁舎の建設工事を行い、6年3月に完成した。

(3) 安房地域合同庁舎再整備事業

安房地域の庁舎の老朽化及び耐震性不足に対応するため、安房合同庁舎及び鴨川庁舎において、それぞれ周辺の庁舎を集約の上、新庁舎を建設するものである。

令和5年度は、各新庁舎の実施設計を完了し、既存建物の解体工事に着手した。

(4) 海匝地域合同庁舎再整備事業

海匝地域の庁舎の老朽化及び耐震性不足に対応するため、銚子・旭・匝瑳の各地区において、周辺の庁舎を集約の上、新庁舎を建設するものである。

令和5年度は、各新庁舎の基本設計を完了し、銚子・匝瑳については、実施設計に着手した。

3 県庁舎等再整備事業

県庁舎敷地内にある本庁舎・中庁舎・南庁舎・南庁舎別館・議会棟について、順次、建替えや大規模改修の時期を迎えることから、整備手法の比較検討等のための調査に着手した。

予 算 額	予算執行額
16,500千円	16,430千円

管財課

1 庁舎管理事業

県民サービスの向上及び公務の円滑な執行を図るため、本庁舎ほか6庁舎（中庁舎、議会棟、南庁舎、南庁舎別館、立体駐車場、亥鼻第二別館）の維持管理に努めた。主な業務は、次のとおりである。

予 算 額	予算執行額
1,350,695千円	1,242,164千円

(1) 清掃

庁舎の清掃、廃棄物処理、上下水槽及び污水管等清掃

(2) 電気機械設備等の保守点検及び運転

庁舎の電気機械設備、エレベーター、防災設備、電話設備及び空調設備等の保守点検・運転

(3) 庁舎の警備

庁舎の警備、構内駐車場整理及び構内警備

(4) 庁舎の維持補修

庁舎の電気機械設備等の整備その他修繕

税務課

1 税務行政の推進

千葉県県税基本方針に則り、県下13県税事務所及び自動車税事務所において県税の賦課徴収を行い、令和5年度は926,014,720千円の県税収入を確保した。

予 算 額	予算執行額
213,336,939千円	211,249,894千円

(1) 公平・適正な課税の推進

税負担の公平と県税収入の確保を図るため、課税客体の捕捉、課税標準額の算定、申告指導や賦課処分等の課税業務を適正かつ計画的・効率的に行った。

- ・法人二税に係る未届法人や不申告法人に対する申告指導、外形標準課税法人等の課税標準調査
- ・軽油引取税に係る課税客体の捕捉と迅速な課税、不正軽油に係る調査及び監視

(2) 徴収対策の実施

令和4年3月に、中長期的な観点から徴収対策に取り組むための「千葉県県税特別徴収対策計画」を策定し、個人県民税及び個人県民税以外の目標並びに徴収対策を掲げ、持続可能な財政構造の確立に向け全国上位レベルの徴収率の実現のため取り組んだ。

また、令和5年4月に、年間を通じた徴収対策として「県税収入未済額縮減のための徴収対策」を定め、年間を通じ県下税務職員が一丸となって滞納額縮減に取り組んだ。

ア 個人県民税の対策

県税の収入未済額全体の約8割を占める個人県民税について、市町村から困難案件を引き受ける直接徴収を大幅に増やすことにより、繰越分の滞納額縮減に努めたほか、市町村研修生の受入を拡充し、市町村の徴収技術の向上等に資する人材育成を図った。

また、「千葉県滞納整理推進機構」において、実務研修、功績表彰等の市町村支援を行うとともに、特別徴収の更なる徹底のため未実施事業者を訪問したほか、市町村税と県税の未済額縮減のため「県下一斉滞納整理強化期間」を設定し、全54市町村と連携して統一的な広報等を実施した。

イ 特別滞納事案の対策

個人県民税を除く滞納額15万円以上の特別滞納事案について、6県税事務所に事案を集約し、搜索を含む徹底した財産調査と滞納処分を行うことにより、滞納額縮減を図った。

ウ 自動車税の対策

滞納件数が多い自動車税については、10月～1月を自動車税滞納整理強化期間と定め、給与所得者については給与・預貯金・生命保険・自動車の差押えを行う「差押処分『四段構え』作戦」を展開した。

また、給与所得者以外については、状況に応じて自動車の差押えを先行して行うなど、柔軟かつ着実に実施した。

エ 換価の促進

換価が適当と判断された差押財産について、インターネット公売や合同不動産公売などにより早期売却に努めた。

整理未済額

令和4年度	令和5年度
10,985,440千円	10,823,505千円

(3) 税務事務の適正化・効率化

県税の納税者の情報管理や、賦課徴収業務を処理するために導入されている税トータルシステムについて、法人課税の税制改正及び地方税共通納税システム対象税目追加・QRコード導入に対応するため必要なシステム改修を行った。

別表 県税調定及び収入に関する調

※旧法による税

(単位:千円)

区 分	調 定 額			収 入 済 額			収 入 歩 合	
	令和5年度	令和4年度	伸長率	令和5年度	令和4年度	伸長率	令和5年度	令和4年度
県税	937,613,919	960,707,643	97.59%	926,014,720	948,796,403	97.59%	98.76%	98.76%
県民税	314,485,226	302,210,879	104.06%	304,870,225	292,197,930	104.33%	96.94%	96.68%
(個人)	299,143,140	286,449,958	104.43%	289,675,881	276,562,072	104.74%	96.83%	96.54%
(法人)	14,465,396	14,700,000	98.40%	14,317,654	14,574,936	98.23%	98.97%	99.14%
(利子割)	876,689	1,060,921	82.63%	876,689	1,060,921	82.63%	100.00%	100.00%
事業税	175,393,333	174,404,235	100.56%	174,569,931	173,737,343	100.47%	99.53%	99.61%
(個人)	9,740,445	11,634,570	83.71%	9,562,720	11,398,520	83.89%	98.17%	97.97%
(法人)	165,652,887	162,769,664	101.77%	165,007,210	162,338,823	101.64%	99.61%	99.73%
地方消費税	293,652,000	332,148,731	88.40%	293,652,000	332,148,731	88.40%	100.00%	100.00%
不動産取得税	22,178,888	20,051,781	110.60%	21,651,899	19,487,262	111.10%	97.62%	97.18%
県たばこ税	7,279,554	7,274,602	100.06%	7,279,554	7,274,598	100.06%	100.00%	99.99%
ゴルフ場利用税	4,362,721	4,442,433	98.20%	4,362,721	4,442,433	98.20%	100.00%	100.00%
軽油引取税	39,562,143	39,514,803	100.11%	39,531,551	39,514,760	100.04%	99.92%	99.99%
自動車税	80,157,826	80,189,271	99.96%	79,718,491	79,788,242	99.91%	99.45%	99.49%
(環境性能割)	6,284,611	5,839,618	107.62%	6,276,560	5,829,742	107.66%	99.87%	99.83%
(種別割)	73,873,215	74,349,652	99.35%	73,441,930	73,958,500	99.30%	99.41%	99.47%
鉦区税	40,352	40,202	100.37%	40,352	40,202	100.37%	100.00%	100.00%
狩猟税	28,367	28,544	99.37%	28,367	28,544	99.37%	100.00%	100.00%
自動車取得税※	279,344	79,895	349.63%	279,178	79,705	350.26%	99.94%	99.76%
自動車税※	194,160	322,261	60.24%	30,446	56,647	53.74%	15.68%	17.57%

市町村課

1 市町村に対する支援

(1) 市町村振興資金貸付事業

(特別会計)

市町村の振興を図り、地域の秩序ある発展と住民福祉の向上に寄与するため、一般事業資金、特別事業資金を貸し付けた。

ア 一般事業資金

銚子市ほか7市に対し、公共・公用施設の整備事業等にかかる経費として、547,100千円を貸し付けた。

イ 特別事業資金

船橋市ほか7市1組合に対し、防災施設等整備促進事業及び市町村合併支援事業にかかる経費として、525,000千円を貸し付けた。

(2) 条例による事務処理の特例に係る市町村交付金

住民の利便性の向上及び市町村の自主性・自立性を高めるため、県から市町村に移譲した事務について、その処理に要する費用として、千葉市ほか53市町村に対し、194,274千円を交付した。

予 算 額	予算執行額
3,948,068千円	1,266,374千円

2 市町村行財政に関する助言等

市町村長会議において県の重要施策等を説明し、周知するとともに、県政に対する市町村からの要望などについて

意見交換を行い、県と市町村との連携を深めた。さらに、市町村の適正な行財政運営の実施と、各種重要施策の円滑な推進を図るため、各市町村とのヒアリングを通じ、適時・適切な助言を行った。

予 算 額	予算執行額
21,636千円	19,134千円

3 選挙の執行

(1) 県議会議員一般選挙

地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時

特例に関する法律第1条の規定により、令和5年4月9日に県議会議員一般選挙を執行した。

(2) 衆議院議員補欠選挙

公職選挙法第113条の規定により、令和5年4月23日に衆議院議員補欠選挙を執行した。

予 算 額	予算執行額
1,506,420千円	1,467,023千円

政策法務課

1 文書館管理運営事業

公文書、古文書その他の歴史的資料を収集・整理・保存し、これを後世に継承するとともにその活用を図り、併せて行政に関する情報を提供し、もって県民の郷土に対する理解を深めるとともに、県民の県政に対する関心に応えるための文化施設として各種事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
242,563千円	218,921千円

(1) 所在地

千葉市中央区中央4-15-7

(2) 施設

鉄骨鉄筋コンクリート造 地上7階、地下1階

延床面積 6,009.48㎡（うち書庫面積 2,161.36㎡）

(3) 事業概要

ア 利用者数（令和5年度）

11,829人

イ 資料収集状況（令和6年3月31日現在）

公文書 63,061冊（別に旧源村役場文書等 56,392点）

古文書 597,295点

行政資料 115,909冊

ウ 企画展、古文書講座など

審査情報課

1 情報公開・個人情報保護制度及び行政不服審査制度の運用

(1) 情報公開・個人情報保護制度

行政文書・保有個人情報開示請求に関する相談・案内業務を行うとともに、これらの請求に係る開示決定等に対する不服申立てについて、実施機関による諮問を受け答申を行う審査会・審議会の運営を行った。また、制度の適切な運用に資するため、研修会等を実施した。

予 算 額	予算執行額
23,780千円	21,471千円

(2) 行政不服審査制度

情報公開・個人情報保護に係るもの以外の知事への不服申立てについて、審理員が一元的に審理を行うとともに、審査庁による諮問を受け答申を行う審査会の運営を行った。

学事課

1 私立学校の振興

本県の私立学校は、独自の伝統と建学の精神に基づく特色ある教育を行い、県民の要請に応じてきた。

予 算 額	予算執行額
52,172,553千円	51,161,256千円

特に高等学校にあつては生徒数で40.5%、幼稚園にあつては園児数で94.6%を私立が占めており、教育における私立学校の果たす役割は極めて大きいものがある。これら私立学校に対して、私立学校の振興と保護者負担の軽減を図るため、次の事業を行った。

(1) 私立高等学校への助成

ア 私立高等学校経常費補助

私立高等学校の振興と保護者負担の軽減を図るため、学校法人が行う教育に要する経常的経費に対し補助を行った。

事 業 名	学校数	生 徒 数	補 助 金
私立高等学校経常費補助	57校	48,580人	18,560,046千円

(2) 私立幼稚園への助成

ア 私立幼稚園経常費補助

私立幼稚園の振興と保護者負担の軽減を図るため、学校法人立幼稚園等が行う教育に要する経常的経費に対し補助を行った。

事 業 名	幼稚園数	園 児 数	補 助 金
私立幼稚園経常費補助	365園	39,410人	9,706,292千円

イ 私立幼稚園教育振興事業補助

個人立等幼稚園の振興及び保護者負担の軽減を図るため、教育研究経費、管理費等に対し補助を行った。

事 業 名	幼稚園数	事 業 費	補 助 金
私立幼稚園教育振興事業補助	6園	110,717千円	48,072千円

ウ 幼児教育の質の向上のための環境整備事業

幼児教育の質の向上のための環境整備を図るため、私立幼稚園等が実施する遊具や空調等の整備、新型コロナウイルス感染症対策に対し補助を行った。

事 業 名	幼稚園数	事 業 費	補 助 金
幼児教育の質の向上のための環境整備事業	コロナ210園	165,466千円	85,314千円
	遊具等105園		

エ 子育てのための施設等利用給付費県費負担金

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、私立幼稚園等の利用に対し補助を行った。

事業名	市町村数	事業費	補助金
子育てのための施設等利用給付費県費負担金	52市町村	14,010,959千円	3,530,646千円

(3) 私立中学校等への助成

ア 私立中学校等経常費補助

私立の中等教育学校、中学校及び小学校並びに専修学校に対し、私立学校の振興と保護者負担の軽減を図るため、次のとおり経常費補助を行った。

事業名	学校数	生徒数	補助金
私立中等教育学校経常費補助	1校	42人	25,015千円
私立中学校経常費補助	25校	10,590人	3,689,104千円
私立小学校経常費補助	10校	3,519人	1,222,977千円
私立専修学校経常費補助【高等課程】	5校	671人	128,674千円
私立専修学校経常費補助【専門課程】	46校	12,616人	189,240千円

(4) 就学支援金等の支給及び授業料減免への助成

ア 私立専門学校入学金・授業料減免事業補助

県内の私立専門学校が行う入学金・授業料減免事業に要した経費に対し補助を行った。

事業名	生徒数	補助金
私立専門学校入学金・授業料減免事業補助	入学金減免 815人	814,166千円
	授業料減免 1,723人	

イ 私立高等学校等就学支援事業

家庭の教育費負担の軽減を図るため、私立高等学校等の生徒に対し高等学校等就学支援金を支給し、授業料の一定額に補助を行った。

事業名	学校数	生徒数	補助金
私立高等学校等就学支援事業	71校	38,819人	9,163,300千円

ウ 私立高等学校等授業料減免事業補助

経済的理由により修学が困難な生徒のために、私立高等学校及び専修学校高等課程の各学校法人が行う授業料減免事業に対し補助を行った。

事業名	学校数	生徒数	補助金
私立高等学校等授業料減免事業補助	65校	12,044人	1,340,831千円

エ 私立高等学校等奨学のための給付金事業

私立高等学校等に在籍する生徒のうち、低所得者層に対し、教育費負担の軽減を図るため、授業料以外の教育費負担について補助を行った。

事業名	生徒数	補助金
私立高等学校等奨学のための給付金事業	4,057人	476,651千円

オ 私立小中学校家計急変世帯授業料軽減事業

家計急変の経済的理由により授業料の納付が困難となった児童生徒のために、私立小中学校等

が行う授業料軽減事業に対し補助を行った。

事業名	生徒数	補助金
私立小中学校家計急変世帯授業料軽減事業	25人	7,021千円

カ 私立高等学校等新入生臨時給付金

物価高騰の影響を踏まえ、制服や教材等の購入費の負担を軽減するため、特に影響が大きい私立高校1年生を対象に、県独自に給付金を支給した。

事業名	生徒数	補助金
私立高等学校等新入生臨時給付金	16,793人	191,825千円

(5) 私立高等学校等のICT環境整備への助成

ア 私立高等学校等ICT環境整備事業

私立高等学校等におけるICT教育環境の一層の充実を図るため、パソコンやタブレット端末、電子黒板等の整備に要する経費に対し補助を行った。

事業名	学校数	事業費	補助金
私立高等学校等ICT環境整備事業	15校	169,694千円	41,950千円

(6) 私立学校の耐震化等への助成

ア 私立学校耐震化緊急促進事業

大規模地震時における児童等の安全確保のため、私立学校の校舎・園舎の耐震化に要する経費に対し補助を行った。

事業名	学校数	事業費	補助金
私立学校耐震化緊急促進事業	1校、6園	257,525千円	104,247千円

(7) その他の助成等

ア 日本私立学校振興・共済事業団補助

私立学校及び私学関係団体に勤務する教職員の長期給付掛金の軽減を図るため、日本私立学校振興・共済事業団が行う長期給付事業に要する経費に対し補助を行った。

事業名	標準給与年額	補助金
日本私立学校振興・共済事業団補助	56,636,848千円	453,094千円

イ 私学教育振興財団退職資金事業補助

私立学校及び私学関係団体に勤務する教職員の勤続を奨励するとともに、待遇の安定と改善を図るため、私学教育振興財団が行う教職員退職資金の原資積立ての経費に対し補助を行った。

事業名	標準給与年額	補助金
私学教育振興財団退職資金事業補助	31,912,934千円	829,736千円

総務ワークステーション

1 総務ワークステーション運営事業

行財政改革の一環として、職員の人事給与及び福利厚生等の内部事務について、コストの削減及び適正かつ統一的な執行を目的とし、庁内ネットワークを活用しながら集中処理及び業務の効率化を図った。

その主な業務の処理状況は次のとおりである。

予 算 額	予算執行額
283,742千円	274,579千円

業 務 内 容	処理対象機関	件数等
職員の給与支給事務	知事部局、各行政委員会、 公営企業、教育庁事務局	12,990人
会計年度任用職員の給与支給及び社会保険等の 手続きに関する事務	同 上	2,813人
諸手当の認定事務（通勤手当※、住居手当、扶養 手当、児童手当等） ※会計年度任用職員を含む	同 上	16,355件
旅費の確認及び支給事務	知事部局、各行政委員会、 公営企業、教育庁	1,068,414件

2 職員健康管理事業

職員の健康保持、各種疾病の早期発見及び早期治療を目的として各種健康診断を実施するとともに、職員及びその家族を対象とした健康相談を行った。

予 算 額	予算執行額
248,192千円	227,641千円

実 施 内 容		受診者数
定期健康診断等	一般健康診断（採用時健診含む）	2,778人
	一日ドック（ミニドック含む）	5,099人
	特殊業務従事者健康診断	7,878人
生活習慣病健康診断	各種がん検診	5,115人
職員健康相談	一般健康相談	19人
	精神保健相談	294人

デジタル戦略課

1 マイナンバーカード申請サポート事業

(1) マイナポイント申込支援事業

マイナンバーカード申請件数の急激な増加に伴い、市

予 算 額	予算執行額
28,806千円	24,797千円

町村のカード交付窓口は、カード交付やマイナポイント申込、相談等で大変混雑したため、カード交付窓口が交付業務に注力できるよう、県においてマイナポイントに関する対応業務を実施した。

- ・出張支援窓口の設置（支援数：48回、711件）
- ・コールセンターの設置（対応回数：269回）

(2) マイナンバーカード申請サポート事業

高齢者や障害のある方など、平日に市町村の窓口に来られない方のために、高齢者施設等へ訪問し、後日郵送で受け取れるなどの方法によるカード申請サポートを実施した。

- ・施設等訪問申請サポート実施（支援数：32市町村、100施設、2,006件）

デジタル推進課

1 デジタル技術の活用等による業務改革の推進

デジタル技術の活用等を通じて、県民サービスの一層の向上を図るため、行政手続のオンライン化・キャッシュレス化について、必要な研修・フォローアップを実施し推進した。

予 算 額	予算執行額
189,205千円	187,095千円

業務の効率化や職員の多様で柔軟な働き方の実現に向け、定型業務を自動化するRPAや専門的な知識がなくてもソフトウェアが作れるローコード開発ツールなど、生産性向上に役立つICTツールの活用を進めるとともに、テレワークやペーパーレス化の推進、オフィス改革実証事業に取り組んだ。

DXに関する専門的知見を持った外部人材を活用し、自治体が基本的な事務を処理するための情報システム標準化など、市町村のDX推進に向けた伴走型支援を実施した。

2 情報セキュリティ等対策事業

県の保有する電子情報には個人情報等の機密性レベルが高い情報が多いことなどから、情報セキュリティの確

予 算 額	予算執行額
2,013千円	2,013千円

保・向上に向け、職員の意識の向上を図るため、セルフチェック、セキュリティ監査及び研修などの情報セキュリティ対策に取り組んだ。

3 電子申請システム等運用事業

業務の効率化及び県民、事業者の利便性向上を実現するため、入札事務で利用する「ちば電子調達システム」や各種届出で利用する「ちば電子申請システム」等のシステムを市町村と共同で運用した。

予 算 額	予算執行額
269,162千円	268,677千円

また、ちば電子申請システムを利用したオンライン手続時の決済手段に、クレジットカードやスマホアプリ決済を追加し、支払い手段の多様化を図った。

情報システム課

1 業務システム等の運用管理及び開発

県の広範な業務を処理するため構築した給与、財務等の各情報システム及びシステムの基盤となる全庁情報ネットワークや機器について、経済性、安全性、信頼性及び利便性の観点から踏まえて整備・運用を行った。その主なものは次のとおりである。

予 算 額	予算執行額
3,991,173千円	3,972,959千円

(1) 基幹業務システムの運用管理

庶務、文書、給与、財務の基幹業務システムについて、制度改正等にも対応しながら業務処理に支障が生じないように、安定稼働を図った。

財務情報システムについては、財務関係業務の効率化を図るため、各所属で手作業で行っていた決算統計作業及び各種資料作成等について、システムで自動化できるよう改修を行った。

(2) 情報通信ネットワークの運用管理

本庁と出先機関の全所属を接続する全庁情報ネットワークについて、情報システムを安全・確実に稼働させるため、機器更新及びネットワーク通信環境の増強を行った。

また、庁内ファイルサーバの管理の一元化を図る観点から、所属ファイルサーバのデータをファイル共有システムへ移行し、所属ファイルサーバの接続を停止した。

総合企画部

政策企画課

1 地方創生総合戦略推進事業

(1) 地方創生総合戦略推進事業

第2期千葉県地方創生総合戦略について、PDCA

予 算 額	予算執行額
12,469千円	10,567千円

マネジメントサイクルを活用し、外部有識者で構成する「地方創生総合戦略推進会議」において、専門的、総合的な立場から意見等を幅広く聴き、令和4年度 of 取組状況の検証を行った。

(2) 地方創生総合戦略の改訂

令和4年12月に国が「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定したことを踏まえ、第2期戦略の計画期間を1年前倒しし、令和6年3月に「第3期千葉県地方創生総合戦略」を策定した。

なお、策定に当たっては、県内の産業界や大学、金融など幅広い分野における外部有識者からなる策定懇談会において、専門的、総合的な立場から意見を伺うとともに、移住や二地域居住の促進等につなげる方向性等の分析、整理を行うため、委託調査を実施した。

2 企画調査事業

(1) 持続可能な地域づくりに向けた連携推進事業

SDGsやダイバーシティを推進するため、企業や

予 算 額	予算執行額
2,350千円	920千円

自治体職員等を対象に、その理念や先進事例についてのセミナーを開催した。

また、県民のSDGsに対する更なる認知度向上のため、「千葉県SDGsシンボルマーク」を活用した紙製クリアファイルを作成し、県主催のイベント等で配布した。

地域づくり課

1 千葉のブランド形成推進事業

千葉県の持つ様々な魅力を県内外に向け積極的に発信し、県内各地域の認知拡大とブランディングを図るため、在京テレビ局（フジテレビ）「千葉の贈り物～まごころ配達人～」やラジオ番組・コーナー、誌面広告等の各種広報媒体を活用したPRを行うとともに、メディアリレーションを実施した。

予 算 額	予算執行額
144,633千円	144,216千円

2 世界に向けた千葉の魅力発信推進事業

千葉の魅力を世界に発信するため、Facebookを活用したプロモーションや海外に常駐しているチーバくんの現地イベントへの参加、海外現地メディアに向けた情報発信等を行った。

また、成田空港のデジタルサイネージに空港利用者に向けて本県の魅力を発信する歓迎動画を放映した。

予 算 額	予算執行額
31,164千円	30,211千円

3 移住・定住促進事業

二地域居住を含めた移住・定住を促進するため、インフルエンサーによるSNS発信事業や、都内での移住定住情報発信のブース設置及び専任の移住相談員の配置を継続して実施した。さらに、県内市町村の移住関連情報等を一元的に発信するポータルサイトを新たに構築し、情報発信の強化を行った。

また、市町村と連携して移住相談会の開催や移住フェアへの出展を行うとともに、千葉県移住・二地域居住連絡会議の運営を行った。

予 算 額	予算執行額
36,355千円	34,690千円

4 地域づくり推進事業

新たな総合計画に記載したゾーン毎の特性や強みを踏まえ、地域の活性化に向けた取組の具体化を図るため、市町村や地元関係者等と連携して地域振興策を検討・推進した。

具体的には、地域振興策の検討を行うための研修会等の開催、地域課題解決に向けた調査・研究や実証事業等を行った。

予 算 額	予算執行額
17,931千円	17,450千円

5 本県における新たな産業・地域づくりに関する基礎調査事業

将来を見据えた産業の誘致・創出を図るため本県経済を牽引していくことが期待される地域について、現状や将来性、優位性などを調査した。

予 算 額	予算執行額
46,232千円	46,011千円

また、経済界において認知度が高い広報媒体を活用し、県の考えや取組についての情報発信を行った。

国際課

1 国際化推進事業

(1) 国際交流事業

米国・ウィスコンシン州との姉妹交流については、千葉県側の窓口になっている民間主体の姉妹交流組織「千葉ウィスコンシン協会」が実施する事業等に対する助成を通じ、会報・ホームページによる情報発信や、同州出身の県立高校の外国語指導助手との交流会などを実施した。

ドイツ・デュッセルドルフ市との姉妹交流については、5月に現地で開催された大型日本文化紹介イベント「日本デー」において千葉県PRブースを出展した。

台湾・桃園市との友好交流については、11月に知事が台湾を訪問し、桃園市長と今後の交流の促進について会談を行った。

予 算 額	予算執行額
144,528千円	135,256千円

(2) 多文化共生社会づくり推進事業

「国際理解セミナー」や「多文化共生社会づくり連絡協議会」を開催し、県民の多文化共生意識の醸成を図るとともに、関係機関等との情報共有や意見交換を行った。

また、外国人相談窓口の運営により、生活全般に関する多言語での相談対応を行った。

(3) 災害時外国人支援体制づくり事業

災害時に情報伝達が難しい外国人への支援体制を整備するため、千葉県国際交流センターや市町村と連携して、「災害時多言語支援センター運営訓練」及び「災害時外国人サポーター養成講座」を開催した。

(4) 「チーバくんグローバルパートナーズ」運営事業

千葉県在住、在勤、在学等の外国人を「チーバくんグローバルパートナーズ」に任命し、外国人県民の視点を県の施策に活かしていくための意見交換等を実施した。

(5) 地域日本語教育推進事業

市町村が地域日本語教育の体制を整備する際の経費を補助し、支援を行った。また、千葉県国際交流センターに地域日本語教育のコーディネーターを設置し、日本語学習支援ボランティアを育成するとともに、既存の教室にアクセスできない外国人のためにオンラインでの日本語教室を開催した。

2 旅券発給事業

国（外務省）からの法定受託事務として、外国へ渡航する県民の一般旅券申請書の受理・審査及び旅券作成・交付並びにこれに付随する指導・相談業務を行った。

また、御宿町に対し、一般旅券申請書の受理・審査及び旅券交付業務を移譲した。

予 算 額	予算執行額
281,192千円	264,743千円

報道広報課

1 広報事業

(1) 刊行物広報

県民の主体的な県政参加に向けて、情報の共有を図るため「ちば県民だより」を発行するとともに、千葉日報紙面に「県からのお知らせ」欄を設けるなど、新聞紙面を活用した幅広い広報を行った。

予 算 額	予算執行額
501,366千円	495,224千円

(2) 放送広報

テレビ広報として、「ウィークリー千葉県」、「千葉県インフォメーション」を放送し、県の各種施策や地域の魅力の紹介、募集告知等を行うとともに、ラジオ広報として、「チバ・プリフェクチャー・アップデート」、「サタデイ・ブレイキング・モーニング」を放送し、県政情報を発信した。

(3) ホームページ広報

千葉県公式ホームページにおいて、探しやすく、読みやすく、使いやすいページづくりを進め、県政情報や県の魅力の紹介等、幅広い情報の発信を行った。

(4) 千葉のブランド形成推進事業

「チーバくん」を広く利用できるようデザインの使用許諾、着ぐるみの貸出、着ぐるみを用いたキャラバン隊の派遣を行うとともに、XやYouTube等のSNSによる発信を行った。

2 広聴事業

(1) 個別広聴事業

- ① 「わたしの提言」 1,078件
- ② 「県政へのご意見・ご提案」 570件
- ③ 「県民相談」 8,825件（うち「法律相談」 143件）
- ④ 「県民テレホン相談」 8,021件

予 算 額	予算執行額
49,959千円	49,501千円

(2) 県政に関する世論調査

県の施策推進の基礎資料とするため、県内在住の満18歳以上の個人3,000名を対象に、意識調査や県政への要望等について、郵送・オンライン調査法により2回実施した。

(3) インターネットアンケート調査

県政運営の基礎資料とするため、アンケート調査協力員に、県の事業や施策等に関する調査を4回実施した。

統計課

1 統計整備事業

各種統計資料を編集・発行するとともに、統計調査員確保対策事業等を実施した。

予 算 額	予算執行額
30,086千円	28,848千円

(1) 統計資料の編集・発行

- ① 令和5年千葉県統計年鑑 330部
- ② グラフで見るわたしたちの千葉県 5,000部

(2) 千葉県統計グラフコンクール

- ① 応募作品数 342点
- ② 応募学校数（小・中学校、高等学校） 62校

2 国の委託統計事業

国の委託を受けて、令和5年住宅・土地統計調査ほか12種類の統計調査等を実施した。主な調査は、次のとおりである。

予 算 額	予算執行額
475,619千円	452,796千円

(1) 令和5年住宅・土地統計調査

住宅・土地の保有状況及び世帯の居住状況等の実態を調査した。

- ① 調査時期 令和5年10月1日
- ② 調査客体 約156,000住戸・世帯

(2) 2023年漁業センサス

漁業の生産構造・就業構造及び漁業を取りまく実態を調査した。

- ① 調査時期 令和5年11月1日
- ② 調査客体 約1,800経営体

(3) 労働力調査

15歳以上の者の就業、不就業の状態を調査した。

- ① 調査時期 毎月末の1週間
- ② 調査客体 年間延べ22,637世帯

3 県独自の統計調査事業

千葉県工業生産動態統計調査ほか4種類の統計調査等を実施した。主なものは、次のとおりである。

予 算 額	予算執行額
3,798千円	2,930千円

(1) 千葉県工業生産動態統計調査

県内の鉱工業生産の実態を調査し、千葉県鉱工業指数月報として公表した。

- ① 調査時期 毎月
- ② 調査客体 79事業所

(2) 県民経済計算

県経済の規模や構造を明らかにするため、令和3年度県民経済計算を推計した。

(3) 産業連関表

県内における産業相互間及び産業と消費者等との財・サービスの取引を一覧表にした令和2年千葉県産業連関表の作成に向け生産額推計を実施した。

水政課

1 水資源対策事業

安定した水資源の確保のため、総合的な水資源対策の一環として、国土交通省からの受託により、野田市・柏市(旧沼南町域を除く)・松戸市・流山市を対象に、地下水・地盤沈下に関する調査等の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
1,065千円	1,012千円

2 水の有効利用対策事業

水の貴重さ及び水資源の重要性に対する県民の関心を高め、理解を深めるため、小学生をはじめとした県民向けの啓発資料「水のはなし」を作成し、ホームページに掲載する等の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
155千円	105千円

3 水道事業対策事業

将来にわたり安全で良質な水を安定的に供給するため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
4,703,811千円	2,549,174千円

(1) 生活基盤施設耐震化等交付金

水道施設の耐震化を推進するとともに、水道事業の広域化を推進し、水道事業体の運営基盤を強化するための施設整備について、かずさ水道広域連合企業団ほか12事業体に対し、国の補助制度を活用し、その経費の一部を助成した。

(2) 水道施設緊急電源確保対策事業補助

病院、避難所等の重要給水施設へ給水する水道施設の非常用発電設備の整備について、かずさ水道広域連合企業団に対し、その経費の一部を助成した。

(3) 九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合

県内の用水供給事業統合に向け、「九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合協議会」を3回開催し、統合基本計画や事務事業の調整に係る協議を進めた。

4 経営健全化対策事業

水道事業体の経営健全化及び料金格差是正のため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
2,246,961千円	2,245,261千円

(1) 市町村水道総合対策事業補助

八街市ほか18水道事業体の経常的な支出に要する経費に対して助成した。

(2) 南房総広域水道用水供給事業市町村補助

館山市ほか7市町が負担した南房総広域水道企業団への出資・繰出に対して助成した。

(3) 上水道事業出資金・繰出金

県が参画している2企業団に対し、地方公営企業法に基づく出資・繰出を行った。

成田空港政策課

1 国際空港対策事業

成田空港の更なる機能強化に伴う空港周辺地域振興及びその他諸施策を実施した。

予 算 額	予算執行額
74,850千円	71,561千円

(1) 空港周辺地域振興事業

ア 「成田財特法」に基づく空港周辺地域整備

空港周辺地域の公共施設等の整備を促進するため制定された「成田国際空港周辺整備のための国の財政上の特別措置に関する法律（昭和45年法律第7号）」に基づく空港周辺地域整備計画の事業の促進に努めた。

イ 成田空港を活かした持続可能な地域づくり検討事業

空港周辺地域における国際的な産業拠点の形成に向けた検討材料とするため、集積を目指す産業分野や拠点整備に関する調査を行い、集積を目指す分野として「精密機械・先端技術産業」「航空機関連産業」「農業関連産業」など複数の分野を取り上げ、電気や工業用水等の必要となるインフラ条件を整理するとともに、それらを踏まえた拠点整備の方向性などの事例研究を行った。

ウ 成田空港周辺地域における土地利用規制の弾力化について

成田空港周辺地域において土地利用規制の弾力化*を実現したことにより、多古町や成田市において、航空物流拠点の開発計画が表明され、県では、令和5年12月に、同市町に投資促進を図る重点促進区域を設定した。

※令和5年3月に、農林水産省の通知により実現した、地域未来投資促進法を弾力的に活用することで、成田空港の機能と一体的利用が必要な物流施設等を整備する場合は、例外的に、農地を含む土地を事業用地として選定することを可能とする取扱い

(2) 千葉の地域資源を生かしたSAF導入可能性調査

成田空港へのSAF*の導入促進や本県経済の活性化を図るため、本県の地域資源を活用したSAFのサプライチェーン構築の可能性について検討を行った。

※SAF (Sustainable Aviation Fuel (持続可能な航空燃料) の略称で、木質系廃材や廃食油などを原料とし、通常の化石燃料よりも二酸化炭素排出量を削減できる航空燃料。)

(3) 成田空港活用協議会負担金

成田空港を活用した県経済の活性化を図るため、官民が連携して設立した成田空港活用協議会の事業費等の一部を負担した。

空港地域共生課

1 国際空港対策事業

成田空港の建設に伴う航空機騒音対策及びその他諸施策を実施した。

予 算 額	予算執行額
202,523千円	198,222千円

(1) 航空機騒音対策事業

ア 共同利用施設整備事業補助

学習・集会等の用に供する施設その他の一般住民の生活に必要な共同利用施設の整備に関する経費のうち、設計・監督料及び地方債等の元利償還金の償還に要する経費の一部を、成田市ほか1市1町に対し、助成した。

イ 防音住宅空調機器更新事業補助

住宅防音工事として設置した空気調和機器で、設置後10年以上経過し、かつ、故障等の状態にあるものの更新工事に補助金を交付した山武市ほか2町に対し、その費用の一部を助成した。

ウ 住宅再防音工事事業補助

対象区域内で住宅再防音工事に補助金を交付した山武市ほか1町に対し、その費用の一部を助成した。

エ 成田空港周辺地域共生財団出えん金

成田空港周辺地域において、きめ細やかな民家防音工事助成事業、航空機騒音等の調査・研究事業等生活環境の改善に資する事業を実施している(公財)成田空港周辺地域共生財団に対して再出えんを行った。

(2) 空港関連用地対策事業

空港関連用地提供者等の移転先となる代替地の管理を実施した。

交通計画課

1 鉄道網整備事業

通勤、通学等の輸送需要に対応するため、さらには、地域基盤の根幹をなす鉄道網の整備を推進するため、次の事業等を実施した。

予 算 額	予算執行額
256,912千円	164,829千円

(1) 東葉高速鉄道利子補給金

東葉高速鉄道株式会社の経営安定化を図り、沿線住民の通勤、通学手段である鉄道の運行を確保するため、同社に利子補給を行った。

(2) 鉄道施設耐震対策事業費補助

首都直下地震等の大規模地震災害に備え、鉄道利用者の安全を確保するため、鉄道事業者1社が行う耐震補強工事に対して、国及び市町村と協調して補助を行った。

(3) いすみ鉄道に対する支援

いすみ鉄道は沿線住民の日常の交通手段であるほか、近年は、房総半島に来訪者を呼び込む、重要な観光資源としての役割も担っており、地域の観光振興を支える鉄道として、安全輸送の徹底やサービスの向上をより一層図るため、関係市町と協調し、線路等のインフラ部分の維持・修繕費等に対し補助するとともに、鉄道運行に係る経費の一部についても補助を行った。

このほか、令和5年台風第13号の接近に伴う大雨により被災した鉄道施設の災害復旧支援を行った。

(4) 鉄道輸送対策事業費補助

鉄道事業者が実施する安全性向上に資する設備整備等を支援するため、国及び市町村と協調して鉄道事業者3社に対し補助を行った。

(5) 地域鉄道災害復旧支援事業

令和5年台風第13号の接近に伴う大雨により被災した小湊鐵道(株)の早期復旧を図るため、災害復旧への取組に対し補助を行った。

2 地域公共交通活性化事業

人口減少等による利用者の減少や運転手不足など、地域公共交通を取り巻く環境が厳しさを増す中、生活に必要なバス路線等の維持・確保を図るため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
344,206千円	238,377千円

(1) バス運行対策費補助

生活交通路線として必要なバス路線のうち、広域的・幹線的な路線の運行維持を図るため、乗合バス事業者8社に対し補助を行った。

(2) 持続可能な地域公共交通の確保支援事業

地域公共交通を持続可能なものとしていくため、広域的な地域公共交通の活性化に資する実証運行に対する補助を行った。

(3) 新モビリティサービス導入推進事業

地域公共交通の利便性や効率性等の向上を図るため、デジタル・先端技術を活用した公共交通サービスの導入に対する補助を行った。

(4) 地域公共交通物価高騰対策支援事業

燃料価格等の高騰の影響を受ける地域公共交通事業者を支援するため、乗合バス事業者等に対し支援金を給付した。

3 交通バリアフリー対策事業

高齢者や障害者をはじめ、誰もが安全で快適に公共交通機関を利用できるよう、鉄道駅やバスのバリアフリー化を図るため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
237,326千円	183,720千円

(1) 鉄道駅バリアフリー設備整備事業補助

木更津市ほか2市が行う鉄道駅におけるエレベーター等のバリアフリー設備整備事業に対し補助を行った。

(2) ノンステップバス等整備事業補助

乗合バス事業者等4社が行うノンステップバス計8台の整備に対し補助を行った。

男女共同参画課

1 計画の策定及び推進

(1) 第5次千葉県男女共同参画計画の進行管理及び評価等

予 算 額	予算執行額
6,984千円	5,338千円

第5次計画の令和4年度事業の進行管理や評価を行うため、指標及び事業の自己評価と、それに対する計画評価専門部会の委員との意見交換等を2回実施した。また、男女共同参画推進懇話会を2回開催し、計画評価専門部会の結果報告及び第5次計画の推進について委員から意見聴取等を行った。

(2) 民間との協働による男女共同参画の推進

官民協働で男女共同参画の取組を促進するため、男女共同参画の趣旨に賛同する県域組織の66団体で構成される男女共同参画推進連携会議において、産業、地域、教育の3部会の会合を行

ったほか、多様性尊重条例の理念を踏まえ、男女ともに働きやすい環境づくりや、女性活躍推進の必要性などの理解促進のため、全体会・女性活躍推進特別部会合同講演会を開催した。

(3) 市町村との協働による男女共同参画の推進

女性の視点だけでなく、男性、高齢者、若者、子ども等の視点からも男女共同参画を捉え、誰もが暮らしやすい地域づくりの取組を促進するため、男女共同参画社会づくりのための広報活動の一環として、県が作成したパネルを市町村に貸し出す巡回展示を実施した。

(4) 千葉県男女共同参画推進事業所表彰

男女が共同して参画することのできる環境づくりに積極的に貢献している事業所を知事賞・奨励賞として表彰した（知事賞：3事業所 奨励賞：3事業所）。また、受賞事業所の取組を紹介する冊子、動画を作成し、県内の経済団体等に配布するほか、県ホームページなどで発信した。

2 男女共同参画センター

男女共同参画の推進拠点である男女共同参画センターにおいて、女性及び男性のための相談事業、男女共同参画への認識と理解を深めるための様々な講座やイベントの開催、情報提供等を行った。

予 算 額	予算執行額
26,600千円	25,645千円

防災危機管理部

危機管理政策課

1 地域防災力向上支援事業

(1) 地域防災力充実・強化補助金

自助・共助の取組及び災害対応のデジタル化をより一層促進し、県全体の地域防災力向上を図るため、市町村が実施する事業に対して補助を行った。

(実績：42市町村 115事業 81,788千円)

予 算 額	予算執行額
137,264千円	91,750千円

(2) 学校における防災教育の充実

自身の災害対応力の向上や将来の地域防災力の担い手としての意識向上を図るため、小学校高学年を対象とした副読本を作成した。

2 防災研修センター運営事業

千葉県消防学校内の防災研修センターにおいて、企業や自主防災組織等を対象に、自助、共助の取組を一層推進・強化するための防災研修を実施した。

予 算 額	予算執行額
39,600千円	39,600千円

3 防災センター管理運営事業

県民の防災に関する知識と技術、防災に関する意識の向上を図るため西部防災センターの管理運営を行った。

予 算 額	予算執行額
95,889千円	91,250千円

4 被災者生活再建支援事業

令和5年台風第13号の接近に伴う大雨で住宅が被害を受けた世帯のうち、国の被災者生活再建支援制度の対象とならない世帯へ支援金を交付した市町村に対し、その経費の一部を補助した。

予 算 額	予算執行額
10,000千円	2,400千円

5 災害救助対策事業

令和5年台風第13号の接近に伴う大雨の被災者を支援するため、次の事業等を実施した。

予 算 額	予算執行額
619,773千円	171,562千円

(1) 災害救助事業

災害救助法に基づき被災市町が実施した住宅の応急修理などの救助に要した費用を負担した。

(2) 災害援護資金貸付金

住居や家財が大きな損害を受けた被災者に対して、生活の立て直しに必要な資金の貸付けを市町村が行うにあたり、その原資を負担した。

防災対策課

1 防災対策の推進事業

(1) 防災訓練事業

県民の防災意識の高揚と防災関係機関の災害対策の充実強化を図るため、関係機関約100団体の参加と、多くの県民の方々にも来場いただき九都県市合同防災訓練(千葉県会場)を実施したほか、住民の方々が参加する土砂災害避難訓練を実施した。

予 算 額	予算執行額
277,130千円	206,455千円

(2) 備蓄物資整備事業

激甚化する災害に備え、備蓄物資を増強するとともに、賞味期限が到来した物資を更新した。

(3) 地震被害想定調査

新たな地震対策策定に向けた被害想定調査を行うにあたり、必要な地盤データを得るため、県南部5箇所ではボーリング調査を実施した。

2 防災行政無線等管理運営事業

(1) 防災行政無線管理運営事業

ア 防災行政無線の管理運営

防災行政無線設備の正常な動作の維持と故障の未然防止のため、保守点検業務を行うとともに、気象情報等の即時通報体制を確保するため、防災行政無線統制局の管理運用業務を実施した。

イ 防災行政無線の再整備

老朽化した防災行政無線設備を更新するため、衛星系無線設備の再整備工事を行った。

(2) 防災情報システム運営事業

ア 防災情報システムの管理運営

災害時に市町村から被害状況を収集し、避難情報等の防災情報を防災ポータルサイト等を通じて県民へ提供する防災情報システムの運用、正常な動作を維持するための保守点検業務を実施し

予 算 額	予算執行額
2,892,419千円	722,151千円

た。

イ 震度情報ネットワークシステムの管理運営

県内各市町村に設置した、計測震度計の震度情報を収集し関係機関に配信する震度情報ネットワークシステムの運用、正常な動作を維持するための保守点検業務を実施した。

(3) 消防救急無線設備管理事業

県内消防（局）本部が利用する消防救急無線について、千葉県市町村総合事務組合から委託を受け、保守点検業務を実施した。

消防課

1 石油コンビナート等防災対策・予防行政の推進

(1) 石油コンビナート等防災対策

石油コンビナート等災害防止法に基づき、石油コンビ

ナート等防災本部を運営し、石油コンビナート区域の防災対策を推進している。

災害時に適切な防災活動を実施するため、九都県市合同防災訓練の一環として、石油コンビナート等特別防災区域における総合訓練を9月に市原市で開催した。

その他、南海トラフ地震に対応した予知対応型訓練を7月に、大容量泡放射システムを活用した運用訓練を9月に実施した。

また、災害時の応急対策に活用することを目的とした概況図の作成を行った。

(2) 一般予防事業

「千葉県住宅防火対策推進協議会」を開催し、住宅防火対策を推進した。

(3) 危険物取扱者・消防設備士関係事業

消防法に基づき、危険物取扱者保安講習（51回）を（一社）千葉県危険物安全協会連合会に、消防設備士義務講習（8回）を（一社）千葉県消防設備協会に、免状の作成等業務を（一財）消防試験研究センターに委託して実施した。

また、県が管轄する危険物施設に対する、立入検査等を行った。

2 市町村消防の指導・支援及び人材の育成

(1) 消防指導事業（各種行事の開催等）

消防団員の消防操法技術の向上と士気の高揚を図り、

地域防災体制の確立を図ることを目的に、「千葉県消防操法大会」を7月に開催した。また、消防職・団員の士気の高揚と消防防災体制の確立を図ることを目的に、「千葉県消防大会」を3月に開催

予 算 額	予算執行額
72,678千円	62,393千円

予 算 額	予算執行額
489,041千円	464,487千円

した。

(2) 消防防災施設強化事業

消防防災施設の強化を図るため、市町村等が行う消防防災施設整備事業に対し補助金を交付した。
(市川市ほか42市町・一部事務組合)

(3) 消防団参画促進事業

近年の消防団員の減少や高齢化を踏まえ、関係地域振興事務所、市町村等と連携し、各地域の特性・課題に応じた消防団加入促進の取組として、主に女性や若者を対象とした消防防災講座や一日入団体験等を開催した。また、若者に対する消防団活動への理解促進の取組として、SNS広告を用いた広報啓発活動やリーフレットの作製を行った。

(4) 消防防災ヘリコプター運航支援事業

千葉市が保有する消防防災ヘリコプターを活用し、地震、風水害等の自然災害、事故災害及び特殊災害などからの被害の防止・軽減や災害等からの円滑な復旧復興を図ることを目的に、千葉市が負担する消防防災ヘリコプターの運航経費について、補助金を交付した。

(5) 消防学校教育訓練事業

消防学校において、市町村消防職員・団員等の教育訓練等を実施し、消防人の育成を図った。

産業保安課

1 工業技術指導事業（電気関係経費）

電気工事士法に基づく免状交付事務を適正に行ったほか、電気工事業の業務の適正化に関する法律に基づく登録及び立入検査等を行うことにより、保安の確保を図った。

予 算 額	予算執行額
20,824千円	17,477千円

2 高圧ガス及び液化石油ガス事業

(1) 高圧ガス保安事業

高圧ガス保安法及び液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づき、製造・貯蔵等の許可及び届出の審査を行うとともに、事業所等に対する保安検査・立入検査等により、災害・事故の防止、保安の確保を図った。

予 算 額	予算執行額
16,348千円	15,349千円

(2) 保安対策事業

- ① 毒性ガス漏えい時の空気呼吸器装着方法の習得を目的とした空気呼吸器装着訓練を実施した。
- ② 高圧ガス事業者の保安意識の高揚と県民への啓発を図るため、高圧ガス保安大会を実施した。
- ③ 高圧ガス事業所の管理者や安全管理責任者を対象としたセミナーを実施し、事業所の自主保安

体制の確立を図った。

- ④ 災害防止機器等の普及に係る液化石油ガス販売事業者等への指導及び一般消費者への啓発活動を実施するとともに、液化石油ガスの保安に関する啓発のため、小中学生を対象とした液化石油ガス事故防止ポスターの募集及び表彰を行った。

3 火薬類取締及び武器等製造取締事業

火薬類取締法及び武器等製造法に基づく許認可事務を行うとともに、災害を防止し、公共の安全を確保するため、警察、千葉県火薬類保安協会と密接な連携を取りながら次の保安業務を行い、施設の適切な維持管理の指導等、事故防止の徹底を図った。

予 算 額	予算執行額
1,325千円	798千円

- ① 火薬類、猟銃等の製造・販売事業者に対して警察と合同で立入検査を実施するとともに、煙火の消費状況について立入検査を実施した。
- ② 火薬庫及び煙火の製造施設に対して保安検査を実施した。
- ③ 火薬類取扱従事者に対する保安意識の高揚、法令遵守の徹底及び技術の向上を図るため、火薬類保安教育講習会に講師を派遣した。
- ④ 花火大会の主催者を対象に、花火大会主催者説明会を開催した。

4 LPガス料金負担軽減支援事業

国が実施するガス料金の激変緩和措置の対象とならない、LPガスを利用している一般消費者等の負担の軽減を図るための補助を行った。

予 算 額	予算執行額
3,310,000千円	1,862,880千円

(1) 第1次LPガス料金負担軽減支援事業

令和5年4月から令和5年9月を支援対象とし、1世帯等あたり2,400円を上限として補助を実施した。

- ・実施月：令和5年8月・9月検針分
- ・実績：約820,236世帯等 1,862,880千円

(2) 第2次LPガス料金負担軽減支援事業（繰越明許 1,212,000千円）

令和5年10月から令和6年3月を支援対象とし、1世帯等あたり1,200円を上限として、補助を実施する。

- ・実施月：令和6年3月又は4月又は5月検針分のうち、いずれか1ヶ月

健康福祉部

健康福祉政策課

1 人権啓発促進事業

人権尊重意識の普及高揚を図るために啓発活動等を実施するとともに、社会福祉施設である隣保館の運営等に対して補助した。

予 算 額	予算執行額
76,111千円	71,625千円

- ① 人権問題講演会の開催等啓発活動等の実施 28,696千円
- ② 隣保館の運営等に対する補助 42,929千円

2 働きづらさを抱える人を対象にした就労支援モデル事業

病気やひきこもり等様々な理由で働きづらさを抱える方々を対象とする新たな就労支援体制の構築を目指し、そのモデルとなり得るシステム、手法を確立するため、モデル事業の実施に要する経費に対し助成を行った。

予 算 額	予算執行額
10,000千円	9,087千円

3 健康危機管理対策事業

感染症、食中毒等により生じる県民の生命、健康を脅かす被害発生の未然防止、発生事案に迅速かつ適切に対応するため、また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
10,882,166千円	10,168,069千円

(1) 健康危機管理対策事業 2,419千円

健康被害の拡大防止を図ることを目的として、地域健康危機管理推進会議において研修会等を実施した。また、災害時の保健所の機能を担保するため、必要な資機材の整備等を行った。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策事業 10,165,650千円

ア 新型コロナウイルス相談センター運営事業

発熱のある方に対応可能な医療機関の紹介や健康相談に対応するため、電話相談窓口を引き続き設置した。

イ クラスタ発生施設等への医療従事者派遣

新型コロナウイルス感染症患者が発生した社会福祉施設等へ感染症対策に知見を有する医師や看護師を派遣し、更なる感染拡大の防止等、クラスター対策を行った。

ウ 新型コロナウイルス感染症医療調整センター運営事業

入院調整、受診調整、健康観察等、新型コロナウイルス感染症の自宅療養者への支援業務を一括して実施する「新型コロナウイルス感染症医療調整センター」を設置し、専任の医師の配置により、医療的な対応が必要な方への支援を強化するとともに、保健所の負担の軽減を図った。

4 保健所業務の改善に向けた検討事業

限られた人的資源で保健所の機能強化を図るため、業務量やプロセス等を可視化することにより課題等を分析し、業務効率化に向けた検討を行った。

予 算 額	予算執行額
10,899千円	10,881千円

5 医療体制整備事業

県立医療機関の整備、医師の確保及び医療体制の確立を図るため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
23,495,369千円	22,385,546千円

(1) 病院事業会計負担金 15,215,287千円

県立病院の高度・特殊医療や救急医療等の充実を図るため、病院局に対し必要な経費を負担した。

(2) 自治医科大学関係事業 131,715千円

医師確保対策として、自治医科大学の運営費に対する助成等を行った。

(3) 地域医療介護総合確保基金造成 7,013,838千円

医療・介護人材の確保や地域医療の格差解消、地域包括ケア・在宅医療の推進など、医療介護分野における様々な課題に対応していくため、地域医療介護総合確保基金に積立を行った。

(4) 地域医療介護総合確保基金事業 442千円

地域医療介護総合確保基金を活用し、千葉県医療介護総合確保促進会議を開催した。

(5) 保健医療提供体制構築推進事業 24,228千円

千葉県保健医療計画や千葉県循環器病対策推進計画の策定等を行うため、各種会議を開催した。

6 令和6年能登半島地震に係る保健師等職員派遣

能登半島地震被災地における避難者の健康管理業務を支援するため、保健師等職員の応援派遣を実施した。

予 算 額	予算執行額
8,700千円	5,551千円

7 保健所運営事業

地域における公衆衛生の向上及び増進を図る中心機関である保健所の運営を行った。

予 算 額	予算執行額
486,270千円	436,176千円

8 衛生研究所運営事業

本県における公衆衛生に関する試験研究の中心機関である衛生研究所の運営を行った。

予 算 額	予算執行額
233,764千円	188,437千円

健康福祉指導課

1 厚生労働統計調査事業

統計法に基づく基幹統計として人口動態調査や国民生活基礎調査等を、一般統計として病院報告、地域保健・健康増進事業報告等の各調査を国の委託を受けて実施した。

人口動態調査については、人口動態調査令に基づき、各市町村に届出のあった出生、死亡、死産、婚姻及び離婚票を取りまとめ審査し、国に報告した。

人 口 動 態 取 扱 件 数 (令和5年概数)

出 生	死 亡	死 産	婚 姻	離 婚	計
35,658件	72,914件	775件	23,251件	9,153件	141,751件

2 民生委員事業

民生委員活動に係る諸経費を助成し、民生委員活動の充実強化を図った。

予 算 額	予算執行額
423,722千円	410,432千円

3 社会福祉団体育成事業

社会福祉団体の活動促進、育成指導のため活動費等を助成した。

また、千葉県社会福祉協議会に対する介護福祉士修学資金等の貸付原資の補助や、高齢者・障害者のうち判断能力が十分でない者に対し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理のサービスを提供する日常生活自立支援事業への補助を実施した。

予 算 額	予算執行額
1,741,564千円	1,736,997千円

4 千葉県社会福祉センター運営事業

地域福祉活動促進、福祉関係団体の活動、福祉人材養成や確保、災害時の福祉的支援の拠点として令和5年4月1日に開設した千葉県社会福祉センターの管理運営を、指定管理者制度により実施した。

予 算 額	予算執行額
96,447千円	96,040千円

5 地域生活推進支援事業

(1) 中核地域生活支援センター事業

児童・高齢者・障害者といった対象者種別にとらわれ

予 算 額	予算執行額
1,752,571千円	1,693,308千円

ず、福祉全般にわたる相談に24時間・365日体制で応じ、速やかに適切な機関への連絡調整を行う中核地域生活支援センター事業を実施するとともに、市町村の包括的な支援体制の構築の後方支援として、研修を実施した。

さらに、家庭、学校ではない第3の居場所として、県立高校10校において「居場所カフェ」を実施した。

(2) 福祉タクシー導入促進事業

高齢者や障害者など、移動困難者の交通手段の確保充実を図るため、福祉タクシー車両導入に必要な経費に対して助成を行った。

(3) ちば障害者等用駐車区画利用証事業

高齢者や障害者等が優先駐車スペースを適正に利用できるよう、利用証を交付するとともに、利用証制度の周知を図った。

(4) 千葉県災害福祉支援チーム体制整備事業

大規模災害発生時、避難所等において要配慮者に対し福祉支援を行うため、介護福祉士などの福祉専門職で構成される「千葉県災害福祉支援チーム（DWAT）」のチーム員を31名登録したほか、チームリーダーや先遣チームのメンバーとして派遣されるチーム員を養成するため、各種研修を実施した。

また、能登半島地震における被災地支援のため、9班45名のチーム員派遣を行った。

6 福祉人材確保・定着対策事業

(1) 介護人材確保対策事業費補助

介護分野への就業促進や介護職員のキャリアアップ

予 算 額	予算執行額
354,696千円	282,387千円

等、介護人材の確保・定着に向けた取組を実施する市町村や団体等に対して支援を行った。

(2) 介護の未来案内人事業

県内介護施設等で働く職員を「介護の未来案内人」として委嘱し、県内高等学校等で介護職の「魅力」や「やりがい」を伝え、介護への理解促進・就業促進につなげる取組を実施した。

(3) 千葉県福祉人材センター事業

福祉に関する人材確保業務を行う福祉人材センターを設置し、就職説明会、職場体験、離職者の再就業支援等を実施した。

(4) 外国人介護人材就業促進事業

介護職を目指す留学生を対象に、日本語学校・介護福祉士養成施設での学習から介護施設での就労までを一体的に支援する「千葉県留学生受入プログラム」の実施や、外国人技能実習生の日本語学習に係る経費の助成、「千葉県外国人介護人材支援センター」において外国人介護職員や受入

施設に対する相談支援等を実施するなど、外国人介護人材の就業促進を図る取組を実施した。

(5) 介護現場における働き方改革促進事業

介護施設・事業所にコンサルタントを派遣し、多岐にわたる介護業務を専門性の高い業務と清掃・配膳等の周辺業務等に仕分けし、周辺業務を担う介護助手を導入するなど、業務改善や多様な人材の適正配置を行う介護施設等を支援した。

(6) 介護に関する入門的研修委託事業

介護人材のすそ野の拡大に向け、介護未経験者を対象とした入門的研修を実施した。また、研修修了者に対し、職場体験の実施や介護事業所とのマッチングまでの支援を行った。

7 福祉サービス第三者評価・情報公表支援事業

福祉サービスの向上と利用者の良質なサービスの選択を支援するため、福祉・介護サービスを対象とした第三者評価・情報公表事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
9,185千円	8,879千円

(1) 福祉サービス第三者評価

- ① 認証した第三者評価機関数 21法人
- ② 評価受審事業所数 152事業所

(2) 介護サービス情報公表

情報公表済み事業所数 3,052事業所

8 認知症研修事業

介護職員の資質向上を図るため、認知症介護に関する研修を実施した。

予 算 額	予算執行額
5,510千円	5,449千円

9 低所得対策事業

生活福祉資金貸付事業の事務費について、実施主体である県社会福祉協議会に対し助成した。また、感染症の影響により収入が減少した方を対象とした生活福祉資金の特例貸付の終了に伴い、原資及び事務費について、不用額を国に返還した。

予 算 額	予算執行額
4,228,404千円	4,158,173千円

10 離職者等生活・就労等支援対策事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者に対して本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施する生活困窮者自立相談支援事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
290,684千円	268,762千円

(2) 住居確保給付金

住宅を喪失している又はそのおそれがある離職者等が安心して再就職活動を行えるよう、住居確保給付金として住宅費の給付（最長9箇月間）を行った。

(3) 子どもの学習・生活支援事業

生活保護世帯や就学援助世帯の小中学生等に対し、学びの場の提供や生活習慣の改善に関する助言等を実施した。

11 生活保護事業

生活に困窮する県民に対して最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長するための各種の扶助事業を行った。

予 算 額	予算執行額
5,701,791千円	5,596,657千円

(1) 生活保護の現況（令和5年度平均）

※千葉市を除く

郡 市 別	被保護 世帯	被保護 人員	保護率	扶 助 別 人 員					
				生 活	住 宅	教 育	医 療	介 護	その他
郡	1,776世帯	2,082人	11.05%	1,696人	1,256人	42人	1,771人	501人	17人
市	54,006世帯	66,612人	13.05%	57,734人	57,024人	2,761人	55,905人	13,313人	1,254人
計	55,782世帯	68,694人	12.98%	59,430人	58,280人	2,803人	57,676人	13,814人	1,271人

(% (パーミル) =1000分の1を1とする単位)

(2) 保護費の支給状況（郡分県費支出分）

(単位：千円)

保護費総額	扶 助 費						施 設 事務費	委 託 事務費
	生 活	住 宅	教 育	医 療	介 護	その他		
3,638,070	950,276	414,292	4,775	2,084,579	116,964	13,556	52,480	1,148

12 遺家族等の援護事業

(1) 戦傷病者戦没者遺族等援護法及び恩給法等に

基づく処理状況

区 分	処 理 件 数
恩 給 年 金 等	1件
各 種 給 付 金 等	57件

予 算 額	予算執行額
47,929千円	39,642千円

(2) 引揚者に対する援護

永住帰国した中国残留邦人等の自立促進を図るため、次の支援を行った。

支援の内容	実績
日本語指導等	日本語再研修31名等
各種相談	自立研修センターでの相談件数520件
支援・相談員の派遣	29回派遣
自立支援通訳の派遣	336回派遣（孤児世帯）
交通費等の支給（地域生活支援プログラム）	交通費7名

(3) 慰霊行事

行事名	実施日	参列者数
千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式	5月29日	遺族 20人
千葉県忠霊塔拝礼式	8月15日	〃 15人
全国戦没者追悼式	8月15日	〃 49人
千葉県戦没者追悼式	11月2日	〃 271人
千葉県南方諸地域戦没者追悼式	10月13日	〃 12人

13 原爆被爆者対策事業

原爆被爆者の高齢化が進み健康の保持と医療の充実が望まれることから、健康診断を実施するとともに各種手当の支給等により日常生活の安定に努めた。

予算額	予算執行額
826,345千円	788,070千円

(1) 被爆者健康手帳交付状況

前年度末 手帳交付者数	増加		減少		年度末 手帳交付者数
	新規	転入	転出	死亡	
1,710人	13人	15人	11人	118人	1,609人

(2) 健康診断実施状況（受診者延べ数）

一般検査	肝機能検査	がん検査	精密検査
323人	310人	342人	63人

(3) 手当支給状況（延べ件数）

医療特別	特別	健康管理	保健	介護	葬祭料	交通	健康
906	286	14,233	940	59	83	100	15,381

健康づくり支援課

1 健康ちば21推進事業

県の健康増進計画である「健康ちば21」に沿って種々の健康づくり事業を推進しており、健康づくりに関する県民

予 算 額	予算執行額
19,800千円	19,734千円

の意識を高め、運動・休養・栄養・禁煙等に関する知識の普及を図り、さらに、健康づくりに関心が低い者を含め県民が主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、市町村と協力・連携し、健康づくりに対する動機付けと継続につながる環境を整備するインセンティブ事業を実施した。

2 歯科保健事業

歯の健康を保つことは、充実した食生活や楽しい会話など生活の質の向上を図る上で大切であり、全身の健康に影響を与えることから、80歳になっても20本以上の歯を保つこと(8020(ハチマルニイマル))を目標に、歯科保健事業の推進を図った。

予 算 額	予算執行額
57,064千円	55,928千円

(1) 在宅歯科診療設備整備事業

22,226千円

歯科診療所への通院が困難な高齢者等に対する在宅歯科診療の普及を推進するため、在宅歯科診療を実施する県内歯科診療所(28箇所)に対し、在宅歯科診療設備の整備に係る補助を実施した。

(2) 地域包括ケア歯科医療連携室整備事業

4,861千円

地域包括ケア歯科医療連携室を運営し、在宅歯科診療を行う医療機関の支援を行うとともに、県民などからの電話相談等に対応した。

(3) 歯科・口腔保健に携わる人材の確保・育成

10,000千円

未就業の歯科衛生士の復職を支援や、医療・介護関係職種を対象とした口腔機能管理や口腔がん等の研修を実施した。

(4) 口腔機能維持向上普及啓発事業

5,000千円

高齢者の口腔機能の低下防止を図るため、8029運動を通して、県民向けの啓発イベントなど、健康寿命延伸につながる口腔機能維持の普及啓発を行った。

(5) 難病患者等のための在宅歯科医療推進事業

3,000千円

難病患者の在宅歯科医療を担うことのできる専門的知識や技術を習得した歯科医師を養成するため研修を行った。

3 千葉県口腔保健支援センター事業

(1) 歯科口腔保健に係る県民への普及啓発

県ホームページ、リーフレット等による情報提供

予 算 額	予算執行額
6,666千円	6,097千円

(2) 市町村の歯科口腔保健担当者等に対する情報提供や研修会等

市町村等歯科保健担当者からの相談に対する専門的助言や資質向上のための研修会を開催した。

4 地域・職域連携推進事業

健康の保持増進には、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供が必要であることから、地域保健と職域保健の連

予 算 額	予算執行額
5,326千円	3,220千円

携を推進する。生活習慣病予防・がん対策・たばこ対策、メンタルヘルス対策などを中心とする各種保健事業の共同実施、保健事業の実施に要する社会資源を相互に有効活用するなど、保健サービス提供体制を整備するため、県レベル及び保健所圏域（13箇所）に設置した地域・職域連携推進協議会を開催した。

また、県レベルの協議会では、健康増進計画である「健康ちば21（第2次）」の推進及び実績の評価に加え、令和6年度から計画期間が始まる「健康ちば21（第3次）」について計画策定作業部会を開催し、計画の方向性等に関する協議並びに検討等を実施した。

5 たばこ対策事業

たばこは、肺がんを始め、生活習慣病等様々な健康被害の原因とされており、たばこと健康に関する知識の啓発、未成年の喫煙防止、禁煙希望者への支援等たばこ対策を総合的に推進した。

予 算 額	予算執行額
5,078千円	4,745千円

また、受動喫煙対策については、改正健康増進法が令和2年4月に全面施行となったことから、法律に基づく規制について広く周知啓発を行った。

6 健康増進事業

県民の健康の保持及び増進を図るため、市町村（千葉市を除く）が行う健康教育、健康相談、歯周疾患検診、骨粗鬆症検診及び肝炎ウイルス検診を含む健康診査、訪問指導等の健康増進事業に対する補助を行った。

予 算 額	予算執行額
468,000千円	411,226千円

7 自殺対策推進事業

第2次千葉県自殺対策推進計画に基づき、自殺の危機に対応する一次予防として、検索連動型広告等による悩みを抱えたときの相談先の周知や心の健康づくりの推進、二次予防として、電話やSNSを利用した相談窓口の設置、自殺未遂者への支援等の事業を行った。

予 算 額	予算執行額
159,133千円	148,280千円

また、地域における自殺対策を支援するために、市町村及び民間団体が行う自殺対策事業に対する補助を行った。

8 生活習慣病予防支援人材育成事業

(1) 人材育成研修 465千円

市町村国保等医療保険者及び民間事業者が、特定健診・特定保健指導を効果的に実施し、糖尿病等生活習慣病予備群・有病者を減少させることができるよう、当該事業に従事する医師、保健師、管理栄養士等を対象に研修を行った。

予 算 額	予算執行額
1,708千円	1,196千円

(2) 糖尿病性腎症重症化予防対策推進事業 731千円

地域で保険者が医療機関等と連携して事業に取り組めるよう対策推進検討会を開催し、千葉県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの周知・知識の普及啓発のための保健指導従事者向け研修会などを実施した。また、慢性腎臓病（CKD）重症化予防対策についても、併せて取組を実施した。

9 がん対策事業

「第3期千葉県がん対策推進計画」（平成30年度～令和5年度）に基づき、総合的ながん対策の推進を図る事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
253,029千円	241,743千円

(1) がん医療提供体制の整備事業 186,701千円

がん診療連携拠点病院等に対する補助、全国がん登録事業、アスベストによる健康被害に関する県民等の不安に対応するための事業、がん医療や療養生活に関する幅広い相談にワンストップで対応する千葉県地域統括相談支援センター事業を実施した。

(2) 緩和ケア推進強化事業 2,247千円

県内の拠点病院等が実施する「緩和ケア研修会」（集合研修）の周知をしたほか、在宅緩和ケアに関する医療・介護資源の情報収集や、ホームページを活用した情報の提供等を行った。

(3) がん予防・早期発見を推進する事業 3,051千円

胃内視鏡検診の従事医師等に対する研修、検査技師等に対する乳がん超音波検診研修を実施したほか、正しい知識の普及啓発のためにがん予防展・講演会を開催した。

(4) 小児・AYA世代がん患者等支援事業 26,957千円

妊孕性温存療法に対する助成を実施したほか、県内で妊孕性温存療法を希望する患者が適切ながん・生殖医療とつながることができるようネットワーク構築やがん診療従事者等の人材育成を行った。

(5) がん患者QOL向上事業 21,043千円

市町村が実施するがん患者に対するアピアランスケア支援事業、若年末期がん患者の在宅療養支援事業に要する経費の一部補助を実施した。

10 食からはじまる健康づくり事業

外食や弁当・惣菜等の中食による野菜摂取増や減塩に配慮した食事の提供及び栄養成分表示等を通じて適正な食生活を実践しやすい環境整備を推進した。

予 算 額	予算執行額
3,811千円	3,359千円

(1) ライフステージに応じた健康づくり推進事業 1,263千円

企業や地域ボランティア等との協働により、食生活の重要性を普及啓発し、生活習慣病の発症予防を図るとともに、地域における食育の推進を図った。

(2) 人材育成 2,000千円

地域で活動している食生活改善推進員に対し、教育研修を開催し、資質の向上を図った。

また、食と健康推進講習会を県内複数の地域において開催し、県民の食生活の改善を図った。

11 調理師による県民の食生活の向上に関する条例関連事業

「調理師による県民の食生活の向上に関する条例」に基づく、調理師を対象にした講習会を開催し、県内で調理業務に従事する調理師等の資質向上を図ることにより、県民の食生活向上を推進した。

予 算 額	予算執行額
4,249千円	4,078千円

12 地域リハビリテーション支援体制整備推進事業

障害者や高齢者等が住み慣れた地域で、いつまでも生き生きとした生活を送ることができる社会を目指し、保健・医療・福祉等の関係機関の連携による、地域リハビリテーション支援体制の整備を図った。

予 算 額	予算執行額
11,426千円	11,280千円

13 自宅療養者支援事業

自宅療養者に対するパルスオキシメーターの貸し出しや健康観察・健康相談のためのフォローアップセンターの運営、保健所設置市（3市）が行う健康管理・配食サービス事業に対する間接補助事業等を実施した。

予 算 額	予算執行額
476,662千円	476,045千円

なお、新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から5類感染症に移行したため、国からの交付金による補助が終了するに伴い順次終了した。

疾病対策課

1 小児慢性特定疾病支援事業

健全育成の観点から、医療費の負担軽減を図るとともに、在宅療養上の適切な支援を行い、安定した療養生活の確保と患者家族の生活の質の向上を図った。

予 算 額	予算執行額
845,568千円	835,252千円

(1) 小児慢性特定疾病医療費支援事業

小児慢性特定疾病児童等16疾患群788疾病について医療費の助成を行った。

患者数 2,747人（令和6年3月末現在）

(2) 日常生活用具給付事業

小児慢性特定疾病児童等に対して、特殊寝台、たん吸引器等日常生活用具を給付し、日常生活の便宜を図った。

(3) 移行期医療支援体制整備事業

小児期から成人期への移行期にある小児慢性疾患児等に対し、適切な医療を提供できるよう移行期医療支援センターを設置するとともに、円滑な移行が図られるよう研修会等を実施した。

2 感染症等対策事業

感染症の拡大防止を目的とした健康診断等の実施や検査体制整備等を行うとともに、肝炎患者の医療費や風しん抗体検査の検査費用助成、風しんワクチン接種補助に対する助成等を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策として、病床の確保、ワクチン接種体制の確保、PCR検査体制の確保等を行った。

予 算 額	予算執行額
33,405,483千円	22,350,095千円

(1) 結核対策事業

本県の結核患者は平成12年以降減少傾向を示しているが、引き続き「千葉県結核対策プラン」に基づき、入院患者や外来・在宅患者に対するDOTS（直接服薬確認療法）の実施や接触者健康診断の徹底等を図った。

令和5年管理検診及び接触者健康診断実施状況（千葉市、船橋市、柏市を除く）

区分	対象者数 A	受診者数 B	受診率 B ÷ A	要医療者数 C	要医療率 C ÷ B
管理検診	874人	800人	91.5%	3人	0.38%
患者の家族	283人	277人	97.4%	3人	1.08%
接触者等	2,064人	2,020人	97.9%	13人	0.64%

(2) 感染症対策事業

感染症に対する正しい知識の普及啓発及び感染症発生動向調査の充実並びに予防接種の指導等、平常時対策を進めるとともに、感染症発生時には、健康診断による患者の早期発見と疫学調査を行い、流行の防止に努めた。

令和5年一類・二類・三類感染症患者発生状況（結核を除く）

細菌性赤痢	腸チフス	パラチフス	コレラ	腸管出血性大腸菌感染症
3人	4人	2人	0人	154人

(3) 予防接種事業

感染予防や病気のまん延防止を目的としている予防接種について、県内市町村が実施している定期予防接種をはじめ、疾病の流行状況など感染症の動向を踏まえた予防接種事業全般の推進を図った。

(4) エイズ対策事業

エイズ（後天性免疫不全症候群）の患者・感染者は、全国的にも、また本県においても依然として増え続けており、まん延を防止するために正しい知識の普及啓発に努めるとともに、相談・検査体制の充実及び中核拠点病院等による診療体制の確保を図るなど、感染予防と診療体制の整備に努めた。

① 令和5年 後天性免疫不全症候群発生状況

男 性	女 性	合 計
32人	4人	36人

② 令和5年度 エイズ相談・検査件数

相談件数	検査件数	委託検査
3,186件	1,569件	373件

(5) その他感染症対策事業

ア 肝炎対策事業

国内最大級の感染症である肝炎について、肝がんへの進行予防・肝炎治療の効果的促進のため、B型・C型ウイルス性肝炎に対するインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療並びに核酸アナログ製剤治療を要する患者に医療費助成を行い、経済的負担の軽減を図った。また、感染者が早期に検査を受け、適切な治療を受けることができるよう、保健所（健康福祉センター）や委託医療機関での相談・検査体制の整備を図った。

肝炎治療医療費助成認定状況

インターフェロン治療	インターフェロンフリー治療	核酸アナログ治療	合計
6件	404件	3,055件	3,465件

イ 風しん対策事業

(ア) 抗体検査委託事業

風しんの流行状況を踏まえ、特に重篤な影響を及ぼす可能性のある妊婦への感染の拡大を防止し、先天性風しん症候群の発生予防を図るため、妊娠を希望する女性及びその配偶者（パートナー）、抗体価の低い妊婦の配偶者（パートナー）に対する風しん抗体検査委託事業を実施した。

実施数 4,354 人

(イ) ワクチン接種補助事業

県及び千葉市、船橋市、柏市が実施する抗体検査において、抗体価が低いと判定された者に対する市町村のワクチン接種事業の費用の一部を負担した。

助成市町村 39市町村 1,645人分

(6) 新型コロナウイルス感染症対策事業

ア 空床確保等補助事業

患者受入のため確保した病床のうち患者入替えなどに伴う空床分や、感染防止策などに伴う休止病床分に係る費用について補助した。

交付実績 157医療機関

イ ワクチン接種体制の確保

市町村が実施する新型コロナワクチンの接種が円滑に進むよう、医療機関等に対して財政支援を行った。

交付実績 延べ 25医療機関

ウ PCR検査体制の確保

保健所や衛生研究所、地域外来・検査センター、医療機関において必要な検査を行える体制を確保した。

地域外来・検査センター 3箇所

医療機関における検査費用の公費負担 支払件数：214,828件

3 難病対策事業

(1) 難病医療費助成事業

原因が不明で治療方法が確立していない難病のうち国の定めた338疾病について医療費の助成を行った。

患者数 42,794人（令和6年3月末現在）

予 算 額	予算執行額
8,474,255千円	8,358,137千円

(2) 難病対策事業

ア 難病相談事業

各保健所を拠点として、難病患者及びその家族に対し、医療及び療養生活に関わる相談・指導を行い、疾患等に関する不安の解消と潜在患者の早期発見に努めるとともに、寝たきり等により

受療が困難な在宅患者に対し、訪問相談、訪問指導・診療を実施し、在宅療養上の適切な支援を行った。

- ① 相談 30回、窓口相談延べ件数 3,147件
- ② 訪問相談員派遣 135件、訪問指導・診療 348件

イ 難病相談支援センター事業

県内9箇所に設置した難病相談支援センターにおいて、難病患者、その家族の生活の質（QOL）の向上を推進するため、日常生活における相談支援、地域交流活動の支援を行うとともに、難病に関する情報を提供するために講演会・研修会を開催した。

相談事業 6,560件 講演・研修会事業 22回

ウ 在宅難病患者一時入院等事業

人工呼吸器を装着した神経難病患者等の家族等の介護負担を軽減するため、一時的に入院できる病床の確保によるレスパイト入院の受入れや訪問看護師を自宅に派遣する在宅レスパイトを実施した。

利用実績 42件

4 アレルギー疾患対策事業

アレルギー疾患に関する正しい知識や予防策、対処方法等について、疾病対策課内に設置したアレルギー相談センターにおいて、専門の医師や看護師が県民からの相談に応じるとともに、県ホームページの専用サイトにおいて情報提供を行った。

予 算 額	予算執行額
15,379千円	14,475千円

また、アレルギー疾患を有する者が適切なアレルギー疾患医療を受けることができるよう、本県のアレルギー疾患医療提供体制の整備を図るため、その拠点となるアレルギー疾患医療拠点病院を設置するとともに、学校や社会福祉施設への助言を行った。

児童家庭課

1 DV被害者支援事業

「DVを許さない社会と被害者の立場に立った支援の実現」を基本理念に、DVの予防啓発と被害者の支援を推進するため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
22,556千円	20,834千円

- ① 若者のためのDV予防セミナー 1,860千円
- ② DV防止に関する広報・啓発等 17,786千円

2 婦人保護対策事業

要保護女子の自立更生を図るため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
165,376千円	162,698千円

- ① 婦人相談員設置費 12,898千円
- ② 婦人保護事業措置委託 144,435千円

3 配偶者暴力相談支援センター事業

女性サポートセンター等において、専門相談員、カウンセラー、保育士、医師、及び看護師等を配置し、相談、一時保護を主としたDV被害者等への支援を行うため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
205,369千円	188,519千円

- ① 地域配偶者暴力相談支援センター事業 45,560千円
- ② 会計年度任用職員等人件費 86,671千円

4 要保護児童対策事業

児童虐待の未然防止と早期対応、社会的養護を要する児童の保護及び支援のため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
14,653,153千円	13,257,359千円

(1) 保護措置事業 7,504,701千円

民間児童福祉施設等に児童を措置したことにより施設等が要する経費を負担した。

(2) 児童自立支援事業 114,555千円

児童養護施設等を退所した者の就職や進学を支援することにより、自立支援の充実を図った。

(3) 児童福祉施設等補助事業 508,579千円

施設入所児童の処遇向上等を図るため、児童養護施設等への各種助成事業を実施した。

(4) 民間児童福祉施設整備事業 699,190千円

民間児童福祉施設の整備促進を図るため、整備費等に助成した。

(5) 児童相談所等運営事業 2,505,213千円

県内6箇所の児童相談所で児童の養育についてのあらゆる相談を受け、必要に応じて児童の一時保護を行うとともに、新設する2箇所の児童相談所の実施設計、建替える2箇所の児童相談所の基本設計を行った。また、各県立児童福祉施設で児童養護や自立支援を行った。

(6) 出産・子育て応援交付金事業 1,000,501千円

妊婦・子育て家庭が安心して出産、子育てができる環境整備に向けて、妊娠期から出産、子育てまで一貫して相談に応じ必要な支援につなげる伴走型支援と、経済的支援を一体として実施する市町村に対して、事業の実施に要する費用の一部を補助した。

5 ひとり親家庭等福祉対策事業

ひとり親家庭等の生活の安定と福祉の向上のため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
1,539,634千円	1,320,832千円

- | | |
|---------------------------|-----------|
| ① 母子・父子自立支援員設置費 | 53,389千円 |
| ② ひとり親家庭等医療費等助成事業 49,371人 | 948,093千円 |
| ③ 母子家庭等就労支援事業 | 19,175千円 |
| ④ ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業 | 35,482千円 |

6 児童扶養手当支給事業

ひとり親家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることを目的として、次のとおり児童扶養手当の支給を行った。

予 算 額	予算執行額
602,689千円	545,826千円

- ・児童扶養手当支給事業 延べ13,339人 543,250千円

7 母子保健事業

市町村の協力のもとに、心身障害児の発生予防・早期発見及び乳幼児や児童の健全な育成を図ることを目的に、保健指導を主とした母子保健対策、医療給付、検査等の施策を推進した。

予 算 額	予算執行額
6,680,255千円	6,190,256千円

(1) 医療助成事業 6,047,320千円

事 業 名	給付人員
子ども医療費助成事業	634,353人
特定不妊治療費助成事業	41人
未熟児養育医療給付	686人
自立支援医療（育成医療）給付	409人
結核児童療育医療給付	0人

(2) 検査事業 91,718千円

事 業 名	検査人員	備 考
先天性代謝異常等検査	30,632人	対象疾患：先天性甲状腺機能低下症ほか19疾患
	928人	対象疾患：脊髄性筋萎縮症・重症複合免疫不全症（国の実証事業）

8 母子父子寡婦福祉資金貸付金事業

母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の経済的自立と生活意欲の助長を図るため、各種資金の貸付を行った。

予 算 額	予算執行額
654,055千円	208,963千円

母子父子寡婦福祉資金の貸付実績

区 分	貸 付 件 数	貸 付 額
母 子 福 祉 資 金	99件	37,095千円
父 子 福 祉 資 金	6件	1,848千円
寡 婦 福 祉 資 金	0件	0千円
計	105件	38,943千円

※このほか償還金・繰出金 149,825千円

子育て支援課

1 子ども・子育て支援事業

幼児教育、保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するため、次の子育て関係事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
44,445,760千円	42,871,506千円

(1) 施設型給付費 27,072,679千円

市町村が認定こども園・保育所・幼稚園の運営費に対して支弁する給付費の一部を負担した。

(2) 地域型保育給付費 3,826,486千円

市町村が小規模保育事業、家庭的保育事業等の運営費に対して支弁する給付費の一部を負担した。

(3) 地域子ども・子育て支援事業 6,728,585千円

市町村が地域の実情に応じて実施する放課後児童クラブ、病児保育、延長保育、一時預かり等の事業に要する経費に対し助成を行った。

(4) 子ども・子育て支援整備事業 116,622千円

市町村が子ども・子育て支援事業計画等で位置づけた、放課後児童クラブ及び病児保育施設の整備を行うための経費に対し補助を行った。

(5) 認定こども園整備事業 9,106千円

幼児教育と保育を一体的に提供する民間の認定こども園の施設整備を行うための経費に対し補助を行った。

(6) 子育て応援！チーパス事業 1,895千円

企業等の協賛により、子育て家庭が店舗等で各種サービスを受けられる子育て支援事業を行った。

2 保育対策事業

家庭において必要な保育を受けることが困難な児童の保育を積極的に推進し、待機児童の早期解消を図るため、次の保育所等に対する事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
1,888,259千円	1,532,858千円

(1) 保育士配置改善事業 1,293,406千円

保育所等に入所する児童の処遇向上を図るため、公定価格上の基準を上回って職員を配置した保育所等に対し、その雇用に伴う経費に対し助成を行った。

(2) 保育所整備促進事業 61,428千円

国の保育所等整備交付金又は子育て安心応援事業（保育所緊急整備事業）のうち定員増を伴う整備に対して、県独自の加算措置を行った。

(3) 賃貸による保育所・小規模保育事業所緊急整備事業 167,117千円

賃貸物件を活用した保育所・小規模保育事業所を新設、定員拡大のために改修する場合の費用について、国の助成に県独自の上乗せを行った。

3 保育士人材確保等事業

不足している保育士の確保を図るため、次の人材確保対策事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
4,901,352千円	4,117,775千円

(1) ちば保育士・保育所支援センター運営事業 18,286千円

保育士の専門性向上と質の高い人材を安定的に確保するため、潜在保育士の就職や保育所の潜在保育士活用支援等を行った。

(2) 保育所保育士等研修事業 4,790千円

保育士の専門性の向上に係る研修、保育士養成施設の学生や潜在保育士を対象とした就職説明会・研修を行った。

(3) 保育士等キャリアアップ研修事業 143,288千円

保育士の定着及び保育の質の向上を図るため、一定の経験を積んだ保育士等を対象として、キャリアアップのための研修を行った。

(4) 千葉県保育士処遇改善事業 2,089,712千円

保育士の確保・定着対策を一層推進し、県内の保育環境の改善を図るため、市町村が行う民間保育所等の保育士の処遇（給与）改善に係る事業に対し補助を行った。

(5) 都市部における保育所等への賃借料支援事業 451,575千円

都市部での賃貸物件を活用した保育所等の整備促進を図るため、その賃料の一部に対し補助を行った。

4 児童手当支給事業

児童手当法に基づき市町村が支給している児童手当の一部を負担した。

- ・支給児童数 延べ 7,519,577人
- ・負担金額 12,269,640千円

予 算 額	予算執行額
12,269,641千円	12,269,640千円

高齢者福祉課

1 高齢者福祉の総合的推進

「千葉県高齢者保健福祉計画（令和3年度～令和5年度）」における各種施策の評価を行うとともに、「千葉県高齢者保健福祉計画（令和6年度～令和8年度）」の策定を行った。

千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進事業

1,953千円

予 算 額	予算執行額
2,929千円	1,953千円

2 高齢者の社会参加の推進

高齢者の社会活動への参加を促進し、生きがいを持てる高齢社会を実現するため、高齢者の社会参加の環境整備を推進するほか、ふれあいの場づくり、健康の保持・増進を図る各種事業を実施した。

- | | | |
|----------------------|------------------|-----------|
| ① 生涯大学校管理運営等事業 | 5 学園 | 286,029千円 |
| ② 老人クラブ活動等社会活動促進事業 | 50市町村 | 85,902千円 |
| ③ 千葉県老人クラブ連合会活動促進等事業 | (公財) 千葉県老人クラブ連合会 | 26,170千円 |
| ④ 明るい長寿社会づくり推進機構事業 | (福) 千葉県社会福祉協議会 | 28,706千円 |

予 算 額	予算執行額
435,243千円	426,807千円

3 高齢者在宅福祉の充実

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、高齢者及び介護する家族を支援する各種事業を実施した。

- | | | |
|-------------------|------|----------|
| ① 福祉ふれあいプラザ管理運営事業 | | 93,751千円 |
| ② 認知症支援事業 | | 72,732千円 |
| ③ 老人短期入所居室整備事業補助 | 6 法人 | 17,600千円 |

予 算 額	予算執行額
223,254千円	196,752千円

4 高齢者福祉施設の充実

高齢者がその心身の状況や家庭の事情に応じて適切な施設サービスを受けられるよう、高齢者福祉施設の整備拡充及び高齢者福祉施設入所者の処遇向上を図る各種事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
10,479,386千円	7,670,944千円

① 社会福祉施設物価高騰対策支援事業(高齢者施設分)	1,850件	2,379,085千円
② 特別養護老人ホーム建設事業補助	13法人	2,288,700千円
③ 軽費老人ホームサービス提供費補助	64法人	1,671,632千円
④ 高齢者施設におけるPCR検査実施事業		900,743千円

5 介護保険事業

介護保険制度が円滑に運営されるよう、次のとおり事業を行った。また、サービス提供事業者に対して、運営指導(979事業所)及び監査等(3事業所)を実施した。

予 算 額	予算執行額
74,611,538千円	72,744,221千円

(1) 介護給付費県負担金	68,101,038千円
介護保険法に基づく介護給付費に対する負担金(54市町村)	
(2) 地域支援事業交付金	2,998,504千円
介護保険法に基づく地域支援事業に対する交付金(54市町村)	
(3) 低所得者保険料軽減県負担金	1,506,785千円
介護保険法に基づく高齢の低所得者に対する負担金(54市町村)	

6 地域医療介護総合確保基金事業

地域医療介護総合確保基金等により、介護サービス事業所等における新型コロナウイルス感染症の感染者発生時のかかり増し経費等を助成するとともに、市町村が推進する小規模介護施設等の整備事業に対する助成等を実施した。

予 算 額	予算執行額
10,041,892千円	6,370,199千円

① 開設準備支援等事業	18市町 21法人	2,074,720千円
② 介護基盤整備交付金事業	12市町 13法人	2,049,410千円
③ 介護サービス事業所等におけるサービス提供体制確保事業	459件	1,604,866千円
④ 介護施設等における感染拡大防止事業	13市町 10法人	304,383千円
⑤ 介護事業所におけるICT導入支援事業	91法人	107,658千円
⑥ 介護ロボット導入支援事業	68法人	87,926千円
⑦ 認知症支援事業		46,811千円

障害者福祉推進課

1 障害者更生援護事業

(1) 自立と社会参加の促進

障害者が積極的に社会活動や経済活動に参加し、地域社会で生活できるよう各種事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
6,567,770千円	6,158,947千円

- | | | |
|------------------------------|------------|----------|
| ① 障害のある人に対する理解を広げ差別をなくすための事業 | 相談件数48件 | 70,943千円 |
| ② 千葉点字図書館運営費補助事業 | 1施設 | 67,198千円 |
| ③ 聴覚障害者情報提供施設運営費補助事業 | 1施設 | 36,558千円 |
| ④ 障害者IT支援事業 | 受講人数160人 | 12,000千円 |
| ⑤ 身体障害者手帳等交付事業 | 延べ12,861人 | 15,348千円 |
| ⑥ 手話通訳者・要約筆記者等養成事業 | 受講人数190人 | 13,719千円 |
| ⑦ 手話通訳者派遣事業 | 利用件数285件 | 4,310千円 |
| ⑧ 要約筆記者派遣事業 | 利用件数93件 | 3,180千円 |
| ⑨ 盲ろう者向け通訳・介助員養成研修事業 | 受講人数18人 | 2,667千円 |
| ⑩ 盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業 | 利用件数1,673件 | 18,550千円 |

(2) 在宅福祉の充実

在宅の重度障害者に対して、その障害によって生ずる特別な負担の軽減を図るために手当を支給するなど、障害者の経済援助等の充実を図るため、各種事業を実施した。

- | | | |
|--------------------------------|-------------|-------------|
| ① 特別障害者手当等給付事業 | 延べ 3,742人 | 88,718千円 |
| ② 在宅重度知的障害者及びねたきり身体障害者福祉手当給付事業 | 延べ32,377人 | 138,669千円 |
| ③ 重度心身障害者（児）医療給付改善事業 | 対象人員67,773人 | 3,684,824千円 |
| ④ 更生医療給付費負担金 | 54市町村 | 1,925,006千円 |

2 高次脳機能障害支援事業

高次脳機能障害及びその関連障害に関する支援体制の確立のため、専門的な相談支援、機能回復のための訓練、高次脳機能障害に関する普及啓発等に努めた。

予 算 額	予算執行額
22,000千円	22,000千円

3 児童保護措置事業

障害児及びその保護者等の療育や日常生活等の向上、在宅の不自由児に対する自立・社会参加の促進やボランティアの育成を図るため、各種事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
29,047千円	22,404千円

4 特別児童扶養手当支給事業

精神又は身体に重度又は中度の障害のある児童の父母等に特別児童扶養手当を支給する事業を実施し、児童の福祉の増進に努めた。

予 算 額	予算執行額
12,619千円	9,651千円

5 精神保健福祉事業

(1) 精神疾患患者医療事業

措置入院患者及び通院患者に対する医療費の公費負担をはじめ精神科病院入院者に係る精神医療審査、措置入院患者の实地審査、精神科病院の指導監督等を実施した。

予 算 額	予算執行額
10,371,205千円	10,322,262千円

- | | | |
|---------------------|--------------|-------------|
| ① 精神疾患患者医療費 | 延べ1,632,368件 | 9,897,210千円 |
| ② 精神科救急医療システム整備事業 | 33病院 | 103,038千円 |
| ③ 精神疾患患者医療費審査支払事務委託 | 延べ1,632,368件 | 108,152千円 |

(2) 地域・在宅福祉の充実

精神障害のある人が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるようにするためには、医療機関による退院支援や地域の福祉関係機関による地域生活支援の両面が必要であることから、保健、医療、福祉関係者による「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築を推進した。

- | | | |
|-----------------------------|------|----------|
| ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 | 13団体 | 19,708千円 |
|-----------------------------|------|----------|

障害福祉事業課

1 障害者更生援護事業

(1) 自立と社会参加の促進

障害者が積極的に社会活動や経済活動に参加し、地域社会で生活できるよう各種事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
35,427,048千円	32,801,575千円

- | | | |
|--------------------|----------|--------------|
| ① 市町村地域生活支援事業 | 54市町村 | 895,017千円 |
| ② 自立支援給付費負担金 | 54市町村 | 29,538,967千円 |
| ③ グループホーム運営費等補助 | 51市町村 | 258,529千円 |
| ④ グループホーム等支援事業 | 51市町村 | 311,185千円 |
| ⑤ 障害者グループホーム等支援事業 | 11法人 | 60,033千円 |
| ⑥ 障害者生活ホーム運営事業 | 23市町村 2件 | 20,674千円 |
| ⑦ 障害者就業・生活支援センター事業 | 13法人 | 102,333千円 |
| ⑧ 地域活動支援センター等支援事業 | 延べ27市町村 | 16,279千円 |

⑨ 重度訪問介護等の利用促進に係る市町村支援事業	18市町村	29,787千円
⑩ 障害者の工賃アップのための事業	1法人	35,299千円
⑪ 強度行動障害のある方の支援者に対する研修事業	研修修了者16人	6,560千円
⑫ 発達障害者支援体制整備事業	1法人	13,000千円

(2) 施設整備・福祉の充実

障害者の自立に必要な指導・訓練等を行うため、施設整備を図るとともに、市町村が行った障害者施設の支援に要した経費について負担する等の各種事業を実施した。

① 社会福祉施設等施設整備費補助事業	2件	120,270千円
② 強度行動障害者等県単加算事業	15市町村	49,512千円
③ 袖ヶ浦福祉センター利用者受入等支援事業	17件	96,033千円
④ 重度の強度行動障害のある方の受入等支援事業	16件	76,524千円

(3) 新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策への助成や、障害者施設等を対象に抗原定性検査キット配付を実施した。

① 障害福祉サービス等事業者に対するサービス継続支援事業	54,636千円
② 障害者施設等への抗原定性検査キット配付等事業	111,006千円
③ 障害者施設従事者等への抗原定性検査キット配付等事業	70,072千円

2 袖ヶ浦福祉センター運営事業

令和4年度末にセンターを廃止したことに伴い、建物の安全・防犯の観点から警備業務を実施するなど、旧センター施設の適正な維持管理業務を実施した。

- ・ 維持管理事業 8,341千円

予 算 額	予算執行額
25,932千円	8,341千円

3 千葉リハビリテーションセンター運営事業

医療型障害児入所施設（定員132名）、児童発達支援センター（定員30名）、障害者支援施設（定員56名）及びリハビリテーション医療施設（定員110名）の管理運営を指定管理者である社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団が行い、身体障害者（児）の更生援護に努めた。

また、老朽化・狭あい化しているセンターの再整備に当たり、令和4年度に策定した実施設計を基に、第1期工事となる外来診療棟の建築工事に着手するとともに、新センターの開院に向けて医療機器・情報システム等の発注支援や工事中の課題管理等を委託にて実施した。

① 管理運営委託料	1,287,034千円
② 施設及び設備整備事業	91,240千円
③ 千葉リハビリテーションセンター再整備事業	19,736千円

予 算 額	予算執行額
1,402,754千円	1,398,121千円

4 心身障害児援護事業

(1) 地域・在宅福祉の充実

在宅の重症心身障害児（者）等の療育や日常生活等の向上を図るため、各種事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
12,786,176千円	11,749,716千円

① 障害児通所給付費	54市町村	8,872,920千円
② 発達障害者支援センター運営事業	1法人	72,987千円
③ 重症心身障害児（者）短期入所特別支援事業	2市	3,203千円
④ 医療的ケア児等総合支援事業	2法人	20,106千円

(2) 施設福祉の充実

施設に入所している心身障害児の治療・保護等を行うとともに、社会に適応できるよう育成するため、委託施設に措置費を支弁する等、各種事業を実施した。

① 障害児施設給付費	延べ 1,137人	420,745千円
② 心身障害児施設委託措置費	延べ 2,768人	1,811,164千円
③ 心身障害児（者）歯科保健巡回診療指導事業	延べ 65施設	20,395千円
④ 医療型短期入所事業所開設支援事業	1法人	5,969千円

保険指導課

1 後期高齢者医療制度推進事業

市町村及び後期高齢者医療広域連合に対して、次のとおり助成を行った。

予 算 額	予算執行額
73,166,591千円	73,166,195千円

また、指導監督（18市町村）を実施した。

(1) 後期高齢者医療給付費負担金

57,369,321千円

高齢者の医療の確保に関する法律に基づく後期高齢者医療費の負担金（後期高齢者医療広域連合）

(2) 後期高齢者医療保険基盤安定制度負担金

10,296,876千円

高齢者の医療の確保に関する法律に基づく低所得者等の保険料軽減分に対する負担金（54市町村）

(3) 後期高齢者医療高額医療費負担金

5,499,768千円

高齢者の医療の確保に関する法律に基づく高齢者医療費のうち一定額以上の医療費に対する負担金（後期高齢者医療広域連合）

2 国民健康保険指導事業

(1) 国民健康保険事業の助成及び指導

市町村に対して、次のとおり助成を行った。

予 算 額	予算執行額
48,576,612千円	48,487,402千円

また、定期指導（19保険者）及び特別指導（4保険者）を実施した。

- | | |
|--|--------------|
| ① 特別会計繰出金 | 28,258,024千円 |
| 国保財政の安定化を図るための繰出金 | |
| ② 国民健康保険高額医療費負担金 | 4,778,304千円 |
| 高額な医療費の発生による国保財政への急激な影響の緩和を図るための負担金 | |
| ③ 国民健康保険基盤安定事業負担金 | 12,223,850千円 |
| 低所得者及び未就学児の保険料（税）軽減分に対する負担金（54市町村） | |
| ④ 国民健康保険保険者支援制度負担金 | 2,483,154千円 |
| 保険料（税）を軽減する低所得者数に応じ市町村国保財政を支援するための負担金（54市町村） | |
| ⑤ 国民健康保険特定健康診査等負担金 | 663,671千円 |
| 市町村国保が行う特定健診・特定保健指導に係る費用に対する負担金 | |

(2) 保険医療機関等の指導

保険医、保険薬剤師及び保険医療機関等に対して、個別指導（57機関）、新規個別指導（365機関）及び集团的個別指導（456機関）等を実施した。

3 特別会計国民健康保険事業

国民健康保険財政の安定化を図るため、保険給付等に必要なる費用を市町村等へ交付した。

予 算 額	予算執行額
525,395,343千円	514,754,825千円

- | | |
|--|---------------|
| (1) 国民健康保険保険給付費等交付金 | 395,748,224千円 |
| 保険給付等に要する費用を市町村へ交付 | |
| (2) 介護納付金 | 29,159,376千円 |
| 介護保険の財源として被保険者から徴収した介護保険料を社会保険診療報酬支払基金へ納付 | |
| (3) 前期高齢者納付金 | 199,182千円 |
| 前期高齢者医療費の財源として被保険者から保険料を徴収し社会保険診療報酬支払基金へ納付 | |
| (4) 後期高齢者支援金 | 81,489,020千円 |
| 後期高齢者医療費の財源として被保険者から保険料を徴収し社会保険診療報酬支払基金へ納付 | |
| (5) 病床転換支援金 | 127千円 |
| 医療病床から介護施設等への転換を図るための保険者負担 | |
| (6) 国民健康保険事業事務費 | 47,562千円 |
| 人件費、運営協議会費等 | |
| (7) 特別高額医療費共同事業拠出金 | 1,055,710千円 |
| 著しく高額な医療費について、全国で費用負担を調整する拠出金を国民健康保険中央会へ納付 | |

医療整備課

1 医療事業

医療機関の整備と救急医療体制の確立等を図るため、次の施策を実施した。

予 算 額	予算執行額
12,003,628千円	8,970,712千円

(1) 医療機関の施設整備等に対する助成

医療機関等の施設・設備の整備に対して助成を行った。

①医療施設防災機能強化事業	80,678千円
②医療施設等耐震整備事業	110,213千円
③遠隔医療設備整備事業	9,126千円

(2) 周産期医療対策

周産期医療体制の充実を図るため、周産期母子医療センターの運営費及び設備整備費に対して助成した。

また、緊急・ハイリスク時の円滑な母体搬送を実施するため、搬送コーディネーターを配置した。

①周産期医療施設運営費補助事業	526,560千円
②周産期医療施設設備整備事業	32,821千円
③周産期医療対策事業	21,758千円

(3) 救急医療体制の確立

ア 病院前救護及び初期救急医療体制

県民の不安解消と救急医療に係る医療従事者の負担の軽減を図るため、電話相談事業を実施した。

①小児救急電話相談事業（地域医療介護総合確保基金事業）	89,171千円
②救急安心電話相談事業（地域医療介護総合確保基金事業）	48,031千円

イ 二次救急医療体制

初期救急医療機関から振り分けられ、入院等が必要となった急病患者に対処する二次救急医療を確保するとともに、救命救急センターの補完的役割を担う救急基幹センターに助成した。

また、救急隊と医療機関の連携強化と救急患者の搬送時間の短縮を図るため、救急コーディネーターを配置したほか、搬送先が決まらない救急患者を必ず受け入れることに合意した医療機関に対して助成した。

加えて、小児救急医療体制の整備のため、市町村及び医療機関に対し助成した。

①救急基幹センター運営事業（地域医療介護総合確保基金事業）	22,789千円
②救急医療コーディネート事業	8,824千円
③搬送困難事例受入医療機関支援事業	152,568千円
④小児救急医療拠点病院運営事業（地域医療介護総合確保基金事業）	90,107千円

⑤小児救急医療支援事業（地域医療介護総合確保基金事業） 30,766千円

ウ 三次救急医療体制

複雑高度な救急医療を必要とする重篤救急患者の受入機関としての救命救急センターの運営費及び設備整備費に対して助成したほか、重症救急患者の救命率の向上と後遺症の軽減を図るため、ドクターヘリの運営に対して助成した。

①救命救急センター運営事業 395,415千円

②救命救急センター設備整備費補助 213,166千円

③ドクターヘリ運営事業 633,820千円

エ 広域災害・救急医療情報システム対策

広域災害・救急医療情報システムにより、県民及び消防・医療機関に対し、救急医療情報及び周産期・小児救急医療情報・広域災害時の支援情報などの提供を行った。

・広域災害・救急医療情報システム事業 21,668千円

(4) 医師確保対策

ア 医学生に対する修学資金の貸付け

大学在学中の医学生に対し修学資金の貸付けを行った。

・医師修学資金貸付事業（地域医療介護総合確保基金事業） 669,901千円

イ ちば若手医師キャリア形成支援事業

県内の大学病院等と連携し、修学資金制度利用者の地域医療への貢献と自らの望むキャリア形成の両立を支援する取組に対し助成した。

・若手医師キャリア形成支援事業（地域医療介護総合確保基金事業） 2,484千円

ウ 産科医等の確保や女性医師等の就労支援に対する助成

医師の就労環境の改善及び安定確保を図るため、産科医等の処遇改善、出産・育児等による女性医師等の離職防止・復職支援などに取り組む医療施設に対し助成した。

①産科医等確保支援事業（地域医療介護総合確保基金事業） 41,290千円

②女性医師等就労支援事業（地域医療介護総合確保基金事業） 51,687千円

③新生児医療担当医確保支援事業（地域医療介護総合確保基金事業） 1,055千円

エ 医師キャリアアップ就職支援センター事業

委託により、県内医療機関での臨床研修に関する情報提供や相談業務等を実施するとともに、センター設備を活用した医療技術研修に対し助成した。

・医師キャリアアップ就職支援センター事業（地域医療介護総合確保基金事業） 51,800千円

オ 千葉県寄附講座地域医療教育学講座設置事業

大学と連携した医師の育成・派遣体制の強化による医師確保のため、千葉大学医学部に寄附講座を設置した。

・千葉県寄附講座地域医療教育学講座設置事業（地域医療介護総合確保基金事業）

40,400千円

カ 診療所承継支援事業

地域の医療提供体制の維持・強化を図るため、地域医療を担う意欲のある医師に対して、診療所の承継に要する経費の一部を助成した。

- ・診療所承継支援事業（地域医療介護総合確保基金事業） 3,000千円

（５）自治体病院支援対策

地域に必要な医療を確保するため、県内の自治体病院の経営状態や医師不足による診療体制の縮小などの状況を調査し、各病院の状況に応じた支援方針の検討や、経営改善策の検討の支援等を行った。

（６）医療体制整備事業

地域医療構想の実現や在宅医療を担う人材の増加及び医療・介護の多職種連携の促進等のため、次の事業を実施した。

ア 保健医療提供体制構築推進事業

地域医療構想の実現に向けた検討を行うため、地域医療構想調整会議を開催した。

- ・保健医療提供体制構築推進事業（地域医療構想調整会議等開催経費） 7,689千円

イ 医療と介護で作る地域連携推進事業

医療と介護の連携を強化するため、千葉県医師会に委託し、地域の実情に応じた多職種連携体制を整備するとともに、各地域での取組成果等の県内他地域への情報提供や地域の核となるリーダー育成等を行った。

- ・医療と介護で作る地域連携推進事業 8,000千円

ウ 在宅医療スタートアップ支援事業

医療機関の在宅医療への新規参入を促すため、在宅医療への参入を検討している病院や診療所の医師等を対象に、研修の開催やコンサルタントの派遣を行った。

- ・在宅医養成研修事業 6,000千円
- ・在宅医療推進アドバイザー派遣事業 10,708千円

エ 往診体制広域連携支援モデル事業

夜間休日の往診体制を整備するため、かかりつけ医からの依頼に基づいて、代診医のコーディネートをを行う体制を整備した事業者に対し補助を行った。

- ・往診体制広域連携支援モデル事業 2,837千円

オ 在宅医療実態調査事業

新たな千葉県保健医療計画策定のため、本県の在宅医療の現状や課題を把握するとともに、改善のために必要なポイント等について調査及び分析を行った。

- ・在宅医療実態調査事業 11,000千円

（７）新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症に対応し、県の医療提供体制を強化するため、臨時医療施設を運営した。また、自宅療養中の妊産婦や胎児の状態を遠隔でモニタリングする事業や、感染拡大防止に向けた医療機関への助成等を行った。

① 臨時医療施設整備運営事業	321, 121千円
② 新型コロナウイルス感染妊婦支援事業	60, 601千円
③ 疑い患者受入れのための救急・周産期・小児医療機関における院内感染防止対策事業	539, 847千円
④ 医療調整本部への医療従事者派遣事業	2, 365千円
⑤ 自宅療養者支援事業	7, 823千円

2 保健師等指導管理事業

保健師助産師看護師法に基づく資格試験の実施及び看護職員の養成並びに確保対策を実施した。

予 算 額	予算執行額
1, 946, 991千円	1, 434, 141千円

(1) 看護師等の充足対策

ア 看護師等養成所の運営に対する助成

看護教育の充実強化を図るため、医療法人等が設置する養成所の運営費に対して助成した。

- ・看護師等養成所運営費補助（地域医療介護総合確保基金事業） 305, 783千円

イ 保健師等修学資金の貸付

県内における看護職員の確保を図るため、県内外養成機関に在学する学生に対して修学資金の貸付けを行った。

- ・保健師等修学資金貸付事業（地域医療介護総合確保基金事業） 379, 012千円

ウ 病院内保育施設の運営に対する助成

看護職員の離職防止を図るとともに、潜在看護師の再就業を促進するため、病院内保育施設の運営に要する費用について助成した。

- ・病院内保育所運営費補助（地域医療介護総合確保基金事業） 249, 433千円

エ 潜在看護師の再就業促進等

未就業看護職員の就業促進を図ること等を目的に、ナースセンター事業を（公社）千葉県看護協会に委託し、効果的な事業の推進を図った。

- ・ナースセンター事業（地域医療介護総合確保基金事業） 42, 091千円

オ 看護職員資質向上のための研修事業

新人看護職員等の看護の質向上及び早期離職防止を図ること等を目的に、新人看護職員向けの合同研修や指導者等を対象とした研修、研修を実施した病院等への補助などを行った。

- ・看護職員研修事業（地域医療介護総合確保基金事業） 73, 473千円
- ・看護師特定行為研修等支援事業（地域医療介護総合確保基金事業） 16, 013千円

カ 訪問看護の推進

高齢化の急速な進展により需要の高まる在宅医療を支える訪問看護の理解促進と人材確保のための事業や、訪問看護ステーションに就業する看護職員の技術向上を図る事業を実施した。

- ・訪問看護推進事業（地域医療介護総合確保基金事業） 6, 281千円

・教育用訪問看護ステーション運営事業(地域医療介護総合確保基金事業) 3,853千円

(2) 看護専門学校運営事業

看護師として必要な知識や技術に関する教育を行う、鶴舞看護専門学校及び野田看護専門学校の運営を行った。

①鶴舞看護専門学校運営事業	66,706千円
②野田看護専門学校運営事業	201,403千円

3 保健医療大学運営事業

保健師、助産師、看護師、歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士及び作業療法士として必要な知識及び技術に関する教育を行う県立保健医療大学の運営を行った。

予 算 額	予算執行額
598,290千円	537,195千円

薬務課

1 新型コロナウイルス対策事業

適切な診療体制の確保を図るため、感染防止に必要な個人防護具等を医療機関に配布した。

予 算 額	予算執行額
65,324千円	42,673千円

2 新型インフルエンザ対策事業

国の要請に基づき、抗インフルエンザウイルス薬の購入及び備蓄を行った。

予 算 額	予算執行額
442,218千円	432,514千円

抗インフルエンザウイルス薬の備蓄状況(令和6年3月末日現在)

医 薬 品 名	備 蓄 量
タミフル	232,100人分
タミフルドライシロップ	158,200人分
リレンザ	59,700人分
イナビル	309,000人分
ラピアクタ	43,000人分
ゾフルーザ	71,600人分
計	873,600人分

3 薬事関係対策事業

(1) 薬事監視

適正な医薬品等の供給を図るため、薬事監視指導及び医

薬品検査体制を強化し、不良医薬品等の生産、流通の防止に努めるとともに、医薬品等を起因とする事故の防止を図った。

薬事監視状況

- ・対象施設数 22,026件 立入検査件数 6,508件

(2) 薬事相談

医薬品等の正しい知識の不足から発生する事故及び危被害を防止するため、薬事アドバイザーが県民からの相談に対応し、医薬品等に関する正しい知識の普及に努めた。

- ・相談件数 630件

(3) 災害用医薬品等備蓄対策事業

災害発生時等に備え、保健所等に備蓄している医薬品等のうち期限切れ分等を更新した。

(4) 医療情報提供事業

薬局から報告のあった薬局機能に関する情報を千葉県ホームページ上で公開した。

また、県民への広報啓発等により、医薬品適正使用の推進と後発医薬品利用促進を図った。

予 算 額	予算執行額
307,015千円	173,053千円

4 麻薬取締対策事業

(1) 麻薬取締対策

麻薬取扱施設における麻薬の施用、保管管理等取扱いの

適正化を図るため、立入検査を実施し、不正事犯発生の防止に努めた。

また、麻薬中毒観察指導対象者16名に対して延べ2回の観察指導を実施した。

麻薬立入検査状況

- ・対象業務所数 4,525件 立入検査件数 765件

(2) 薬物乱用防止対策

覚醒剤、危険ドラッグ等の薬物乱用の防止を図るため、薬物乱用対策推進本部を中心に関係機関と連携し、薬物乱用防止についての正しい知識の普及、啓発に努めた。

また、薬物乱用防止指導員(460名)の協力を得て、街頭啓発活動等を幅広く展開し、併せて、ちば県民だより、千葉テレビ及びベイエフエム等の他、SNSを活用し、麻薬・覚醒剤・大麻・危険ドラッグ等の恐ろしさを広く県民にPRした。

(3) 危険ドラッグ対策

危険ドラッグについては、麻薬及び向精神薬取締法や医薬品医療機器等法に基づく規制に加えて、千葉県薬物の濫用の防止に関する条例第11条の規定に基づき、知事指定薬物を指定し、規制しており、令和5年度は15物質を知事指定薬物に指定した。

予 算 額	予算執行額
25,824千円	19,732千円

(4) 毒物劇物監視

毒物劇物の製造販売、運搬、使用取扱い等に起因する事故等の防止のため、毒物劇物営業者をはじめ、業務上取扱者に対し、適正な保管管理や運搬等について監視指導を実施した。

毒物劇物監視指導状況

- ・対象施設数 1,530件 立入検査件数 694件

5 医薬品生産企業対策事業

(1) 献血推進

医療に要するすべての血液製剤を献血によって確保するため、計画的な献血の推進が重要となっている。

このため、千葉県献血推進計画を策定し、関係機関との連携の下に、地域に密着した啓発活動や若年層を中心とした啓発事業を実施し、献血者の確保に努めた。

予 算 額	予算執行額
62,160千円	50,458千円

(2) 造血幹細胞移植推進事業

白血病等血液難病の治療法として行われている骨髄等移植を推進するため、造血幹細胞移植事業についての周知を図り、骨髄提供者（ドナー）の登録及び企業・団体におけるドナー支援制度の整備の推進に努めるとともに、市町村が行うドナー支援事業に対して助成を行った。

6 水質管理事業

衛生的かつ安全な飲料水を確保するため、水道施設の立入検査を実施し、水質管理の徹底に努めた。

予 算 額	予算執行額
30,473千円	28,757千円

水道施設の立入検査等実施状況

- ・対象施設数 440件 立入検査件数 156件

衛生指導課

1 軽症者等のための宿泊施設確保事業

中等症以上の新型コロナウイルス感染症患者の病床を確保するため、軽症者及び無症状病原体保有者のための療養先として、民間ホテルを確保し、宿泊療養施設として運営した。

県が直接運営した施設に加えて、独自に保健所を設置する千葉市・船橋市とも共同して施設を運営し、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更されたことに伴い、5月7日をもってすべての施設の運営を終了した。令和5年度は累計210人の療養者を受け入れた。

予 算 額	予算執行額
511,788千円	511,452千円

2 搬送体制の確保事業

新型コロナウイルス感染症患者の感染症法に基づく入院に際しての患者の移送、外来受診や宿泊療養施設への入所のための搬送を行った。

予 算 額	予算執行額
253,656千円	209,142千円

3 食品衛生監視事業

食品等の安全を確保し、県民の健康を守るため、食品等事業者に対し監視指導の強化を図った。

予 算 額	予算執行額
13,535千円	12,425千円

- ① 各種食品製造業、大規模小売店舗、食品卸売市場及び集団給食施設等の監視指導
- ② 夏期及び年末における食品安全推進月間の設置
- ③ 広域的な監視指導
 - ・食品関係営業施設数 68,700件 監視件数 11,241件

4 食品衛生指導事業

食品衛生法、製菓衛生師法、ふぐの取扱い等に関する条例等に基づき、講習会・試験等を実施し、食品等事業者の知識及び技術の習得を図った。また、食品衛生推進員やHACCPの導入等により、食品等事業者の自主的な活動を促進した。

予 算 額	予算執行額
33,881千円	31,563千円

さらに、食品衛生関係業務の内、台帳管理や監視等の業務について、WEBシステムによる集中管理を行うことで業務の効率化を図った。

- ① 食品衛生関連講習会業務委託
- ② 製菓衛生師試験
- ③ ふぐ処理師試験
- ④ 食品衛生管理システムの管理

5 食品衛生検査事業

科学的な根拠に基づいた監視指導を推進するため、細菌、ウイルス、添加物、残留農薬、遺伝子組換え食品等について、県産物、輸入食品を中心とした県内流通食品の検査を実施した。

予 算 額	予算執行額
106,218千円	93,951千円

また、食品中の放射性物質検査を行い、食品の安全性確保に努めた。

さらに、カンピロバクター、ノロウイルス等の食中毒予防に対する監視指導及び啓発を行った。

(1) 食品等の収去等検査の強化

- ・収去等検体数 2,498件 違反検体数 4件

(2) 食中毒予防体制の強化

- ① 千葉県食品衛生夏期対策 6月1日から9月30日まで
- ② 食中毒注意報発令 6月1日から7月12日まで
- ③ 食中毒警報発令 7月13日から9月30日まで

6 食肉衛生事業

(1) と畜衛生事業

予 算 額	予算執行額
89,319千円	78,241千円

食肉に起因する危害の発生を防止するため、「と畜場法」等の法律に基づくと畜検査を実施し、家畜の疾病や異常を排除するとともに、食肉に残留する動物用医薬品を検査することにより、食肉の衛生確保に努めた。

また、腸管出血性大腸菌をはじめとする家畜由来の食中毒菌の食肉への汚染を防ぐため、と畜場におけるHACCPに沿った衛生管理について外部検証や、その結果に基づく指導・助言を行い、と畜場の衛生水準の向上に努めた。

- ・主なと畜検査数 牛24,316頭、豚861,398頭

(2) 食鳥肉安全確保対策事業

食鳥肉に由来する衛生上の危害の発生を防止するため、「食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律」などの法令に基づき、食鳥検査等を通して食鳥肉の衛生確保に努めた。

また、食鳥処理場におけるHACCPに沿った衛生管理について外部検証や、その結果に基づく指導・助言を行い、食鳥処理場の衛生水準の向上に努めた。

- ・食鳥検査数 1,357,557羽

7 動物愛護管理事業

(1) 動物愛護思想の普及・啓発

予 算 額	予算執行額
210,479千円	184,045千円

- ① 動物愛護週間行事 1回 1,918名
- ② 犬の正しい飼い方・しつけ方教室 8回 21名
- ③ 動物愛護教室 10回 232名
- ④ 親子体験教室 4回 27名
- ⑤ 愛犬・愛猫教室 171回 204名
- ⑥ 犬と猫の出会いの場事業（動物愛護センターホームページにて実施）

	譲渡希望数		飼養希望数		決定数	
	件数	頭数	件数	頭数	件数	頭数
犬	26	26	25	25	12	12
猫	325	325	193	193	83	83

- ⑦ 譲渡頭数 犬 223頭 猫 735頭

(2) 動物による危害防止対策

管理者のいない犬及びけい留されていない飼い犬を捕獲・抑留し、危害防止対策に努めた。
また、収容した犬については、返還及び譲渡に努めた。

- ① 動物の正しい飼い方推進月間の実施 6月1日から6月30日まで
- ② 動物による危害防止対策強化月間の実施 11月1日から11月30日まで

犬の収容状況及び処分状況

収容状況		収容後の状況	
捕獲	538頭	返還	315頭
引取り	91頭	譲渡	223頭
負傷犬収容	2頭	殺処分	86頭

8 環境衛生営業指導事業

環境衛生関係施設における衛生水準の維持向上を図るため、監視指導の強化と(公財)千葉県生活衛生営業指導センターを拠点とした営業指導を実施した。

予算額	予算執行額
69,081千円	62,693千円

(1) 環境衛生関係施設監視指導

	施設数	監視件数
興行場	108施設	77件
旅館業	2,309施設	901件
公衆浴場	632施設	419件
理容所	3,253施設	652件
美容所	7,048施設	1,213件
クリーニング所	1,660施設	563件
化製場・死亡獣畜取扱場	7施設	6件
法第8条準用施設	6施設	6件
畜舎・家きん舎	212施設	172件
プール	324施設	247件
特定建築物	1,081施設	407件
建築物管理登録	417施設	154件
計	17,057施設	4,817件

(2) 生活衛生関係営業に関する指導育成

生活衛生関係営業の経営の健全化及び振興を図るため、助成及び経営指導講習会等を実施した。

- ① 千葉県生活衛生営業指導センター指導助成費補助 補助額 27,249千円
- ② 日本政策金融公庫融資相談 推薦 96件
- ③ 公衆浴場経営基盤安定化事業補助 補助額 3,710千円
- ④ 千葉県生活衛生営業振興対策事業補助 補助額 4,000千円

環境生活部

環境政策課

1 環境保全対策調整事業

(1) 千葉県環境審議会

環境基本法及び千葉県環境審議会運営規程に基づき、
本県の環境保全に関する基本的事項について調査審議を行った。

予 算 額	予算執行額
12,206千円	8,961千円

(2) 千葉県環境影響評価委員会

大規模な開発行為が周辺環境に重大な影響を及ぼすことのないよう、その技術的な事項について調査審議し、環境の保全を図った。

(3) 環境研究センター基本構想検討会議の開催

老朽化した庁舎の建替えにあわせ、多様化・複雑化する環境問題に対応するための機能強化に向けて、環境研究センターが今後目指すべき方向性等を整理するため、有識者会議を開催した。

2 環境保全対策推進事業

(1) 公害防止管理者等指導育成事業

公害防止管理者等の育成、意識の高揚及び技術の向上
を図った。

予 算 額	予算執行額
5,475千円	5,110千円

(2) 環境白書の発行

環境基本条例第8条の規定により、千葉県環境白書を作成・公表し、関係機関に配付した。

3 環境研究センター研究事業

環境研究センターの公害測定機器等の更新を行った。

予 算 額	予算執行額
31,482千円	31,160千円

大気保全課

1 環境保全対策調整事業

(1) 化学物質情報提供事業

P R T R法に基づき、事業者が県を経由して国へ報告

予 算 額	予算執行額
200千円	120千円

する有害な化学物質の大気への排出量等について、入力作業等を行うとともに、国からデータの提供を受け、集計結果をホームページで公表した。

2 大気指導事業

(1) 大気汚染物質発生源対策事業

窒素酸化物、硫黄酸化物のほか、浮遊粒子状物質及び

予 算 額	予算執行額
41,740千円	39,001千円

光化学オキシダントの原因物質のひとつである揮発性有機化合物（V O C）などについて、大気汚染防止法、環境保全協定等により排出抑制指導を行った。

(2) ばい煙等排出基準確認立入検査事業

大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、環境保全協定等に基づき、ばい煙発生施設、一般粉じん発生施設及びV O C排出施設等を設置している工場・事業場について立入検査（調査）を実施し、排出基準等の遵守状況を確認するとともに、必要な事業者指導を行った。

工場・事業場の立入検査結果

立入検査工場 ・事業場数	立 入 検 査 施 設 数	行 政 措 置	
		改 善 命 令	改 善 勸 告
635	2,060	0	0

(3) アスベスト対策事業

アスベスト環境濃度の実態を把握するため、10地点において環境モニタリング調査を行った。

また、アスベストの大気中への飛散を防止するため、建築物の解体等作業について立入検査を行った。

建築物の解体等作業現場立入検査数	253
------------------	-----

3 大気監視事業

大気汚染防止法第22条に規定する大気環境の常時監視及び主要工場における環境保全協定等の遵守状況の監視を大

予 算 額	予算執行額
241,416千円	233,569千円

気情報管理システムによりオンラインで実施するとともに、同法第23条に規定する光化学オキシダントに係る緊急時対策を実施した。

また、大気環境中のダイオキシン類の環境基準達成状況を確認するため、11地点において調査を実施した。

大気環境常時監視測定局に設置している自動測定機については、耐用年数の超過や検定の期限等を迎える21台の機器を更新した。

4 騒音悪臭対策事業

(1) 航空機騒音監視事業

航空機騒音の実態を把握し、環境基準の達成状況を確認

するため、成田空港、羽田空港及び下総飛行場周辺において常時監視を実施した。

予 算 額	予算執行額
33,319千円	32,544千円

(2) 騒音・振動・悪臭対策事業

市町村に対する技術的助言・機器の貸し出しや担当者向け講習会を行うなど、市町村を支援した。

5 自動車交通公害対策事業

(1) 自動車交通公害監視指導事業

「千葉県ディーゼル自動車から排出される粒子状物質の排出の抑制に関する条例」及び「千葉県環境保全条例」の的確な運用を図るため、事業所等への立入検査・指導を行った。

予 算 額	予算執行額
43,473千円	39,635千円

(2) 自動車騒音の常時監視事業

県内30地点において自動車の騒音測定、10地点において交通量・車速度調査を行い、自動車騒音に係る環境基準の面的評価を行った。

6 環境研究センター調査研究事業

(1) 大気環境調査研究事業

大気汚染、騒音等や微小粒子状物質（PM2.5）、ダイオキシン類に係る環境保全のための調査研究を行った。

予 算 額	予算執行額
40,204千円	36,719千円

(2) 放射性物質調査研究事業

原子力規制庁からの委託による空間放射線量の測定等とともに、福島第一原発事故により拡散した放射性物質の状況の変化を把握するための調査を行った。

水質保全課

1 水質指導規制事業

(1) 水質指導事業

ア 東京湾の水質汚濁の防止を図るため、第9次総量削減計画の周知を行うとともに、啓発事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
25,691千円	21,014千円

イ 環境保全協定に基づく立入調査を行い、協定の遵守状況を確認した。その他、水域を問わず、各種開発行為について事前審査及び指導を実施し、水質汚濁の未然防止を図った。

(2) 特定事業場等排水監視事業

ア 水質汚濁防止法等に基づく特定事業場の排水基準遵守状況を監視するため、立入検査を実施した。

特定事業場の立入検査結果

立入検査実施 延べ事業場数 A	排水検査実施 延べ事業場数 B	延べ違反 事業場数	行政措置		
			改善命令	勧告	その他
540	477	67	0	48	19

注 Bは、立入検査を実施したAのうち、排水のあった事業場で排水を採水、排水検査を実施した事業場数。

イ ダイオキシン類対策特別措置法に基づく特定事業場の排水基準遵守状況を監視するため、立入検査を実施した。総数48事業場に対し延べ14事業場に立ち入り、うち施設からの排水を公共用水域へ排出している12事業場において検査を実施した結果、基準を超過した事業場はなかった。

2 水質監視事業

(1) 公共用水域水質監視事業

河川等の水質汚濁の状況を常時監視するため、令和5年

予 算 額	予算執行額
145,838千円	141,336千円

度公共用水域水質測定計画に基づき、49河川79地点、3湖沼9地点、4海域37地点の合計125地点について水質測定を実施した。

また、地下水の水質保全を図るため、令和5年度地下水の水質測定計画に基づき、合計137地点について水質測定を実施した。

前5箇年平均値（平成30年～令和4年度）に対する水質の変動状況

水 域	総地点数 A	変動状況					
		改 善		横 ば い		悪 化	
		地点数 B	B/A (%)	地点数 C	C/A (%)	地点数 D	D/A (%)
河 川	79	13	16.5	19	24.1	47	59.5
湖 沼	9	0	0	3	33.3	6	66.7
海 域	37	4	10.8	21	56.8	12	32.4
計	125	17	13.6	43	34.4	65	52.0

注1 BOD又はCODの年平均値による。

2 前5箇年平均値と比較し10%以上低下した場合を「改善」、10%以上上昇した場合を「悪化」、その他を「横ばい」とした。

(2) 海水浴場水質監視事業

国の定めた「海水浴場水質保全対策要綱」に基づき、水質調査を実施した。

(3) 放射性物質モニタリング調査事業

東日本大震災による放射性物質の影響について、比較的放射線量が高い地域を流域に持つ、印旛沼流域、手賀沼流域及び東京湾内等の放射性物質の状況を確認するため、水質及び底質の放射性物質濃度を測定した。

3 湖沼水質浄化対策事業

(1) 手賀沼水環境保全協議会負担金

県及び流域7市等で構成する「手賀沼水環境保全協議会」が実施する手賀沼の水質浄化対策や啓発等の事業に要する経費を負担するとともに、事務局の運営を行った。

予 算 額	予算執行額
332,966千円	331,050千円

(2) 湖沼における外来水生植物対策事業

手賀沼では令和2年度から、印旛沼では令和4年度から開始したナガエツルノゲイトウ及びオオバナミズキンバイ等の外来水生植物の駆除を継続して実施した。

(3) 湖沼における外来水生植物防除事業補助金

印旛沼及び手賀沼において、市民団体がナガエツルノゲイトウ及びオオバナミズキンバイ等を駆除する活動の経費に対して補助金を交付した。

4 地盤沈下対策事業

(1) 地盤変動精密水準測量事業

地盤の変動状況を把握するため、地下水採取規制地域及び天然ガスかん水汲み上げ地域において1,894kmの精密水準測量を実施した。

予 算 額	予算執行額
198,699千円	194,231千円

令和4年沈下量別地盤沈下面積

単位：km²

地盤変動量 調査面積	地盤沈下が 見られなかった 面積	沈下量(cm)別地盤沈下面積			
		2cm未満	2cm以上 4cm未満	4cm以上	計
3,208.5	1,388.6	1,804.7	15.2	0	1,819.9
(3,208.5)	(2,139.8)	(1,068.7)	(0)	(0)	(1,068.7)

注 () 内は令和3年

(2) 地下水位及び地盤沈下観測井管理事業

地盤沈下対策の基礎資料を得るため、地下水位・地盤沈下観測井により地下水位等の観測を行うとともに観測機器の保守管理を実施した。

(3) 地盤沈下防止対策推進事業

詳細な地盤変動量調査及び要因解析を行うためGNSS測量を導入した。

5 地下水・土壌汚染対策事業

(1) 地下水汚染防止対策事業

トリクロロエチレン等による地下水汚染防止対策を促進するため、市町村が実施（15市町43地区）した汚染除去対策などの地下水汚染防止対策事業に対し助成した。

予 算 額	予算執行額
49,214千円	46,280千円

(2) 地下水における硝酸・亜硝酸性窒素の汚染状況調査・負荷削減対策事業

環境基準超過率の高い硝酸・亜硝酸性窒素について、地下水の汚染状況を把握するために水質調査等を行った。

(3) 養老川に係る水質保全対策事業

市原市妙香地先の廃棄物埋立跡地に起因する水質汚染及び土壌・地下水汚染について、地元市と協力して、汚染拡大防止対策等を実施した。

6 生活排水対策事業

(1) 生活排水対策浄化槽推進事業

河川や湖沼などの水質浄化を図るため、市町村が実施した合併処理浄化槽設置推進事業に対し、それに要した経費の一部について補助金を交付した。

予 算 額	予算執行額
245,043千円	209,565千円

令和5年度生活排水対策浄化槽推進事業補助実績

区分	補助実績	
	基数	金額
設置補助（通常型）	375	43,512千円
設置補助（高度処理型）	400	76,934千円
転換補助	（設置補助775基の内数）617	75,160千円

(2) 浄化槽総合管理推進事業

浄化槽の適正な設置・維持管理の徹底及び法定検査の受検促進を図るため、浄化槽台帳の整備、浄化槽使用者等への啓発、立入検査及び法定検査の受検指導等を実施した。

- ・立入検査件数 426件
- ・指導件数 112件

7 環境研究センター費

水質及び地質に係る公害の防止及び環境の保全のための調査研究を行った。

予 算 額	予算執行額
30,542千円	29,972千円

自然保護課

1 自然環境保全事業

本県の豊かな自然を保全するため、次の施策を行った。

予 算 額	予算執行額
260,436千円	229,649千円

(1) 自然環境保全地域等の指定及び保全

自然環境保全地域の指定を検討する地域2箇所について、動植物の現況調査を実施した。

また、自然環境保全地域等の適正な管理を図るため、千葉県自然公園指導員を配置し、監視・指導を行った。

(2) 生物多様性保全関連事業

本県の豊かな生物多様性を保全するため、絶滅危惧種の保護・回復、生物多様性の普及啓発、大学や企業などの多様な主体との連携、基礎情報の収集・提供等の事業を行った。

(3) 外来種特別対策事業

県内に生息している特定外来生物のうち、緊急的な対応が必要と考えられる、アカゲザル、アライグマ、キョン及びカミツキガメについて防除実施計画に基づき計画的に防除を進めた。

また、生育地が急速に拡大しているナガエツルノゲイトウについて、全県の分布調査を開始した。

(4) 三番瀬自然環境調査

三番瀬の中長期の変動を含めた自然環境を把握するため、鳥類飛来数調査を実施した。

(5) 行徳湿地保全事業

湿地環境を保全するための維持管理及びその機能を評価するための水質調査や鳥類調査を継続して行った。

2 鳥獣保護及び狩猟適正化事業

野生鳥獣の保護、野生鳥獣による被害防止及び適正な狩猟の確保を図るため、次の施策を行った。

予 算 額	予算執行額
738,129千円	670,655千円

(1) 鳥獣保護区等の指定及び管理

鳥獣保護区等を次のとおり指定するとともに、周知するため、制札、標示板を設置した。

区 分		令 和 5 年 度		全 体	
		箇所	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)
鳥 獣 保 護 区	国 指 定	—	—	1	41
	県 指 定	5 (5)	2,187 (2,187)	59	42,585.0
休 獵 区		—	—	—	—

区 分		令 和 5 年 度		全 体	
		箇所	面積 (ha)	箇所	面積 (ha)
特定猟具 使用禁止 区 域	銃 器	23 (22)	11,832 (11,736)	227	192,372.4
	銃器・ わ な	—	—	1	363
指定猟法禁止区域 (鉛散弾)		—	—	1	245
計		28 (27)	14,019 (13,923)	289	235,606.4

注：() 書きは、既存区域の見直しに係るもの。

(2) 野生鳥獣総合対策事業

野生鳥獣による農林産物や生活環境等への被害を防止するため、有害鳥獣捕獲の許可を行うとともに、安全な捕獲に資するよう、銃器を使用する捕獲員に対する安全研修を実施した。

なお、各地域の指導者となる市町村職員や農協職員等に対しては野生獣の管理方策等に係る研修を実施した。

また、捕獲技術の習得等により、有害鳥獣捕獲の新たな担い手確保につなげるとともに、ふるさと納税により本県の有害鳥獣対策への支援を募る千葉県有害鳥獣捕獲協力隊事業を実施した。

さらに、野生獣による農林産物等の被害が依然として深刻であるため、サル、イノシシ、ニホンジカ、キョン、ハクビシン、アライグマを対象として、有害鳥獣捕獲事業を実施した34市町に対し助成を行ったほか、県が主体となって、指定管理鳥獣であるイノシシ・ニホンジカの捕獲を行う指定管理鳥獣捕獲等事業を4地域で実施した。

(3) 狩猟免許の交付及び狩猟者登録

適正な狩猟を確保するため、狩猟免許試験、狩猟免許の更新、狩猟者登録の事務を行った。

- | | |
|---------------|--------|
| ① 狩猟免許交付数（新規） | 558件 |
| ② 狩猟免許の更新数 | 1,064件 |
| ③ 狩猟者の登録数 | 2,829件 |

(4) 千葉県射撃場環境モニタリング事業

平成16年度に完了した県射撃場鉛撤去工事後の継続的な環境影響調査として、表流水及び観測井戸の水質調査を実施した。

3 自然公園等管理事業

本県には、南房総・水郷筑波の2つの国立公園と8つの県立自然公園があり、この優れた風景地を保護するとともに、適切な利用を図るため、次の事業を行った。

予 算 額	予算執行額
296,473千円	161,369千円

(1) 自然公園の保護

自然公園内における各種行為の規制を行うとともに、千葉県自然公園指導員を配置し、監視・指導を行った。

(2) 利用施設の運営

自然とのふれあいの場、快適な野外レクリエーションの場として、大房岬自然公園はじめ、白子・片貝・勝浦海中公園等の自然公園施設、いすみ環境と文化のさとセンターの施設管理を指定管理者等に委託し、利用促進を図った。

(3) 国定公園施設等再整備事業

国の自然環境整備交付金を活用し、国定公園区域内の遊歩道、ベンチ等について、千葉県自然環境整備計画に基づき、改修等を行った。

4 自然歩道管理事業

四季を通じて豊かな自然等にふれあいながら歩くため整備した首都圏自然歩道は、県内に29コースあり、総延長は約300 kmである。

予 算 額	予算執行額
21,404千円	12,058千円

安全で快適な利用を促進するため、老朽化した標識等の施設整備を行った。

循環型社会推進課

1 環境保全対策推進事業

(1) 環境学習・環境保全活動促進事業

地域における環境学習・環境保全活動を促進するため、環境教育指導者養成研修の開催や6月の千葉県環境月間におけるポスターの作成、表彰等を実施した。

また、将来を担う若い世代が環境保全活動の主体となる機会を創出するため、若者が主体となっている団体・グループによる「若者が主役の環境保全活動アイデアコンテスト」を開催し、その活動を支援した。

そのほかに、自然環境の保全・再生のための助成事業を行う目的で「ちば環境再生基金」を設置している一般財団法人千葉県環境財団に対し、補助金の交付を行った。

(2) 海岸漂着物対策推進事業

海岸における景観や安全性を守るため、海岸漂着物等の回収・処理事業を行ったほか、発生抑制対策として海岸漂着物の実態を把握する目的で、海岸漂着物の組成調査を実施した。

2 資源循環推進事業

(1) 3R等推進事業

循環型社会づくりの推進に向け、レジ袋と食べ残しの

削減やマイボトル・マイカップの利用を始めとする身近な3R行動の普及啓発を行った。また、事業者と連携しイベントへの出展を行った。

予 算 額	予算執行額
7,029千円	6,367千円

(2) バイオマス活用推進事業

バイオマスの利活用を推進するため、千葉県バイオマス活用推進計画に基づき、研修会の開催等により普及啓発を行った。

(3) 食品ロス削減対策推進事業

食品ロスの削減に関し、多様な主体との相互連携の下に効果的な取組を検討するため、「千葉県食品ロス削減ネットワーク会議」において、情報共有や意見交換を行った。

3 一般廃棄物対策事業

(1) 九都県市廃棄物問題検討委員会のための経費

廃棄物問題に、九都県市で共同・協調して積極的に取

り組むため、九都県市首脳会議の下部組織として設置されている廃棄物問題検討委員会の活動に必要な経費を負担した。

予 算 額	予算執行額
14,829千円	7,744千円

(2) 一般廃棄物処理施設水質・残灰分析

市町村等の一般廃棄物処理施設における維持管理状況を確認するため、施設から採取した焼却残灰や地下水等の分析を行った。

(3) 災害廃棄物処理市町村支援事業

令和5年台風第13号の接近に伴う大雨で被災した市町村の財政負担を軽減するため、市町村が災害廃棄物処理に要した経費の一部に対し、補助金の交付を行った。

4 産業廃棄物対策事業

産業廃棄物処理実態調査を実施し、千葉県廃棄物処理計画に基づく事業の進捗管理を行うとともに環境審議会廃棄物・リサイクル部会を開催した。

予 算 額	予算執行額
1,634千円	1,517千円

5 環境研究センター事業

環境学習教材を制作し、廃棄物の適正管理や最終処分場等に関する調査研究を行った。

予 算 額	予算執行額
6,073千円	5,510千円

温暖化対策推進課

1 住宅用設備等脱炭素化促進事業

家庭における地球温暖化対策の推進に加え電力の強靭化を図るため、市町村と連携し住宅用の省エネルギー設備及び電気自動車等の設置費用に対し補助金を交付した。

予 算 額	予算執行額
390,310千円	376,354千円

2 事業者向け脱炭素化促進事業

中小企業者等の脱炭素化への取組を支援するため、中小企業者等が実施する省エネルギーの促進や省エネ診断の受診等に対し、補助金を交付した。

予 算 額	予算執行額
976,000千円	679,455千円

3 次世代自動車等普及促進事業

バスやタクシー、トラック等にEVを導入する運輸・交通事業者に対し、車両や充電設備等の購入費を補助する事業や、中小事業者に対し、EV充電設備等の購入費を補助する事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
74,500千円	74,060千円

また、車での観光需要が高い南房総エリアにおいて、観光・宿泊施設等に対し、EV充電設備の設置を促進するモデル事業を実施した。

4 地球温暖化対策推進事業

千葉県地球温暖化対策実行計画に基づき、様々な主体による地球温暖化対策の取り組みを進めるため、省エネルギーの促進等に係る家庭向けや事業者向けの普及啓発事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
16,048千円	14,166千円

5 事業者向け脱炭素化促進緊急対策事業

中小企業者等の脱炭素化への取組を支援するため、中小企業者等が実施する省エネルギーの促進や再生可能エネルギーの活用等に資する設備導入等に対し、補助金を交付した。

予 算 額	予算執行額
2,601,396千円	2,448,411千円

6 家庭向け省エネ家電購入促進事業

家庭におけるエネルギー負担を軽減するため、省エネ性能の高いエアコン・冷蔵庫等の購入者に対し、キャッシュレス決済サービスで使えるポイントの付与等を行った。

予 算 額	予算執行額
2,290,936千円	2,224,990千円

7 千葉県気候変動適応センター事業

県内6箇所において、暑さ指数の活用と熱中症対策の普及啓発を目的とした「千葉県版熱中症警戒アラートモデル事業」を実施した。

予 算 額	予算執行額
966千円	786千円

廃棄物指導課

1 産業廃棄物対策事業

(1) 産業廃棄物処理許可業者に対する立入検査や欠格要件の調査等を実施し、不適正処理等が発見された業者に対し、指導及び処分を行った。

予 算 額	予算執行額
293,627千円	172,765千円

- ・延べ立入事業者数 364事業者
- ・指導件数（指導票） 116件
- ・改善勧告 3件
- ・改善命令 0件
- ・許可取消 13件（うち、欠格要件該当等12件）

(2) 産業廃棄物処理業の許可事務を行った。

ア 産業廃棄物処理業に係る許可業者数（千葉県許可分）

令和6年3月31日現在

業 区 分	産廃許可業者数	特管産廃許可業者数
収集運搬業者	11,668	914
処分業者	290	32
（うち中間処理業）	281	31
（うち最終処分業）	9	1
合 計	12,248	978

（注）収集運搬業、中間処理業及び最終処分業の複数の許可を有する業者がいるため合計は一致しない。

イ 令和5年度産業廃棄物処理業許可取扱件数

		新規許可申請件数	更新許可申請件数	変更許可申請件数	合 計
収集運搬	産 廃	803	1,736	213	2,752
	特 管	55	186	17	258
	合 計	858	1,922	230	3,010
中間処理	産 廃	4	50	3	57
	特 管	0	7	2	9
	合 計	4	57	5	66

		新規許可申請件数	更新許可申請件数	変更許可申請件数	合計
最終処分	産 廃	0	2	0	2
	特 管	0	1	0	1
	合 計	0	3	0	3
総許可 件 数	産 廃	807	1,788	216	2,811
	特 管	55	194	19	268
	合 計	862	1,982	235	3,079

ウ 令和5年度産業廃棄物処理業変更届受付件数

		社名変更	住所変更	代表者変更	車両変更	その他	合計
変更届 受付件数	産 廃	42	282	385	3,921	2,539	7,169
	特 管	7	25	51	841	406	1,330
	合 計	49	307	436	4,762	2,945	8,499

(3) 監視パトロール等を実施し、産業廃棄物の不法投棄や不適正処理に対する指導等を行った。(数値は出先機関(市原市含む)から千葉市、船橋市、柏市を除いて計上したもの。)

種 別	前年からの 継続件数	評価 変更	新規 発生 件数	立入調査 件数 (延べ数)	指 導 内 容				改善 件数	翌年へ の継続 件数
					命令	勧告	指導票	その他		
不法投棄	621	0	86	1,379	0	0	38	40	44	663
不適正処理	519	0	151	3,879	0	1	141	192	120	550
うち野焼き	43	0	55	137	0	0	36	21	49	49
合 計	1,140	0	237	5,258	0	1	179	232	164	1,213

(4) 産業廃棄物不法投棄等の早期発見・早期対応を図るため、廃棄物不法投棄監視員制度を設けている市町村及び不法投棄防止対策を実施した市町村に対して、経費の一部を助成した。また、住民団体の監視活動に対して、市町村が助成している経費の一部を助成した。

(5) 産業廃棄物不適正処理箇所の行為者等に対し、廃棄物の撤去等の指導を実施した。また、現在残存する産業廃棄物の不法投棄現場において、特に県民の生活環境への支障が懸念される16箇所のうち、8箇所の環境調査を行った。

(6) 「千葉県廃棄物の処理の適正化等に関する条例」に基づく小規模産業廃棄物処理施設設置の許可事務を行った。

許 可 区 分	許可受付件数
小規模処理施設設置許可	3
小規模処理施設変更許可	2
小規模処理施設譲受け又は借受け許可	0

(7) PCB廃棄物は「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」により処分が義務付けられており、令和5年度は、保管事業者不存在の事案に係る行政代執行を1件実施した。

ヤード・残土対策課

1 金属スクラップヤード等対策事業

令和5年10月に制定された「千葉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例」の円滑な施行に向けて、県が所管すべき全てのヤードを個別訪問し、条例の周知や基準遵守のための指導を行った。

・訪問したヤード数 542件（令和6年3月31日現在）

予 算 額	予算執行額
8,781千円	6,718千円

2 残土対策事業

「千葉県土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例」に基づき、特定事業の許可事務を行った。

予 算 額	予算執行額
36,369千円	28,746千円

許 可 区 分	許可受付件数
特定事業の許可	13
特定事業の変更許可	7
特定事業の譲受け許可	1

3 再生土埋立等対策事業

「千葉県再生土の埋立て等の適正化に関する条例」に基づき、特定埋立等の届出事務を行った。

予 算 額	予算執行額
1,063千円	818千円

4 自動車リサイクル推進事業

(1) 「使用済自動車の再資源化等に関する法律」「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づき、引取業者及びフロン類回収業者の登録並びに解体業者及び破砕業者の許可並びに第一種フロン類充填回収業者の登録事務を行った。

予 算 額	予算執行額
6,940千円	5,418千円

自動車リサイクルに係る登録・許可申請取扱件数（令和6年3月31日現在）

種 別	登録・許可取扱件数	うち新規登録・許可取扱件数
引 取 業 者	103	19
フロン類回収業者	59	7
解 体 業 者	85	13
破 砕 業 者	3	0
計	250	39

第一種フロン類充填回収業者の登録申請取扱件数（令和6年3月31日現在）

登録取扱件数	うち新規登録取扱件数
513	218

(2) 県民の生活環境を保全し、平穏な生活を確保するため、「千葉県特定自動車部品のヤード内保管等の適正化に関する条例」に基づき、立入りを行った。

立入り数（延べ数）	立入り数（実数）
498回	452箇所

(3) 自動車解体業許可事業者等に対する立入調査や欠格要件の調査等を実施し、不適正処理等が確認された業者に対して指導及び処分を行った。

- ・改善勧告 4件（解体業許可業者3件、自動車ヤード届出業者1件）
- ・許可取消 1件（解体業許可業者）

くらし安全推進課

1 生活安全推進事業

(1) 防犯ボックス設置・運営事業

地域防犯力の向上のため、市町村が設置する防犯ボッ

クスの運営費に対する補助を、市川市ほか4市町に行った。

予 算 額	予算執行額
190,007千円	168,520千円

(2) 地域の防犯力アップ補助事業

安全で安心なまちづくりを促進するため、市町村が整備する自主防犯団体のパトロール用資機材等に対する補助を、千葉市ほか21市町に行った。

(3) 地域の防犯ボランティア活動促進事業

ア 自主防犯団体が抱える課題の解決や防犯パトロールの質の向上に寄与する講演、団体間の情報交換などを行う「地域防犯力の向上に関する交流大会」を開催した。

イ 自主防犯活動に役立つ知識などを掲載した「ちば防犯ハンドブック」を作成し、広く配布した。

ウ 若者の自主防犯団体への参加等を促進するため、1団体（大学1校）に対し、パトロールに必要な物品の貸出しを行った。

(4) 市町村防犯カメラ等設置事業補助

街頭犯罪の防犯対策のため、市町村等が公道等（不特定多数の人が往来する公共の場所）に設置する防犯カメラ等に対する補助を、千葉市ほか32市町に行った。

(5) 電話d e 詐欺被害防止広報・啓発事業

電話d e 詐欺被害防止のため、テレビ、ラジオのCM放送、ハガキによる家族からの呼掛け啓発、SNSを活用した広報啓発などを実施するとともに、市町村が実施する対策機器の購入・貸与に

対する補助を、千葉市ほか9市町に行った。

(6) 防犯アドバイザー設置事業

地域防犯力の向上のため、市町村が防犯アドバイザーを設置する事業に対する補助を、松戸市ほか3市町に行った。

(7) 犯罪被害者等支援事業

ア 「千葉県犯罪被害者等支援推進計画」に基づく千葉県犯罪被害者等支援推進会議を開催し、有識者から広く意見を聴取するとともに、施策の実施状況等を公表した。

イ 犯罪被害者等に対し迅速かつ適切な支援を行うため、犯罪被害者支援コーディネーターを配置するとともに、見舞金の支給、弁護士による無料法律相談を実施した。

ウ 犯罪被害者等支援に対する県民の理解を深めるため、犯罪被害者週間（11月25日～12月1日）に合わせ、フォーラム「千葉県民のつどい」や「生命（いのち）のメッセージ展」を開催した。

(8) 性犯罪・性暴力被害者支援事業

性犯罪・性暴力被害者の方が安心して相談できるきめ細かな支援を提供するため、被害者支援団体や警察・医療機関等との連携による総合的な支援体制を構築し、平成29年10月から「公益社団法人千葉犯罪被害者支援センター」と「NPO法人千葉性暴力被害支援センターちさと」をワンストップ支援センターとして位置付け、その運営費等を補助した。

(9) 暴力団排除推進事業

ア 千葉県暴力団排除条例に基づく県の事務事業からの暴力団排除措置を的確に講じるため、関係部署からの相談に対する助言・協議、警察本部長への意見照会事務及び千葉県暴力団排除推進会議の円滑な運営に努めた。

イ 商店街からの暴力団排除を推進するには各市町村の協力が不可欠であることから、取組の趣旨を説明するなどし、理解を得られるよう努めると共に、暴力団排除宣言実施済みの商店会連合会に対して風化させることのないように、継続的な支援を実施した。

ウ 少年を暴力団から守るため、県内の中学校・高校において暴排講話を実施し、参加生徒を対象に啓発クリアファイル及び暴排リーフレットを配布した。また、少年育成に携わる教職員に対し、「高等学校生徒指導推進研究協議会」の場において、少年の健全育成を目的とした、暴力団の本質・危険性等の講義を実施した。

2 消費者行政推進事業

消費者の自立支援及び消費者被害の未然防止や拡大防止を図るため、消費生活相談、消費者教育・啓発、消費者への情報提供等を実施した。

予 算 額	予算執行額
126,457千円	117,608千円

(1) 消費者センター運営事業

消費生活に関する相談・商品テスト及び消費生活に必要な知識の普及・啓発・教育・展示・各種講座等を実施した。

・消費生活に関する相談件数 11,987件

(2) 消費者教育啓発事業

ア 一般消費者を対象に、消費者フォーラムや暮らしに役立つ知識を学べる講座を開催するなど、消費者教育及び消費者啓発を行った。

イ 教員向け公開講座を開催し、情報提供等を行った。

(3) 金融広報事業

金融に関する講演会や情報提供資料の作成・配布を通じて、一般消費者に向けた金融広報活動を実施した。

(4) 多重債務問題対策強化事業

借金を抱え生活困窮となっている多重債務者等に対応するための無料相談会や、多重債務者発生の未然防止を目的に、大学生を対象とした啓発キャンペーン等を開催した。

3 消費生活協同組合指導事業

消費生活協同組合への立入検査等による育成指導を実施した。

予 算 額	予算執行額
611千円	533千円

4 事業者指導事業

「特定商取引に関する法律」、「不当景品類及び不当表示防止法」、「千葉県消費生活の安定及び向上に関する条例」

等に基づき、不当取引等に対する事業者の監視・指導等の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
5,910千円	5,058千円

5 貸金業指導事業

貸金業者の登録、監督、指導及び立入検査並びに貸金業に係る相談等を実施した。

- ① 貸金業者の登録件数 17件
- ② 貸金業者の立入検査件数 7件
- ③ 債務者等からの相談件数 91件（苦情0件、相談91件）

予 算 額	予算執行額
4,693千円	4,435千円

6 消費者行政推進交付金事業

消費者行政強化交付金等を活用し、消費生活相談体制の充実、消費生活に関する講座等の実施、市町村事業の助成等を行い、県及び市町村の消費者行政の強化・推進を図った。

予 算 額	予算執行額
80,512千円	70,983千円

7 交通安全推進事業

(1) 共同現地診断

交通事故多発地点を関係機関・団体と共同して現地診

断を38箇所を実施し、事故要因の診断、検討を行うことにより交通安全施設の整備・改善を図った。

予 算 額	予算執行額
99,375千円	88,012千円

(2) 交通安全県民運動

ア 県民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図るとともに、交通ルールの遵守と正しい交通マナーを習慣づけるため、春・夏・秋・冬の交通安全運動等を展開した。

イ 毎月10日の「交通安全の日」を活用し、啓発物（反射材）やチラシ等を作成・配布することにより、市町村や各機関・団体等が地域ごとに連携した施策を一斉かつ継続的に展開して、県民に交通安全意識の浸透を図った。

(3) 飲酒運転根絶対策事業

飲酒運転の根絶対策として、県内において設立された「飲酒運転根絶協議会」に対する支援を行うなど、各地域の関係機関・団体と連携した飲酒運転根絶の環境づくりを推進した。

また、酒類販売店や駐車場利用者等を対象とした啓発、インターネットを活用した広報啓発活動、飲酒運転根絶に関するメッセージコンクールの開催などを実施した。

(4) 交通安全推進隊育成支援事業

地域の自主的な交通安全活動を支援するため、横断旗等の整備、ボランティア保険の加入等を行った。

(5) 自転車交通安全教育事業

自転車による交通事故の多い中学生・高校生を主な対象として、スタントマンによるリアルな交通事故再現を取り入れたスケアード・ストレイト自転車交通安全教室を14会場で開催した。

また、県教育委員会と作成した「自転車安全利用に係る教育用リーフレット」を県内の小学校3年生及び中学校1年生の児童・生徒に配布した。

(6) 自転車安全利用推進事業

自転車の安全利用対策を推進するため、各種キャンペーンの実施、交通安全推進委員会における自転車安全利用部会の開催、庁内自転車における保険加入の推進を図った。

また、令和4年7月1日から義務化した自転車保険の加入促進のため、チラシやのぼり旗による周知・啓発や高齢者を対象とした出前講座を実施した。

(7) ゼブラ・ストップ活動啓発事業

横断歩道等における歩行者等の優先義務を徹底し、横断歩道上における歩行者等の保護を強化する「ゼブラ・ストップ活動」を広く周知するため、県内主要駅におけるデジタルサイネージや運転者向けのラジオCMの放送を行ったほか、ポスター・チラシを市町村、警察署、関係団体等に配布した。

8 交通事故被害者対策事業

(1) 交通事故相談所

交通事故による被害者等の救済を図るため、本所（県庁内）、東葛飾支所（東葛飾合同庁舎内）及び安房支所（安房合同庁舎内）において相談業務を実施するとともに、相談者の便宜を図るため、県下34市町において巡回相談を実施した。

予 算 額	予算執行額
54,419千円	53,576千円

交通事故相談実施状況

来 所 相 談	巡 回 相 談	電 話 相 談	文 書 相 談	計
131件	415件	1,045件	8件	1,599件

県民生活課

1 県民活動環境整備事業

(1) 地域ボランティア活動環境整備事業

ボランティアと受入団体のマッチングを図るサイトを管理運営するとともに、受入団体の開拓・支援やボランティア体験会などを実施した。

予 算 額	予算執行額
24,615千円	23,892千円

(2) 協働によるコミュニティづくりの普及・促進

市民活動団体等の協働による取組を支援するために、有識者による講演や優良事例の発表、意見交換、ワークショップ、市町村への専門家派遣等を行い、協働によるコミュニティづくりの普及・促進を図った。

(3) ちばコラボ大賞

市民活動団体、地縁団体、学校、企業、行政機関等とが連携して地域社会の課題解決に取り組む事例の中から、他のモデルとなるような優れた事例の表彰等を実施した。

(4) 市民活動団体マネジメント事業

市民活動団体が安定して継続的に団体を運営できるよう基礎的知識及び事業力強化を学ぶ講座等を実施した。

2 県民活動普及啓発事業

(1) 県民活動広報事業

県民活動への参加をサポートするため、「県民活動情報オフィス」を運営するとともに、県民活動に対する県民の理解や認識を深め、活動の活性化を図るため、メールマガジン（25回）の発行や「ちば県民活動PR月間（12月1日～12月31日）」の実施、出前講座の開催などの普及啓発事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
10,069千円	9,419千円

3 青少年健全育成事業

(1) 青少年相談員設置事業

青少年健全育成の担い手として県が委嘱している青少年相談員の活動を促進するため、活動費の助成や研修等を実施した。

予 算 額	予算執行額
55,917千円	52,992千円

(2) 青少年育成推進事業

中学生の主張千葉県大会や青少年育成フォーラム、「ライトブルー賞」表彰を実施した。
また、青少年育成に関する研修等に対してニーズの合った講師を派遣する青少年指導者育成事業を実施した。

(3) 青少年の社会環境づくり事業

千葉県青少年健全育成条例に基づき、青少年の健全な育成を阻害するおそれのある有害環境の浄化に努めるとともに、条例の周知・啓発を実施した。

(4) 青少年補導センター事業

青少年の非行を未然に防ぐため、街頭補導活動や相談活動等を実践する青少年補導センターの活動費に助成したほか、県下一斉合同パトロールを実施した。

(5) 子ども・若者育成支援推進事業

ニートやひきこもり、不登校など社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者に対し、適切な支援を実施する体制の整備を行うため、「千葉県子ども・若者支援協議会」を開催するとともに、「千葉県子ども・若者総合相談センター（ライトハウスちば）」の運営を行った。

(6) 青少年ネット被害防止対策事業

ネットいじめ、非行行為、犯罪被害等の防止を図るため、青少年の利用頻度の高いサイトを監視するネットパトロールを実施するとともに、学校等に出向きインターネットの適正利用について講演を実施し、啓発を行った。

生涯スポーツ振興課

1 障害者スポーツ振興事業

(1) パラスポーツフェスタの開催

障害のある人もない人も参加できる競技体験会、対抗戦等を千葉市及び柏市で実施した。

予 算 額	予算執行額
115,181千円	108,712千円

(2) パラスポーツコーディネーター派遣事業

地域でパラスポーツ大会等を開催する場合や、市町村等がパラスポーツの拠点づくりをする場合にコーディネーターを派遣して支援を行った。

(3) パラスポーツ競技団体支援事業

パラスポーツ競技団体が実施する競技体験会等に対し助成を行った。

(4) パラアスリート等学校訪問事業

県内の小中学校に加え、新たに県立特別支援学校にもパラアスリート等を派遣し、講演会やパラスポーツ体験会等を実施した。

2 外房サーフィン振興事業

スポーツを通じた、県内外からの誘客や移住・定住の促進などによる地域活性化を目指し、サーフィン初心者や家族や若者をターゲットに、7月下旬から9月中旬まで、外房地域及び南房総地域にてサーフィン体験会とサーフ文化を体感するイベントを計14回実施した。

予 算 額	予算執行額
10,006千円	9,986千円

3 「新たなスポーツ」の普及促進事業

バーチャルサイクリングについて、令和4年度に作成した千葉県オリジナルコースを活用して大会や体験会を実施したほか、アーバンスポーツ・ユニバーサルスポーツの体験会を実施した。

予 算 額	予算執行額
12,995千円	12,184千円

4 ちばアクアラインマラソン開催事業

スポーツを通じた健康増進や体力向上の促進と、千葉県が有する様々な魅力を発信するため、令和6年11月10日に開催する「ちばアクアラインマラソン2024」の開催準備を進めた。

予 算 額	予算執行額
48,773千円	48,152千円

競技スポーツ振興課

1 体育・スポーツ振興事業

(1) 競技スポーツ

本県における体育・スポーツの推進や、競技水準の向上を目指して、各競技団体が行う競技力向上の取組への支援や、特別国民体育大会及び第78回国民スポーツ大会冬季大会への選手団派遣等により、競技スポーツの普及・振興を図った。

また、県民に元気と勇気を与えられるよう、千葉県ゆかりのオリンピックアスリート35名、パラリンピックアスリート73名、パラスポチーム11チームを強化指定選手及びチームとして指定し、強化活動に係る経費に対し支援した。

予 算 額	予算執行額
408,973千円	394,086千円

事業名	事業内容	金額
国民体育大会派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ・特別国民体育大会（鹿児島）への選手団派遣 ・国民体育大会関東ブロック大会（埼玉県）への選手団派遣 ・第78回国民スポーツ大会冬季大会（北海道・山形）への選手団派遣 	132,079千円
県民体育大会事業	<ul style="list-style-type: none"> ・県民体育大会 	6,300千円
千葉県競技力向上推進本部事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各競技団体が行う、本県スポーツ選手の競技力向上の取組に対する支援 ・千葉県ゆかりのオリンピック・パラリンピックアスリートの強化活動に係る経費に対する支援 	247,124千円
スポーツ振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県スポーツ協会事業補助金 ・県民体育大会サブイベントの開催委託 	8,583千円

2 総合スポーツセンターの運営等

(1) 総合スポーツセンターの運営

予 算 額	予算執行額
1,206,424千円	1,152,665千円

総合スポーツセンターでは、施設を広く県民の利用に供し、県民の健康・体力の保持増進、スポーツ選手の育成強化及び体育・スポーツの振興に努めた。各施設の利用状況は、次のとおりである。

千葉県総合スポーツセンター入場者数（指定管理者：千葉県スポーツ協会・まちづくり公社グループ）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
592,897人	178,863人	319,267人	471,763人	465,227人

千葉県総合スポーツセンター射撃場入場者数（指定管理者：千葉県ライフル射撃協会）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
4,553人	2,813人	3,563人	3,715人	3,417人

千葉県総合スポーツセンター東総運動場入場者数（指定管理者：（一財）千葉県まちづくり公社）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
184,933人	35,194人	74,676人	77,180人	83,613人

(2) 総合スポーツセンターの施設整備

総合スポーツセンター庭球場クラブハウス建替工事を実施した。

総合スポーツセンター陸上競技場の大型映像装置を整備するため、基本設計を実施した。

総合スポーツセンター体育館建替えに係る基本設計を終え、実施設計に着手した。

3 国際総合水泳場の運営等

(1) 国際総合水泳場の運営

国際総合水泳場では、施設を広く県民の利用に供し、県民の健康・体力の保持増進及び体育・スポーツの振興に努めた。

予 算 額	予算執行額
342,877千円	338,767千円

国際総合水泳場入場者数（指定管理者：オーエンス・セントラル・千水連グループ）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
397,175人	196,124人	259,473人	306,307人	321,826人

(2) 国際総合水泳場の施設整備

国際総合水泳場非常用発電機改修工事を実施した。
国際総合水泳場吸収式冷凍機更新工事を実施した。

文化振興課

1 文化行政推進事業

(1) 千葉県文化芸術推進基本計画の推進

県民自らが、主体的に文化芸術活動ができる仕組みづくりや、優れた文化芸術を鑑賞できる機会を充実するなど、文化に触れ親しむ環境づくりに取り組んだ。

予 算 額	予算執行額
827,845千円	762,088千円

(2) 千葉・県民芸術祭

日頃の文化創造活動の成果を発表する場と質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供するため、芸術文化団体と共催で「千葉・県民芸術祭」の諸行事を実施した。

(3) (公財) 千葉交響楽団関連事業

(公財) 千葉交響楽団を活用し、児童・生徒や県民を対象にした公演等を実施した。

(4) 千葉県少年少女オーケストラ育成事業

(公財) 千葉県文化振興財団の行う千葉県少年少女オーケストラ育成事業に対し補助した。

(5) 若者の文化芸術活動育成支援事業

次代を担う若者が主体となって実施する文化芸術活動に対し助成した。

(6) 「ちば」の文化芸術発信事業

伝統文化等の保存・継承に取り組むとともに、将来の文化芸術の担い手を育成し、県民の文化芸術活動の発展につなげるため、本県の魅力的な文化芸術を発信する舞台公演を県民が参加できる形で実施した。

(7) 県民の日事業

県民の日を記念して、より多くの県民が千葉の魅力を見直し、ふるさと千葉への愛着を深めることができるよう、中央行事を県内で巡回することとし、令和5年度は、千葉県誕生150周年記念行事オープニングイベントとして松戸市で開催したほか、県内各地で県民参加・体験型の地域行事を行った。

(8) 千葉県誕生150周年記念事業

本県ならではの文化資源や魅力の発信を通じて千葉ブランド価値の創出・向上や地域活性化につなげるため、県内市町村が企画・実施する記念イベントに対し、補助金の交付を行った。

また、株式会社オリエンタルランドと連携し、浦安市、館山市、千葉市において千葉県誕生150周年記念パレードを実施した。

(9) 「千葉の海・大使」等を活用した魅力発信

千葉の宝である海の魅力発信について、統一感をもって推進するため、「千葉の海・大使」を任命したほか、本県の海の魅力をPRするデザインやイメージカラーの周知・活用を行った。

(10) 障害者芸術文化活動支援事業

障害者の自立と社会参加の促進を図るため、障害者の芸術文化活動に関わる支援センター等の設置を行い、支援の枠組みを整備することで、障害者の芸術文化活動（美術、演劇、音楽等）の普及を支援した。

(11) アーティスト・フォローアップ（モデル）事業

新たな分野で本県の将来の芸術文化の担い手を育成するため、キャリア形成支援の対象となる才能豊かな新進アーティストを決定した。

2 千葉県立文化会館管理運営事業

(1) 管理運営事業

千葉県立文化会館4館の管理・運営を（公財）千葉県

予 算 額	予算執行額
1,556,092千円	1,100,469千円

文化振興財団に委託し、文化活動等の場として施設の提供を行うなど、本県の文化振興を図った。

(2) 施設整備事業

「青葉の森公園芸術文化ホール練習室エアコン修繕」等の設備修繕、更新業務を実施し、施設の整備を行った。

(3) 千葉県文化会館大規模改修事業

建築後50年以上経過し、建物の老朽化が進んでいる千葉県文化会館について、大規模改修工事を進めた。

3 県立博物館・美術館運営事業

(1) 博物館・美術館活動の充実

中央博物館では、特別展「よみがえるチバニアン期の

予 算 額	予算執行額
2,989,309千円	2,700,540千円

古生物」等の、本県ならではの魅力に親しむことのできる展示を開催した。

美術館では、本県とゆかりの深いオランダとの文化交流事業として、オランダ出身のテオ・ヤンセンの展覧会等を開催し、アートに親しむ機会を提供した。

(2) 県立博物館・美術館の整備

老朽化等による博物館・美術館施設の不具合箇所の修繕や設備更新、改修工事に係る実施設計業務により、施設の整備を行った。

商工労働部

経済政策課

1 商工団体等指導助成費

県内の商工会、商工会議所、商工会連合会及び商工会議所連合会が行う、小規模事業者の経営改善を図るための事業の支援を行うとともに、千葉県中小企業団体中央会が行う中小企業の組織化、中小企業団体の育成及び指導に関する事業の支援を行った。

予 算 額	予算執行額
2,627,472千円	2,544,903千円

2 貿易振興事業

本県中小企業による海外展開や貿易の促進のため、(独)日本貿易振興機構千葉貿易情報センターにアドバイザーを配置し、貿易投資相談を行うとともに、海外販路拡大セミナーの開催、専門家派遣などを実施し、企業のニーズに応じた支援を行った。

予 算 額	予算執行額
53,741千円	48,246千円

3 日本コンベンションセンター国際展示場（幕張メッセ国際展示場）等の管理運営

本県の産業振興・文化の発展・国際化の進展を目的として設置された幕張メッセ国際展示場等の管理運営を行った。

予 算 額	予算執行額
4,363,318千円	4,210,079千円

令和5年度は「CEATEC」、「スーパーマーケット・トレードショー」など321件のイベントが開催され、約410万人の来場者があった。

国際展示場管理運営事業（特別会計）

3,572,114千円

国際展示場駐車場事業

637,965千円

4 地域課題解決型実証実験促進事業

地域課題の解決に向けて、新たなアイデアやビジネスモデル等を活用して実証実験を行うベンチャー企業や大学等からの相談に対応するため、ワンストップ窓口を設置し、実施場所となる市町村とのマッチング等を行うとともに、地域課題の解決に資する実証実験について、幅広い分野のアイデアを募集し、他の地域への波及効果が高い事例等を対象として助成を行った。

予 算 額	予算執行額
41,200千円	35,749千円

5 貨物運送事業者物価高騰対策支援事業

地域経済を支える重要な社会インフラである物流を維持するため、物価高騰等の影響を受けている中小貨物運送事業者に対して支援を行った。

予 算 額	予算執行額
2,433,913千円	1,731,638千円

6 特別高圧電気料金高騰対策事業

国が実施する電気料金の激変緩和措置の対象とならない、特別高圧で受電している中小企業等の負担の軽減を図るための支援を行った。

予 算 額	予算執行額
3,100,000千円	1,242,462千円

経営支援課

1 総合金融対策事業

中小企業の資金調達の円滑化を図るため、貸付原資の預託を通じて融資利率の低減を図る中小企業振興資金事業や信用保証業務を行う千葉県信用保証協会への損失てん補等を実施した。

予 算 額	予算執行額
371,070,200千円	223,076,787千円

(1) 中小企業振興資金事業

中小企業の経営基盤の安定に必要な事業資金を円滑に提供するため、金融機関等と協力して、県内の中小企業に対して融資を行った。

中小企業振興資金等貸付実績

資 金 名		預託額	年度中融資実績		年度末融資残高	
			件数	金額	件数	金額
中小企業振興資金	事業資金	千円	件	千円	件	千円
	事業資金		5,254	94,228,449	15,536	171,422,385
	小規模事業資金		4,052	24,855,587	12,432	45,712,916
	創業資金		1,003	5,011,806	3,097	10,438,178
	挑戦資金		1	8,000	24	236,521
	経営力強化資金				26	474,601
	セーフティネット資金		98	2,866,940	1,804	21,016,173
	新型コロナウイルス感染症対応特別資金				30,096	392,353,356
	新型コロナウイルス感染症 対応伴走支援資金				1,694	25,207,910
	感染症・物価高等 対応伴走支援資金		3,615	99,051,071	3,997	102,389,848
	再生資金		3	124,208	6	156,242
	事業承継資金		0	0	2	28,382
	観光施設資金		0	0	2	42,667
	環境保全資金		2	32,599	17	76,766
	障害者雇用推進資金		1	30,000	2	47,505
	事業承継特別資金		4	96,219	6	107,807
	事業継続強化資金		0	0	0	0
	ちばSDGsパートナー支援資金		17	390,500	33	686,893
長期資金計		14,050	226,695,379	68,774	770,398,150	
サポート短期資金			6,803	44,938,080	4,226	24,691,431
計	222,041,000	20,853	271,633,459	73,000	795,089,581	
企業立地促進資金	59,000	0	0	1	207,648	
総 合 計	222,100,000	20,853	271,633,459	73,001	795,297,229	

(2) 中小企業融資損失てん補金

千葉県信用保証協会の経営基盤を安定させ、県内中小企業の金融の円滑化を図るため、千葉県信用保証協会が行った代位弁済に対して、千葉県中小企業融資損失てん補条例に基づき損失てん補を行った。

- ・件数：1,104件、支出額：915,060千円

(3) 創業資金信用保証料補助金

県内の創業へのチャレンジを一層促進するため、中小企業振興資金「創業資金」の利用に伴う信用保証料の一部を補助した。

- ・件数：978件、支出額：33,143千円

(4) 経営安定資金（災害関連）利子補給

被災した中小企業が設備等を復旧する際などに、金融機関から融資を受けた、中小企業振興資金（セーフティネット資金）について、利子の一部を補助した。

- ・件数：599件、支出額：26,829千円（令和元年台風）
- ・件数：13件、支出額：78千円（令和5年台風）

(5) ゼロカーボン促進信用保証料補助金

県内中小企業のカーボンニュートラルの取組を支援するため、中小企業振興資金を利用して設備の導入等を行う場合に、信用保証料の一部を補助した。

- ・件数：2件、支出額：746千円

2 経営基盤強化支援事業

(公財) 千葉県産業振興センターに対し設備資金貸付事業（無利子貸付）に係る運営費補助を行った。

予 算 額	予算執行額
8,151千円	7,900千円

3 新型コロナウイルス感染症対応特別資金利子補給事業

中小企業等の資金繰りを支援するため、新型コロナウイルス感染症対応特別資金の利用者に対し、実質無利子となるよう利子を補助した。

予 算 額	予算執行額
4,950,000千円	4,931,613千円

4 中小企業経営支援事業

中小企業へのきめ細かな支援を総合的に提供するため、チャレンジ企業支援センターが行う各種事業に対して助成するとともに、起業・創業の機運の醸成や事業承継支援の取組を実施した。

予 算 額	予算執行額
568,918千円	504,988千円

(1) チャレンジ企業支援センター事業

(公財) 千葉県産業振興センターに設置した「チャレンジ企業支援センター」において、中小企業が抱える様々な経営課題の解決をワンストップで支援するため、各種相談や専門家の派遣及び

各種セミナーの開催を行った。

・支出額：378,044千円

(2) ちば起業支援事業

起業家の発掘から講習、人脈形成、経営支援に至るまで一貫した支援を行うため、起業家交流会やビジネスプラン・コンペティションを実施した。

また、起業を志す人材を育成するため、小中学生を対象とした起業体験会や、高校生・大学生等を対象としたビジネスプラン作成ワークショップを実施した。

・支出額：30,540千円

(3) ちば中小企業次世代承継推進事業

事業承継に係る個別出張相談会に事業承継エリアコーディネーターを派遣し、事業承継に係る課題を中小企業経営者と相談しながら整理するなど、事業承継に向けた支援を行った。

・支出額：20,206千円

(4) 事業承継支援緊急対策事業

中小企業経営者の高齢化が進む中、物価高騰などにより当面の経営課題への対応に追われる経営者に対し、将来の事業承継に向けた準備の必要性への気づきを促すため、専門家が中小企業経営者を直接訪問し、事業承継の意識付けや助言を行うとともに、専門機関による支援につなげた。

・支出額：49,320千円

(5) 事業継続計画（BCP）策定支援事業

増加するサイバー攻撃、電力需給ひっ迫に伴う大規模停電等に備え、中小企業における事業の継続や早期復旧に向けた事業継続計画（BCP）の策定支援を行った。

・支出額：15,803千円

5 商店街支援事業

地域商業の活性化を図るため、地域商業の担い手である商店街や商工団体等が行う取組に対して支援するとともに、地域商業の課題解決に向け専門家を派遣した。

予 算 額	予算執行額
21,795千円	15,349千円

6 小規模企業者等設備導入資金貸付事業（特別会計）

小規模企業者等設備導入資金貸付事業で、前年度に支払いを受けたものについて国及び一般会計に返還した。

予 算 額	予算執行額
91,881千円	89,872千円

また、貸付原資として（独）中小企業基盤整備機構から借り入れた資金及び一般会計から繰り入れた資金について、貸付先から償還のあった元金及び貸付利子を返済した。

産業振興課

1 新事業・新産業創出の支援

産学官連携や企業間連携によって、社会的課題や市場ニーズに対応した新技術や新製品の開発を促進するため、県内企業、大学、研究機関等のネットワークの強化を図るとともに、それらが連携して行う技術・製品開発の支援を行った。

また、中小企業における知的財産の戦略的活用を促進するため、知的財産の創造・保護・活用のための総合的な相談を実施するとともに、制度等の普及啓発を図るセミナーを開催した。

予 算 額	予算執行額
37,631千円	35,410千円

2 研究開発への支援

県内のバイオ産業の振興を図るため、その中核的な役割を担う「かずさDNA研究所」の研究活動及び産業支援

活動に対する支援を行うとともに、全県的な産学官連携組織「千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議」において、各機関の取組や最新の知見の共有を目的とした事例報告会を開催した。

また、バイオ関連企業の誘致及び育成のため、賃貸型の研究開発施設「かずさインキュベーションセンター」の管理運営や入居企業への支援を行った。

予 算 額	予算執行額
1,070,250千円	1,070,250千円

3 創業から販路開拓まで一貫した中小・ベンチャー企業への支援

(1) 産業技術力の強化・新たな製品開発の支援

実用化技術研究や受託研究の推進によって、県内中小企業の製品開発や製造技術改善への支援を行った。

また、産業支援技術研究所に電子線プローブマイクロアナライザー、放射電磁波計測システム等を設置して支援機能の充実を図った。

さらに、中小企業の中堅・若手職員を対象とした高度な技術研修を行ったほか、新たな製品開発を進める中小・ベンチャー企業を育成・支援するため、産業支援施設である東葛テクノプラザにおいて、入居企業等に対し研究支援や経営相談を実施するとともに、企業と大学との交流事業を実施した。

また、これまでにない新たな技術やアイデアを持ってはいるが、知財戦略や販路開拓などに課題を抱えるベンチャー企業へ短期集中的な伴走支援を行うとともに、中小・ベンチャー企業と他企業等との共同研究や外部連携等を促進するため、オープンイノベーション交流会を開催した。

予 算 額	予算執行額
1,333,379千円	992,903千円

(2) 販路・市場開拓への支援

ア ものづくり中小企業の販路開拓支援

千葉県内の中小企業が有する優れた製品や独創的な製品を「千葉ものづくり認定製品」として認定し、広く情報発信するとともに、営業・販売や受発注取引を促進するため、近隣の他都県等と連携した合同商談会を開催するなど、新たな取引ネットワークの形成を図った。

イ ものづくり中小企業の成長分野への参入支援

ものづくり中小企業の医工連携を推進するため、東葛テクノプラザや研究機能を有する医療機関に、医療機器や関連法令に精通した専門人材を配置し、製品開発に関するサポートを行うとともに、上市に向けた製品開発の補助を実施した。

ウ ものづくり中小企業の生産性向上等への支援

中小企業のデジタル化（I o T、A I等の活用）による生産性の向上や事業の高付加価値化を図るため、I o T、A I等に関する普及啓発や実習講座の実施、相談窓口の設置や専門家の派遣等により、県内中小企業のデジタル化へ向けた支援を行った。

また、中小企業のD X推進や事業変革を図るため、企業のデジタル人材の育成のための伴走型研修などの支援を行った。

(3) 「ベンチャークラブちば」によるリーディングカンパニーの育成支援事業

県内経済団体・金融機関・投資会社等と連携して運営するベンチャー支援組織「ベンチャークラブちば」へ助成を行い、ベンチャー企業への支援体制向上を図った。

また、ビジネスプラン発表会を開催し、ベンチャー企業と投資家等とのマッチングの場を提供した。

(4) 下請取引振興事業

下請中小企業の受注量確保と取引拡大を図るため、千葉県産業振興センターへ助成を行い、受発注開拓員等による訪問支援を行ったほか、県内中小企業の取引拡大を図るため、商談会等を開催した。

(5) ちばのキラリ商品支援事業

県内中小企業による県産農林水産物などの地域資源を活用した商品の開発や販売展開を支援するため、商品開発を目指す県内中小企業者等と県産農林水産物の加工や商品化のニーズを有する農林漁業者等とをマッチングするとともに、消費者ニーズを捉えた商品改良につなげるためのテストマーケティング等を行った。

(6) 生産性向上のための設備投資補助事業

新型コロナウイルス感染症や原油・原材料価格の高騰等による厳しい事業環境の中にあっても、事業活動の維持・継続や、発展を図る上で必要となる生産性向上等に資する設備投資を行う中小企業等を後押しするため、国の「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」に対する上乗せ補助を実施した。

あわせて、各種補助金を活用しようとする企業に対するワンストップ窓口を設置し、補助制度の説明会と申請書作成のサポートを実施した。

4 石油貯蔵施設立地対策事業

石油貯蔵施設の周辺地域における住民の福祉の向上を図るため、石油貯蔵施設立地対策等交付金制度により公共用施設の整備事業を行う市町等に対して交付金を交付した。

予 算 額	予算執行額
315,808千円	315,748千円

5 新エネルギー等の活用による地域振興

(1) 千葉県水素エネルギー関連産業振興プラットフォーム運営事業

今後利活用の拡大が期待される水素について、将来的にまとまった需要が見込まれる物流事業や地域交通事業等において、水素の調達から利活用までのモデルを構築するとともに、社会実装に向けた実証を進めるための事前調査として、参画意欲のある企業等の整理を行ったほか、水素エネルギーに関する先進的な取組事例についての情報共有等を行うため、プラットフォーム会議や先進地の視察を実施した。

予 算 額	予算執行額
63,701千円	62,131千円

(2) 海洋再生可能エネルギー導入・産業創出研究事業

洋上風力発電事業の導入を、本県の地域経済の活性化に繋げていくための基礎調査を実施したほか、洋上風力関連産業への県内企業の参入を促進するため、銚子市沖洋上風力発電事業について、県内企業向け個別商談会等を開催した。

6 カーボンニュートラルコンビナート事業

京葉臨海コンビナートを、日本をリードするカーボンニュートラルコンビナートへ転換する取組を促進するため、立地企業等で設置した協議会を運営するとともに、業種を超えた企業間連携のプロジェクトの推進に必要な調査等を実施した。

予 算 額	予算執行額
30,000千円	29,975千円

7 資源対策事業

(1) 鉱業振興対策事業

鉱業法に基づく鉱業権の設定に対する国からの意見照会の調整、県有鉱区の維持管理に努めた。

予 算 額	予算執行額
2,646千円	1,331千円

(2) 土石砂利対策事業

砂利採取法、採石法及び千葉県土採取条例に基づく登録及び土石砂利採取計画の認可の審査を行うとともに、災害防止を図るため、採取場への立入検査等により法令や採取計画の遵守の確認を行い、事業者に対する指導監督等を行ったほか、土石砂利の無認可採取等に対するパトロールを実施した。

8 計量検定所の事業

計量法に基づく特定計量器の製造・修理・販売事業者に係る届出の受理、計量証明事業の登録及び指導、特定計量器の検定・検査及び基準器検査を実施し、適正な計量の確保を図った。

予 算 額	予算執行額
27,701千円	24,670千円

企業立地課

1 企業誘致対策事業

地域経済の活性化等を目的として、県内への企業立地を促進するため、市町村等との緊密な連携のもと、企業訪問などを行い、本県の立地優位性の発信に努めるとともに、企業への助成制度等を活用しながら積極的に企業誘致を行った。

予 算 額	予算執行額
923,640千円	913,439千円

(1) 立地企業補助金

県内への企業立地を促進するため、立地企業に対する助成や、産業用地及び空き公共施設の整備に取り組む市町村に対する支援を行った。

- ・立地企業補助金交付件数：33件

(2) 戦略的企業誘致推進事業

本県の立地環境の優位性を活かした戦略的な企業誘致を実施するため、企業誘致セミナーの開催や企業立地アンケート等を踏まえた企業訪問などを通じて、千葉の魅力を広く発信するとともに、立地企業補助金等を活用した企業誘致活動を行った。

- ・訪問活動：950件、立地件数：84件

(3) 外資系企業誘致の推進

外資系企業を誘致するため、千葉県の上地環境や各種補助金等の支援体制を国内外に広くPRするとともに、在日外国公館との関係構築やジェトロ千葉等と連携強化を図りつつ、新規立地企業を発掘し、企業誘致活動を行った。

また、外資系企業の県内への立地を促進するため、ワンストップ窓口である「ちば投資サポートセンター」を設置し、会社設立の手続き等の支援を行った。

- ・アドバイス件数：72件、E-mailマガジン発信件数：3,775件（ともに延べ件数）

(4) 空き公共施設等を活用した企業誘致促進事業

県ホームページによる一元的な情報発信や、空き公共施設の活用に関する企業へのアンケート調査、企業と施設を保有する市町村のマッチング支援に努め、企業と市町村との接点を積極的に作ることで企業進出を促進した。

・企業と市町村のマッチング件数：130件

企業等の進出件数：7件

2 かずさアカデミアパーク推進事業

かずさアカデミアパークへの企業誘致を推進するとともに、地域における多様な交流機能を担う「かずさアカデミアホール」の運営等を行った。

予 算 額	予算執行額
910,544千円	904,017千円

(1) かずさアカデミアホール事業

産業、学術、文化等の多様な交流の場である「かずさアカデミアホール」の運営管理を行った。

(2) 公的施設等用地確保事業

かずさパークやかずさDNA研究所等の公的施設等用地の管理を行った。

(3) 関連施設整備等事業

かずさアカデミアパークへの立地促進や環境・景観の維持・向上を図るため、県、地元市及び関係事業者等で構成する各協議会の運営等を行った。

3 工業団地整備事業（特別会計）

茂原にはる工業団地、袖ヶ浦椎の森工業団地について、環境影響評価事後調査を行うとともに、袖ヶ浦椎の森工業団地については、操業を断念した企業から土地の買戻しを行った。

予 算 額	予算執行額
532,171千円	531,174千円

観光企画課

1 物産振興事業

(1) 地場産業振興事業

伝統的工芸品産業を地場産業として発展させるため、千葉県伝統的工芸品指定事業を実施するとともに、伝統的工芸品のさらなる魅力を広く発信するため、千葉県指定伝統的工芸品展を開催した。

予 算 額	予算執行額
4,623千円	4,071千円

2 観光振興事業

誰もが何度でも訪れたい魅力ある持続可能な観光地づくりを図るため、地域資源の発掘・磨き上げや受入体制の整備などの各種事業を実施するとともに、人手不足が深刻な宿泊業の人材確保に向けた事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
426,782千円	334,055千円

(1) 観光地魅力アップ整備事業

国内外から訪れた観光客の満足度を高めるため、多くの観光客が利用する公衆トイレや駐車場、観光案内所、観光案内板等の新設・改修などについて、その経費の一部を助成した。

(2) ちばワーケーション受入促進事業

都心近郊で豊かな自然を満喫しながら行う本県でのワーケーションの魅力について情報発信するとともに、ワーケーションの受入環境の整備など、地域における取組を支援した。

(3) 期間限定アンテナショップ事業

遠方の地域にも千葉県産品の魅力を発信し、認知度向上を図るため、大阪の阪急大阪梅田駅構内で物産展を13日間開催した。

(4) 観光コンテンツ高付加価値化促進事業

新しい観光モデルとして、特別感のある付加価値の高い観光コンテンツを開発し、地域全体の観光消費額を拡大させる取組に対する助成を行った。

(5) 宿泊業人材確保事業

従業員不足が他産業と比べても深刻な宿泊業の人材確保に向け、宿泊事業者向けと求職者向けのセミナーをそれぞれ開催したほか、両者のマッチングを実施した。

(6) デジタルマーケティング事業

アクアラインにおけるロードプライシング社会実験による周辺エリアの人流や、クレジットカード決済による消費動向等のビッグデータを分析し、県内観光客の滞在時間の変化や地点ごとの消費の特徴など、調査を行った。

観光誘致促進課

1 観光振興事業

県内観光の振興を目的に、本県への誘客のための各種宣伝紹介事業や外国人観光客の受入体制整備等を行った。

予 算 額	予算執行額
14,901,603千円	13,812,635千円

(1) 国内向け誘客事業

国内からの観光客誘致を図るため、観光情報ホームページ「ちば観光ナビ」や観光パンフレット、ガイドブック等により県内観光地のPRを行った。

また、観光プロモーション活動の全県的な組織「ちばプロモーション協議会」や、市町村等と連携した商談会・観光物産展の開催、各種メディアを活用した情報発信などにより本県への誘客促進を図った。

さらに、県内の鉄道・バス事業者と連携したフリー切符の販売、デジタルポイントラリーキャン

ペーンなどを実施し、県内周遊の促進に取り組んだほか、教育旅行の誘致強化を図るため、学校関係者から要望の多いSDGsに係る体験プログラムの造成を支援した。

(2) 海外向け誘客事業

外国人向けのホームページやSNSでの情報発信、多言語による観光パンフレットやガイドブックの作成等により県内観光地のPRを行ったほか、外国人観光客が多く利用する旅行予約サイトへの旅行商品の情報掲載などを促進するため、セミナーの開催や千葉県特集ページの作成を行った。

また、台湾、タイ、マレーシア、ベトナムについて、現地での商談会や観光展に参加するとともに、旅行会社への訪問セールスを実施したほか、県内での観光・宿泊を伴うバスツアーを造成する旅行会社を支援し、県内滞在と周遊の促進を図った。

さらに、海外からの教育旅行を誘致するため、説明会や商談会に参加するとともに、台湾、マレーシアの教育旅行関係者の招請事業を実施した。

雇用労働課

1 労働対策事業

労使関係の安定を促進し、健全な労使関係の確立を図るための諸施策を総合的、効果的に実施した。

予 算 額	予算執行額
11,775千円	11,444千円

(1) 労働相談事業

労使関係、労働福祉、その他労働問題全般の相談に応じるため、県庁本庁舎2階に千葉県労働相談センターを設置し、5名の労働相談員を配置して、相談業務を実施した。

- ① 一般労働相談 2,854件
- ② 特別労働相談 51件
 - ・弁護士による特別労働相談 32件
 - ・働く人のメンタルヘルス特別労働相談 19件

2 労働教育事業

労働問題に関する正しい知識を普及し、安定した労使関係の確立を図るため、労働教育講座等を実施した。

予 算 額	予算執行額
736千円	735千円

- ・労働大学講座 視聴回数 1,969回
- ・ワークルール講座 実施校 12校
参加人数 1,424名

3 ちばの「新しい働き方」推進事業

企業の働き方改革への意識を醸成するとともに、働き方改革の推進やテレワーク導入に取り組む県内中小企業等を支援するため、働きやすい環境づくりアドバイザー派遣等を実施した。

- ・働き方改革推進支援 派遣企業数 20社（延べ89回）
- ・テレワーク導入支援 派遣企業数 17社（延べ75回）

予 算 額	予算執行額
46,733千円	40,734千円

4 ジョブカフェちば事業

若者の正社員としての就労や、中小企業の若手人材の採用・定着を促進するため、「ジョブカフェちば」を運営し、各種就職支援セミナー、個別相談、若者と企業の交流イベントなどの総合的な就労支援を行った。

- ・延べ利用者数 13,546名
- ・進路決定者数 1,543名

予 算 額	予算執行額
145,766千円	141,668千円

5 千葉県ジョブサポートセンター事業

求職者の生活の安定、子育て中の女性や中高年齢者等の再就職の促進及び就職後の職場定着を図るため、就労に係る一貫した支援を行う施設の運営を行った。

- ・延べ利用者数 12,885名
- ・就職決定者数 682名

予 算 額	予算執行額
98,311千円	98,310千円

6 中小企業人材採用・魅力発信サポート事業

（一社）千葉県商工会議所連合会が行う県内中小企業を対象とする人材採用力の強化に向けた研修や、大学等との就職情報交換会の開催などの相互交流事業を支援した。

- ・参加企業数 延べ620社
- ・参加教育機関 延べ92校

予 算 額	予算執行額
20,000千円	20,000千円

7 プロフェッショナル人材戦略拠点事業

県内中小企業における様々な経営課題の解決に向けて、プロフェッショナル人材戦略拠点を設置し、企業と専門的な知識や技術を有する人材とのマッチングを支援した。

- ・相談件数 440件
- ・成約件数 110件

予 算 額	予算執行額
45,842千円	43,993千円

8 地域しごとマッチング支援事業

県外からの転職希望者や若年者等に対して、県内中小企業の求人情報を提供する専用ホームページの運営や、県内条件不利地域内にある企業が効果的な求人広告を提供できるよう支援を行った。

- ・求人登録数 247件

予 算 額	予算執行額
18,860千円	18,859千円

9 千葉県就職氷河期世代支援加速化事業

就職氷河期世代を中心とする就職希望者の就職・再就職を積極的に支援するため、各種支援プログラムや就職後の定着支援などを実施した。

- ・ちば就職氷河期世代雇用安定化促進事業
 - 新規利用者数 431名
 - 就職決定者数 95名

予 算 額	予算執行額
30,035千円	29,941千円

産業人材課

1 公共職業訓練事業

本年度の普通職業訓練における入校者及び修了者の実績は次のとおりである。

予 算 額	予算執行額
554,585千円	521,004千円

校名	訓 練 科	入校者数	修了者数	就職者数
市原	自動車整備科 (1年)	20	—	—
	〃 (2年)	(23)	15	15
	電気工事科	8	5	4
	非破壊検査科 R6. 1月入校	1	—	—
	塗装科	5	5	5
	ビルメンテナンス科 R5. 4月入校	3	3	2
	〃 R5. 10月入校	10	8	6
	小 計	47	36	32
船橋	機械技術科 (1年)	9	—	—
	〃 (2年)	(14)	10	9
	システム設計科 (1年)	18	—	—
	〃 (2年)	(17)	12	12
	冷凍空調設備科	16	11	11
	金属加工科 R5. 4月入校	8	7	7
	〃 R5. 10月入校	2	1	1
	小 計	53	41	40

校名	訓練科	入校者数	修了者数	就職者数
我孫子	N C 機械加工科	1	1	1
	造園科	12	11	8
	造園科 R5.1月入校	(11)	11	11
	〃 R5.4月入校	7	7	4
	〃 R5.7月入校	5	5	5
	〃 R5.10月入校	11	11	10
	〃 R6.1月入校	7	—	—
	事務実務科	7	1	1
	小計	50	47	40
旭	自動車整備科(1年)	19	—	—
	〃(2年)	(16)	14	14
	N C 機械加工科(デュアル)	4	4	4
	小計	23	18	18
東金	空間デザイン科(1年)	11	—	—
	〃(2年)	(9)	8	8
	建築科	14	13	13
	左官技術科(デュアル)	6	6	5
	左官技術科 R5.3月入校	(—)	—	—
	〃 R5.10月入校	2	2	2
	小計	33	29	28
障害者	DTP・Webデザインコース	10	4	3
	福祉住環境・CADコース	4	1	0
	PCビジネスコース	8	6	4
	職域開拓コース	7	3	2
	基礎実務コース	15	8	4
	短期実務コース R5.1月入校	(—)	—	—
	〃 R5.7月入校	4	3	1
	〃 R6.1月入校	—	—	—
小計	48	25	14	
合計		254	196	172

注) ()内は、令和4年度入校生

就職者数は、令和6年6月末現在で修了者数のうち就職した者(就職退校者は含まない)

2 デュアルシステム訓練事業

県立高等技術専門校で知識・実技を学んだ後に、企業現場で就労実習を行う実践的な職業訓練を実施することで、県内中小企業等における人材の定着を支援した。

予算額	予算執行額
3,756千円	3,739千円

3 職業能力開発校整備事業

県有施設の計画的な長寿命化を図るため、市原高等技術専門校の新総合実習棟建築工事等を行った。

予算額	予算執行額
797,581千円	792,480千円

4 高等技術専門校の機能強化に向けた広報事業

ものづくりの魅力を発信するため、県内工業系高等学校と共同のパンフレットを作成した。また、ホームページの全面リニューアルを行った。

予 算 額	予算執行額
16,418千円	15,749千円

5 事業内職業訓練事業

民間における職業訓練の振興を図るため、認定職業訓練を行う9団体に対して運営費、設備費の補助を行った。

予 算 額	予算執行額
32,441千円	30,532千円

6 技能検定事業

技能労働者の有する技能を一定の基準によって検定する技能検定試験を委任している千葉県職業能力開発協会に対して補助等を行い、技能検定試験を実施した。

予 算 額	予算執行額
98,164千円	98,163千円

7 企業人材リスクリング支援事業

中小企業向けのリスクリング支援として、経営者向けの啓発セミナー及び人事担当者向けの講座を実施した。

予 算 額	予算執行額
8,587千円	7,817千円

8 委託訓練事業

(1) 離職者等再就職訓練事業

大学や専修学校、企業等が持つ教育訓練資源を最大限に活用した多様な委託訓練により、離転職者等の円滑な再就職を支援した。

予 算 額	予算執行額
872,595千円	721,757千円

コ ー ス	コース数	修了者数	就職者数
・介護福祉士（2年課程）	9	26	24
・保育士（2年課程）	17	67	61
・美容師（2年課程）	2	4	4
・一般コース（パソコン等）	188	1,873	1,281
合 計	216	1,970	1,370

(注) 令和4年度に開講し、令和5年度に訓練が修了したものを含む。

(2) 障害者の多様なニーズに対応した委託訓練事業

企業、社会福祉法人、NPO法人、民間教育訓練機関等、多様な委託先を活用し、就職に必要な知識・技能の習得を図ることで障害者の雇用を促進した。

9 障害者就業支援キャリアセンター事業

「障害者就業支援キャリアセンター」を設置し、障害者の就労・職場定着等の支援を行うとともに、障害者雇用を目指す企業等の総合的な支援を行った。

予 算 額	予算執行額
32,293千円	32,286千円

10 企業支援員（障害者雇用アドバイザー）事業

企業支援員（障害者雇用アドバイザー）16名を配置し、障害者の職域開拓、就業環境づくりを行った。

予 算 額	予算執行額
48,806千円	43,880千円

11 障害者雇用サポート事業

障害者の就労を支援するため、基礎訓練と現場実習を組み合わせた研修を実施するとともに、障害者就労アドバイザーが雇用を検討している企業に出向き、社内勉強会を開催する等、障害者の雇用に向けたサポートを行った。

予 算 額	予算執行額
35,981千円	33,660千円

農林水産部

農林水産政策課

1 千葉県農林水産物輸出活性化事業

県産農林水産物の輸出促進に向けた今後の県の取組方針を策定するため、有識者が参画する「輸出活性化会議」

を開催した。併せて、県内の生産者が輸出に関心を持ち、必要な情報や機会を適切に把握できるように、輸出プロセスや事例、支援メニュー等を紹介する広報物の作成やセミナーを開催した。

予 算 額	予算執行額
2,314千円	1,571千円

団体指導課

1 農林団体指導事業

県内の農業協同組合及び森林組合の業務・経営内容を検査し、経営改善等の指導を行い、組合経営の健全化に努めた。

予 算 額	予算執行額
16,342千円	14,828千円

2 農業共済団体指導事業

県内の農業共済組合の業務・経営内容を検査し、組合の適正な運営を期するための指導を行った。

予 算 額	予算執行額
280千円	172千円

3 農林金融対策事業

農林業経営の近代化・災害からの復旧・農業生産方式の改善等のため、農林業者の借入金に対する利子補給等を実施し、農林業者の経営安定と農業生産力の向上に努めた。

予 算 額	予算執行額
332,553千円	308,290千円

事業名	交付先	利子補給（補助）額
農業近代化資金利子補給事業	千葉みらい農業協同組合 ほか24金融機関	138,694千円
県単災害融資利子補給事業	銚子市 ほか19市町	1,930千円
農業経営基盤強化資金利子補給事業	銚子市 ほか18市町村	899千円
農業経営負担軽減支援資金利子補給事業	かとり農業協同組合 ほか1農業協同組合	310千円
収入保険加入推進事業	千葉県農業共済組合	5,960千円

4 土地改良区検査事業

県内の土地改良区の組織や会計経理等を検査し、運営の健全化に努めた。

予算額	予算執行額
4,636千円	3,786千円

5 水産業総合対策事業

(1) 利子補給事業等

漁業経営の近代化等のため、漁業者の借入金に対する利子補給等を実施するとともに、共済掛金の助成を行い、漁業共済への加入促進を図り、漁業者の経営安定に努めた。

予算額	予算執行額
450,456千円	448,821千円

事業名	交付先	利子補給（補助）額
漁業近代化資金利子補給事業	東日本信用漁業協同組合連合会	28,507千円
中小漁業融資保証制度安定対策事業	全国漁業信用基金協会千葉支所	7,200千円
漁業経営保全対策共済加入助成事業	千葉県漁業共済組合	33,085千円

(2) 漁業系統団体貸付事業

事業振興のための資金として次のとおり貸し付けた。

貸付先	貸付額	貸付利率（年利）
千葉県漁業共済組合	70,000千円	0.5%
千葉県漁業協同組合連合会	300,000千円	0.5%
千葉県内水面漁業協同組合連合会	10,000千円	0.5%

6 水産団体指導事業

県内の水産業協同組合の業務・経営内容を検査し、経営改善等の指導を行い、組合経営の健全化に努めるとともに、組合の経営基盤を強化するための指導を行った。また、内水面漁業協同組合の経営状況等の分析を行った。

予算額	予算執行額
7,719千円	6,278千円

生産振興課

1 飼料用米等拡大支援事業

水田の有効活用を図るため、飼料用米をはじめとした、新規需要米の作付や麦・大豆等への集団転作に対する取組等に対し助成した。

予 算 額	予算執行額
421,685千円	417,170千円

2 千葉県農産産地パワーアップ事業

農業の競争力強化に向けて、生産コストの低減等を図るため、意欲ある農業者等が産地営農戦略に基づいて行う施設整備や機械の導入及びリース導入の取組を助成した。

予 算 額	予算執行額
99,350千円	97,097千円

3 農産産地支援事業

農産産地の生産力を強化するため、水稻等の優良種子の生産や、水稻・大豆・落花生を生産する農業者団体が実施する共同利用機械の整備及びスマート農業の導入等に対し助成した。

予 算 額	予算執行額
29,014千円	28,632千円

4 「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業

園芸産地の生産力強化を図るため、ハウス等園芸生産施設及び省力化機械等の整備、老朽化した温室等園芸生産施設の改修、施設園芸におけるスマート農業の導入等に対し助成した。

予 算 額	予算執行額
327,000千円	295,291千円

5 さつまいも生産拡大緊急プロジェクト事業

国内外ともに需要が急拡大する一方で、全国的に供給が不足しているさつまいもについて、生産・流通体制の強化に必要となる施設整備に係る経費の一部を助成した。

予 算 額	予算執行額
100,000千円	60,158千円

6 農業用生産資材価格高騰緊急支援事業

農業用生産資材の価格高騰の影響を受ける農業者の負担軽減を図るため、価格高騰額の一部を助成した。

予 算 額	予算執行額
1,468,330千円	1,270,917千円

流通販売課

1 県産農林水産物販売促進事業

県産農林水産物の販売促進を図るため、量販店等と連携して千葉県フェアを開催し、県産農林水産物の魅力をPRした。

予 算 額	予算執行額
16,650千円	14,831千円

2 新しい千葉の食文化創生事業

新しいご当地グルメ「黒アヒージョ」を通じて、全国に本県の魅力を発信し、県産農林水産物の消費拡大を図るため、飲食店や宿泊施設を対象としたフェアや料理コンテスト、アニメとのコラボ企画等を実施した。

予 算 額	予算執行額
30,000千円	28,656千円

3 県産農林水産物重点プロモーション事業

県内外の消費者に向けて、県産農林水産物の魅力を一層発信するため、「千葉県の顔」となるさつまいも、米（粒すけ）などの品目を核とした集中的プロモーションとして、さつまいものPRイベントや学校給食を活用した米（粒すけ）のプロモーション等を実施した。

予 算 額	予算執行額
110,202千円	107,935千円

4 千葉県誕生150周年記念県産農水産物PR事業

千葉県誕生150周年を県産農水産物の需要喚起の絶好の機会と捉え、県内小売店等で県産米の購入者を対象に、抽選で県産農林水産物をプレゼントするキャンペーンを実施した。また、千葉県誕生150周年記念事業のキックオフとして開催されたオープニングイベントにおいて、イベントキーワードの一つである「食」に注目し、物販や飲食提供、展示により多彩な県産農水産物を一体的にPRした。

予 算 額	予算執行額
23,500千円	23,425千円

5 県産農林水産物輸出促進事業

県産農林水産物の輸出拡大を図るため、海外での販売促進活動等を行う生産者団体等の取組への支援や、千葉ブランド農水産物・食品輸出協議会への活動支援等を実施した。また、タイ、シンガポール、台湾、米国及びフランスにおいて県産農林水産物PRのためのフェア等を開催するとともに、台湾において試食交流会や商談会、現地バイヤーとの面談を実施した。

予 算 額	予算執行額
63,066千円	46,800千円

6 農山漁村発イノベーション支援事業

千葉県農山漁村発イノベーションサポートセンターを設置し、プランナー派遣による六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定支援や研修会等を開催した。また、農林漁業者と多様な他産業の事業者がプラットフォームを構築して行う取組について、戦略会議や研修会等を開催し、プラットフォームにて創出したローカルフードビジネスについて、新商品開発・販路開拓等の支援を行った。

予 算 額	予算執行額
15,610千円	12,646千円

7 グローバル産地づくり推進事業

輸出産地づくりのための取組として、輸出事業計画策定等を支援した。

予 算 額	予算執行額
5,500千円	461千円

8 食品産業の輸出向けH A C C P等対応施設整備事業

輸出先のニーズに対応したH A C C P等の基準を満たすため、食品製造事業者等の施設の新設、機器の整備を支援した。

予 算 額	予算執行額
601,426千円	4,133千円

9 千葉県農林水産物輸出活性化事業

県産農林水産物の輸出を一層活性化させるため、他県の先進事例や本県の優位性及び課題を踏まえた輸出品目等の調査や輸出モデルケース等を検討し、新たな取組方針案を策定した。

予 算 額	予算執行額
13,000千円	12,836千円

担い手支援課

1 新規就農者等に対する資金支援

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、50歳未満で就農する者を対象に、就農に向けた研修段階及び就農直後の経営の不安定な時期に資金を交付した。また、就農後の経営発展に向けて、機械・設備に係る導入経費に対して助成を行った。

予 算 額	予算執行額
618,898千円	498,530千円

- (1) 農業次世代人材投資事業
- (2) 就農準備資金・経営開始資金・経営発展支援事業

2 ちば新農業人サポート事業

農業の担い手を確保するため、就農相談窓口の設置・運営、就農相談会の開催や各種研修などの就農支援を行った。

予 算 額	予算執行額
14,830千円	9,863千円

3 新規就農者確保推進事業

新規就農者の確保推進に向けて、民間のウェブサイトを活用することで、就農地としての本県の魅力を発信した。

予 算 額	予算執行額
4,260千円	3,555千円

また、地域において就農支援を行う組織の設置を推進するとともに、その活動を支援した。

4 ちばの次世代農業経営体確保・育成事業

個人経営が多い農業経営体について、経営者能力の向上と法人化による経営体質の強化を図り、雇用の増加など地域経済の活性化につなげていくため、専門家の派遣や経営セミナーを開催した。

予 算 額	予算執行額
10,113千円	5,918千円

5 農業雇用条件改善推進事業

被雇用者が安心して従事できるよう就業規則の制定など雇用条件の改善に向けた農業者の取組に要する経費に対して助成を行った。

予 算 額	予算執行額
6,000千円	2,600千円

6 農福連携推進事業

農福連携の取組推進に向けて、農業者へ農福連携を理解してもらうためのセミナー開催や県が作成した啓発資料の配布、障害者が可能な作業を抽出するための実証試験を実施した。

予 算 額	予算執行額
2,600千円	1,660千円

7 農業改良普及事業

農業改良助長法（昭和23年法律第165号）に基づき、優れた農業経営体の育成や地域の特性に即した農業の振興のため、効率的に普及活動が展開できるよう次のとおり主な事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
13,390千円	11,255千円

(1) 普及指導員等研修事業

- ① 国主催研修（延べ127人）
- ② 県主催研修（延べ467人）

(2) 普及指導センター機材整備事業

8 農林総合研究センター研究機能強化事業

地球温暖化等の気候変動、通信・情報技術の進展をはじめとした社会的ニーズなどの急激な変化への対応が求められる中、県オリジナル品種の開発及びICT等を活用した栽培支援技術の開発などを行った。

①魅力ある千葉県オリジナル品種の早期育成及び普及促進事業

②次世代環境・生育センシング技術とICTを活用した栽培支援技術の開発及び利用技術の確立

予 算 額	予算執行額
11,684千円	10,406千円

9 農業大学校機能拡充事業

農業大学校において、学生がスマート農業の基本的な知識や技術を習得するためスマート農業機器の導入や実演体験研修等を実施した。

予 算 額	予算執行額
6,547千円	3,246千円

農地・農村振興課

1 農業委員会等対策事業

農業生産力の増進及び農業経営の合理化を図るため、市町村農業委員会及び県農業委員会ネットワーク機構の運営に必要な経費を補助し、事業の円滑な推進に努めた。

予 算 額	予算執行額
330,282千円	272,181千円

2 イノシシ等有害獣被害防止対策事業

野生イノシシ・サル・シカ等による農作物等の被害を防止するため、防護柵の設置や箱わなの整備に対し助成した。また、鳥獣害対策の専門家を市町村へ派遣し、対策手法の検証や実施体制整備を支援した。

さらに、地域ぐるみで被害防止対策に取り組むことが有効であることから、集落単位で行う被害対策への活動支援や地域リーダーの育成を行うとともに、有害獣対策指導員を配置し、被害状況やイノシシ出現状況の調査、電気柵の点検等を行った。

・実施市町村 千葉県ほか25市町 箱わな整備基数 861基 防護柵設置距離 145 km

予 算 額	予算執行額
252,872千円	198,167千円

3 中山間地域等直接支払交付金事業

中山間地域等において、農業の持つ多面的機能を維持・増進するための活動を継続的に行う農業者へ交付金を交付した。

- ・実施市町村 館山市ほか12市町
- ・対象面積 927 h a

予 算 額	予算執行額
89,245千円	88,066千円

4 農地集積加速化促進事業

国の補助金により積み立てた基金を活用し、担い手への農用地の利用集積を促進するため、農地中間管理機構が行う農地集積に係る取組や、機構へ農地を貸し付けた個人等に対して助成した。

予 算 額	予算執行額
286,200千円	254,871千円

5 農業農村整備事業

農業農村整備事業として、県営中山間地域総合整備事業ほか1事業2地区を実施するとともに、市町村や土地改良区等が実施する農業集落排水事業ほか2事業39地区に対し事業に係る補助金等を交付した。

予 算 額	予算執行額
1,438,686千円	796,030千円

事 業 名	予 算 額 (千円)	予算執行額 (千円)	事 業 内 容
県営中山間地域総合整備事業	30,400	13,494	御宿町（御宿地区） 換地業務 一式ほか
農地環境整備事業	6,000	2,706	南房総市（大貫地区） 換地業務 一式ほか
農業集落排水事業	755,863	290,208	千葉市（野呂地区）ほか8地区 処理場 N=1箇所ほか
農業基盤整備促進事業	540,764	390,362	柏市（青山地区）ほか20地区 水門更新 N=1式ほか
農地耕作条件改善事業	132,659	99,260	千葉市（谷当地区）ほか8地区 農業用排水施設 L=302mほか

6 多面的機能支払交付金事業

農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農地や水路・農道などの地域資源を維持するために行う共同活動に対し助成した。

- ① 農地維持支払 45市町村 546活動組織 33,758 h a

予 算 額	予算執行額
1,395,518千円	1,381,149千円

- ② 資源向上支払（共同） 41市町村 404活動組織 25,551 h a
- ③ 資源向上支払（長寿命化） 30市町村 244活動組織 16,619 h a

7 農地統制調査事務事業

優良農地を確保して農業生産力を維持し、農業経営の安定を図るとともに、農業及び農業以外の目的のための土地利用関係を調整して農業上の土地利用がより良い環境で合理的に行われるよう、農地法第4条、第5条による農地等の権利移動及び転用許可の適正な処理を行った。

予 算 額	予算執行額
1,601千円	917千円

安全農業推進課

1 ジャンボタニシ防除対策事業

地域が一体となって行う、地域の実情に応じた防除対策を検討・選択・実践する取組に対し、助成した。

- ・実施地区 7市町村17地区
- ・取組面積 357 h a

予 算 額	予算執行額
11,840千円	10,503千円

2 環境保全型農業直接支援対策事業

有機農業や堆肥の施用、カバークropp（緑肥）など、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者等に対し交付金を交付した。

- ・交付実績 59件
- ・取組面積 449 h a（有機農業317 h a、堆肥の施用66 h a、カバークropp63 h a、炭の投入2 h a 他1 h a）

予 算 額	予算執行額
39,640千円	34,118千円

3 CO₂ゼロエミッション技術支援事業

脱炭素社会の実現のため、緑肥を栽培し地中にすき込むことにより、土壌への炭素貯留を促進し、化学農薬・肥料の使用量の削減に取り組む産地に対し、経費の一部を助成した。

- ・実施地区 1地区
- ・取組面積 49 h a

予 算 額	予算執行額
1,100千円	978千円

耕地課

1 県営用排水改良事業

水利用の安定と合理化を図り、また、畑作地帯の安定した農業経営を可能にするため、基幹農業用排水施設の整備を実施した。

- ・実施地区 北総中央Ⅰ期地区ほか30地区
- ・業務内容 用水路工ほか

予 算 額	予算執行額
3,003,893千円	1,867,901千円

2 経営体育成基盤整備事業

農業生産の向上と農業構造の改善のため、水田の基盤整備等を実施した。

- ・実施地区 武田川下流地区ほか18地区
- ・業務内容 水田整備工ほか

予 算 額	予算執行額
2,400,089千円	1,944,158千円

3 地域農業水利施設ストックマネジメント事業

農業用排水施設の機能保全対策を推進するための対策工事を実施した。

- ・実施地区 市和田地区ほか1地区
- ・業務内容 機場工ほか

予 算 額	予算執行額
289,725千円	237,225千円

4 農道整備事業

広域的な農業地域に、その地域の基幹となる作物の生産から加工・流通までの各段階を有機的、一体的に整備し、生産・集荷体制の組織化と管理体制の整備を促進するため、基幹農道の整備等を実施した。

- ・実施地区 安房Ⅱ期地区ほか8地区
- ・業務内容 道路工ほか

予 算 額	予算執行額
848,499千円	652,319千円

5 農地防災事業

自然災害による被害を未然に防止するために農業用施設の整備等を行った。

- ・実施地区 蓮沼Ⅱ期（Ⅱ工区）地区ほか22地区
- ・業務内容 排水路工ほか

予 算 額	予算執行額
3,592,953千円	2,068,152千円

6 土地改良施設維持管理適正化事業

土地改良区等の土地改良施設管理者の管理意識の高揚を図るとともに、施設の機能の保持と耐用年数の延長に資する整備補修、設備改善に対し助成した。

- ・実施地区 市原市加茂土地改良区ほか86地区

予 算 額	予算執行額
298,070千円	281,916千円

7 農業水利施設保全合理化事業

県及び土地改良区等が管理する農業用用水路等の農業水利施設の整備及び機能診断、機能保全計画の策定を行った。

- ・実施地区 五井市原地区ほか3地区

予 算 額	予算執行額
44,170千円	43,860千円

8 国営造成施設県管理事業

国営土地改良施設で千葉県に管理委託された施設のうち、公共・公益性が高い施設について、維持管理を行った。

- ・実施地区 大利根地区

予 算 額	予算執行額
27,692千円	26,581千円

9 基幹水利施設管理事業

国営土地改良施設で千葉県に管理委託された施設のうち、公共性が高く適正な管理が特に必要と認められる基幹水利施設の管理を行った。

- ・実施地区 両総地区ほか5地区
- ・業務内容 機場運転操作ほか

予 算 額	予算執行額
1,703,415千円	1,498,617千円

10 国営造成施設管理体制整備促進事業

農業水利施設の有する多面的機能の発揮等を目的とし、地域における適切な取組を促進する観点から、県が事業主体となり地域と連携し、土地改良区の管理体制の整備を行った。

- ・実施地区 印旛沼地区ほか1地区

予 算 額	予算執行額
39,146千円	33,348千円

11 農業水利施設物価高騰対策支援事業

原油価格高騰により電気料金が値上がりし、農業経営を圧迫していることから、千葉県土地改良事業団体連合会を通じて土地改良区等の団体へ、電力料金高騰分の一部について補助を行った。

予 算 額	予算執行額
213,000千円	123,645千円

12 県単土地改良基礎調査事業

県営土地改良事業を計画的に推進することを目的とし、事業計画の精度向上に資する調査・設計及び事業計画の策定作業等を実施した。

- ・実施調査 国営付帯基礎調査ほか9調査

予 算 額	予算執行額
100,000千円	82,555千円

13 県単用排水改良事業

水利用の安定と合理化を図り、また、畑作地帯の安定した農業経営を可能にするため、国営・県営用排水改良事業で実施した施設のうち、維持管理を必要とする施設に対し改修を行った。

- ・実施地区 小糸川地区
- ・業務内容 用水路補修工

予 算 額	予算執行額
26,000千円	19,151千円

14 県単農地防災事業

地すべり等の自然災害による被害を未然に防止するために農業用施設の整備、調査等を行った。

- ・実施地区 鋸南町地区ほか8地区
- ・業務内容 地すべり防止工ほか

予 算 額	予算執行額
314,347千円	180,825千円

15 震災対策農業水利施設整備事業

市町村が行う防災重点農業用ため池のハザードマップの作成等に係る間接補助を行った。

- ・実施地区 いすみ市地区ほか3地区
- ・業務内容 ハザードマップの作成

予 算 額	予算執行額
61,314千円	37,092千円

16 直轄事業負担金

国営事業及び水資源機構営事業、森林総合研究所営事業で実施した事業費に係る県及び地元負担分の償還を行った。

- ・実施地区 北総中央地区ほか8地区
- ・業務内容 国営かんがい排水事業ほか

予 算 額	予算執行額
3,087,357千円	3,067,606千円

償還対象事業名	予算額 (千円)	予算執行額 (千円)	根拠法令
国営かんがい排水事業 北総中央地区	556,277	556,276	土地改良法第90条第1項
国営かんがい排水事業 両総地区	291,550	291,549	同上
国営流域水質保全機能増進事業 印旛沼二期地区	416,726	416,726	同上
国営施設機能保全事業 大利根地区	37,392	37,392	同上
国営総合農地防災事業 手賀沼地区	216,294	216,290	同上
成田用水施設改築事業 成田用水地区	683,859	681,822	独立行政法人水資源機構 法第26条第1項
水資源機構営事業 印旛沼開発施設緊急改築	298,170	298,169	同上
森林総合研究所営 農用地総合整備事業 安房南部地区	567,089	567,088	国立研究開発法人森林 研究・整備機構法附則 第10条第3項
川治ダム	20,000	2,294	河川法第60条第1項

17 団体営農業用施設等災害復旧事業

市町村、土地改良区等が行う農業用施設等災害復旧事業に係る間接補助を行った。

予算額	予算執行額
1,149,389千円	0千円

- ・実施地区 大多喜町地区ほか5地区
- ・業務内容 農地・農業用施設の災害復旧工事

畜産課

1 肉豚生産安定対策事業

養豚経営の収益性が悪化した場合に、標準的販売価格と標準的生産費の差額の一定割合を補てんすることにより、養豚経営の安定を図る「肉豚経営安定交付金制度」において、農家が負担する積立金の一部に対して助成を行った。

予算額	予算執行額
44,388千円	43,226千円

2 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

高収益型畜産経営体制を構築するため、畜産クラスター協議会を設置し、地域の中心的経営体となる畜産農家の施設整備に対し助成を行った。

予 算 額	予算執行額
511,171千円	106,943千円

3 さわやか畜産総合展開事業

家畜排せつ物法の管理基準に沿った適正な管理と、家畜排せつ物の堆肥化による有効利用を促進するため、地域ごとの条件に応じて必要な家畜ふん尿適正処理施設等整備に対して助成した。

予 算 額	予算執行額
4,920千円	4,920千円

4 県産飼料自給体制整備事業

高騰する輸入飼料から国産飼料への転換を図り、粗飼料自給率の向上及び酪農経営の安定化を図るため、飼料生産に必要となる機械等の導入や二期作・二毛作の実施に対する支援を行った。

予 算 額	予算執行額
82,746千円	82,261千円

5 飼料自給率向上総合対策事業

飼料自給率の向上と飼料作物の生産性の向上を図るため、自給飼料増産技術の確立及び指導・普及啓発を実施した。

予 算 額	予算執行額
6,502千円	5,335千円

6 畜産飼料価格高騰緊急対策事業

ウクライナ情勢等に伴う輸入原料価格の高騰により、経営に著しい影響を受けている畜産農家に対し、配合飼料及び粗飼料の購入に要した経費に係る臨時的な支援金の給付を行った。

予 算 額	予算執行額
1,202,784千円	1,202,783千円

7 肉用牛ブランド力向上対策事業

和牛産地としての基盤強化のため、和牛の受精卵移植を活用した増頭、ゲノミック評価による優良な雌牛選抜等への取組に対する助成を行うとともに、生産者に対する育種価等の情報提供を行った。

予 算 額	予算執行額
11,683千円	10,931千円

8 スマート畜産推進事業

酪農及び和牛繁殖経営における作業時間の短縮や生産性の向上を図るため、スマート農業技術の導入に対する助成を行った。

予 算 額	予算執行額
7,515千円	6,915千円

9 県産畜産物販売力強化事業

県産豚肉は、「安心・安全な畜産物」の提供に向けて、生産工程の第三者認証の取得に向けた支援を行った。

県産牛肉は、キャッチコピーを効果的に利用することで知名度向上を図った。

県産牛乳は、おいしい牛乳をありがとう絵手紙コンクールの開催等により酪農への理解醸成や牛乳・乳製品の消費拡大を図った。

予 算 額	予算執行額
2,401千円	1,793千円

10 ちばの酪農生産性改善増産支援事業

収益性の高い酪農経営を実現するため、安定的な生乳生産に向け、低能力な乳牛の更新に係る費用を助成した。

予 算 額	予算執行額
8,100千円	8,100千円

11 豚熱ワクチン接種事業

関東近県の飼養豚及び野生イノシシで発生している豚熱の発生防止のため、県内すべての豚飼養農場を対象に豚熱ワクチンを接種した。

予 算 額	予算執行額
213,375千円	164,773千円

12 家畜伝染病発生危機特別対策事業

高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病が発生した場合に備え、防疫資材の備蓄や防疫演習を実施した。

予 算 額	予算執行額
1,065,307千円	55,343千円

森林課

1 林業総務事業

森林の保全のための開発許可及び巡視のほか、今後の森林の利用・整備に向けての現況把握や計画策定を促進するための事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
67,774千円	60,016千円

事業名	事業内容	予算執行額
林地利用調整事業	林地開発許可申請に係る指導、監督、処分等	32,047千円
森林計画推進事業	森林クラウドによる森林情報管理等、森林調査区の調査	27,969千円

2 林業振興事業

林業経営の近代化を図り、林業の生産性及び収益性並びに林業従事者の所得向上に資するため、林業担い手対策、

木材及び林産物の生産・流通に関する指導・支援、試験研究、普及指導活動の推進等の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
207,517千円	121,107千円

事業名	事業内容	予算執行額
林業普及指導事業	巡回指導、林業後継者育成、木育の推進等	6,982千円
森林・林業担い手確保・育成対策事業	林業労働力の育成、労働安全衛生対策、高性能林業機械等レンタル支援	35,600千円
ちばの木生産流通拡大総合対策事業	多くの県民の目に触れる施設等の内装の木質化や木材製品の導入推進等	16,015千円
森林技術開発事業	(一社) 全国林業改良普及協会等からの委託による技術開発研究、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所受託等	924千円
特用林産物放射性物質対策事業	特用林産物の放射性物質検査の実施	1,361千円
シイタケ等特用林産物生産の早期復興支援事業	原木購入費用の補助	18,193千円
森林整備広域連携モデル事業	複数の市町村が連携して森林整備に取り組む広域連携モデルの構築	7,577千円
森林資源デジタル管理推進対策事業	航空レーザ計測、森林資源情報解析	18,260千円
国内森林資源活用・木材産業国際競争力強化事業	燃油・資材高騰対策として、きのこの生産資材導入を支援	16,195千円

3 森林病虫害防除事業

松くい虫被害の拡大防止のための防除対策や病害を受けた森林の再生のための補助を実施した。

予 算 額	予算執行額
173,033千円	150,924千円

事業名	事業内容	予算執行額
森林病虫害防除事業	松くい虫薬剤防除292.1h a 松くい虫被害木駆除162.5m ³ 等	72,607千円
サンブスギ林総合対策事業	被害木伐倒13.44h a 植栽8.89h a 等	78,317千円

4 森林整備事業

森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮するため、適正な森林整備への補助や、優良な山行苗木の安定的供給を図る事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
451,920千円	279,994千円

事業名	事業内容	予算執行額
森林整備事業	森林吸収源対策間伐促進事業、造林・保育事業、竹林拡大防止事業、災害に強い森づくり事業等 計271.04ha	268,728千円
優良種苗確保事業	優良品種の種子採種、保存及び配布、育種施設の管理運営、マツノザイセンチュウ抵抗性品種の育成	11,266千円

5 林道事業

林業生産基盤の整備及び農山村地域の経済的・社会的発展を図るため、林道の開設及び改良を実施した。

予 算 額	予算執行額
307,673千円	132,127千円

事業名	事業内容	予算執行額
林道事業	林道改良 加勢線ほか 県営林道開設 戸面蔵玉支線	132,127千円

6 治山事業

水源の確保、災害の防止及び生活環境の保全を図るため、自然災害に起因する崩壊林地の復旧、山地荒廃の未然防止、海岸保安林の維持・造成、保安林の整備等を実施し、県土の保全に努めた。

予 算 額	予算執行額
1,968,421千円	1,006,545千円

事業名	事業内容	予算執行額
保安林管理事業	保安林の指定・解除調査、保安林巡視等	2,973千円
海岸県有林管理事業	海岸県有保安林の保育及び境界保全等の管理	29,607千円
山地治山事業	荒廃山地の復旧整備や山地災害防止のための予防工事及び既存の治山施設の維持管理 君津市ほか	586,054千円
保安林整備事業	海岸防災林の造成, 荒廃した保安林の改良及び保安林の維持管理 横芝光町ほか	387,911千円

7 災害復旧事業

過年及び現年に発生した災害による林道施設及び治山施設の復旧と機能回復を図った。

予 算 額	予算執行額
670,594千円	114,521千円

事業名	事業内容	予算執行額
林道施設災害復旧事業	林道の被災箇所の復旧 志組線ほか	66,068千円
治山施設災害復旧事業	被災した林地荒廃施設の復旧 市原市水沢ほか	48,453千円

8 緑化推進事業

県民が森林に親しみながら、森林や自然に対する知識や理解を深めるための各種事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
259,999千円	248,461千円

事業名	事業内容	予算執行額
県民の森事業	内浦山・清和・船橋・東庄・大多喜県民の森及び館山野鳥の森の管理委託、船橋県民の森用地確保のための市への補助、県民の森の維持補修工事等	222,927千円
緑化推進事業	県土の緑化推進のための補助等	14,426千円
森林・山村多面的機能発揮対策事業	地域住民らで構成する活動団が行う里山林の整備活動に対する支援	1,473千円
さとやま整備・活用促進事業	市民等による地域の森林整備活動等の支援及び里山や森林の利活用についての普及啓発	9,635千円

9 営林事業

県有林経営計画に基づき、7,360 h a の経営管理を行い林産物の生産、造林、保育管理等の諸事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
348,254千円	273,524千円

事業名	事業内容	予算執行額
県有林事業	素材843m ³ 等の生産、売払い等	223,600千円
県行造林事業	植栽、下刈、除・間伐等89.72 h a	49,924千円

水産課

1 東京湾調査・指導船運営事業

東京湾漁業の振興を図るため、東京湾調査・指導船「ふさなみ」を用いて、漁場環境・水産資源の調査、漁業操業の安全指導等を実施した。

予 算 額	予算執行額
26,676千円	24,065千円

2 東京湾漁業総合対策事業

東京湾漁業を、漁場の特性を生かした活力ある生産体制に育成するため、漁業協同組合等が実施する生産性の向上等を目的とした以下の事業に対して助成した。

予 算 額	予算執行額
76,385千円	74,962千円

事業名	交付先	事業費	補助金
流通改善施設整備事業	木更津市、館山市	27,125千円	13,562千円
近代化施設整備事業	木更津市、富津市	27,230千円	13,615千円
共同利用施設設置事業	木更津市	63,475千円	31,000千円
海底障害物除去事業	千葉県漁業協同組合連合会	17,732千円	8,866千円
海難予防施設設置事業	富津市	4,890千円	2,444千円
船溜、滞整備事業	市川市	10,600千円	5,075千円
千葉県産海苔販売促進支援事業	千葉県漁業協同組合連合会	979千円	400千円
計		152,031千円	74,962千円

3 東京湾漁業総合対策事業（製品規格対策促進事業）

乾ノリの品質向上と規格の統一により、ノリ共販事業の促進とノリ取引価格の安定を図るため、千葉県漁業協同組合連合会が行う乾ノリの自主検査費用に対して助成した。

予 算 額	予算執行額
17,993千円	17,993千円

4 漁業用資材価格高騰緊急支援事業

漁業用資材の価格高騰により厳しい状況にある漁業者の経営安定を図るため、価格高騰額に対する臨時的な支援金を給付した。

予 算 額	予算執行額
180,000千円	173,863千円

5 省コスト型漁業用機器導入支援事業

燃油・資材等の価格高騰により経営に影響を受けている漁業者に対し、省力・省コスト化に資する漁業用機器の導入を支援するため、国事業へ上乗せ補助を行った。

予 算 額	予算執行額
74,708千円	35,496千円

6 漁業取締船運営・漁業操業円滑化促進事業

漁業秩序の維持のため、海面に漁業取締船「ふさかぜ」、内水面に「わかとね」を配置し、取締を実施した。

予 算 額	予算執行額
33,409千円	23,971千円

また、漁業法に基づく漁業権の免許のほか、大臣許可漁業及び知事許可漁業等の指導並びに許認可事務を行うとともに、漁船漁業の円滑な操業を図るため、各種漁業の調整を行った。

7 漁業取締船「ふさかぜ」建造事業

漁業取締船「ふさかぜ」は竣工後20年以上が経過し、老朽化も進んでいることから、国の法改正も踏まえ、取締機能の強化や長寿命化を図った最新鋭の取締船を建造した。

予 算 額	予算執行額
626,975千円	626,632千円

8 水産物価格形成力強化総合対策事業

効果的な販売促進を図るため、イベントや県ホームページ「千葉さかな倶楽部」による県産水産物のPRを実施した。

予 算 額	予算執行額
6,918千円	4,856千円

水産物の安全・安心の確保を図るため、食品表示法に基づく巡回指導、産地市場における衛生管理の指導を実施した。

また、「千葉のさかな」全体のイメージアップを図るため、千葉ブランド水産物の認定、漁業協同組合等によるブランドづくりへの支援を行った。

さらに、消費拡大及び食育の推進を図るため、調理実習等へのおさかな普及員の派遣、食育リーフレットの作成・配布を実施した。

9 漁業の担い手確保・育成総合対策事業

本県の水産業を支える担い手を確保するため、漁業就業相談会や漁業技術研修等を実施したほか、市や漁業者グループ等が連携して行う新規就業者の定着促進に向けた取組を支援した。

予 算 額	予算執行額
95,892千円	4,326千円

また、次代を担う人材を育成するため、漁業士活動の支援、水産業青壮年女性活動実績発表大会の開催等を実施した。

10 農山漁村振興交付金事業

漁業協同組合等の収益の増加、地域の就業機会の増加及び定住人口の維持等を図るため、ダイビング施設及び地元水産物直売所の整備に要する経費の一部を助成した。

予 算 額	予算執行額
7,182千円	5,493千円

11 スマート水産業推進事業

スマート水産業による水産資源の持続的利用、所得の向上を実現するため、スマート機器の実証試験の実施や漁業協同組合の水揚げデータを収集する漁獲報告システムの保守管理を行った。

予 算 額	予算執行額
18,897千円	17,918千円

また、令和5年度から運用を開始した漁場探索に役立つ海況予測情報を提供するシステムや定置網に被害をもたらす急潮の発生を予測するシステムの予測精度や利便性の向上のため、利用者からの意見等を参考に改良を行った。

12 浜の活力再生プラン推進支援事業

漁業者の所得向上を図るため、鮮度保持施設の整備（地域の水揚物の鮮度向上）及びノリ共同加工施設の整備（生産コストの削減及び生産性の向上）に要する経費の一部を助成した。

また、ヒジキの加工施設を統合し、処理能力の向上及び効率的な生産体制の構築を図るため、加工施設の整備に要する経費の一部を助成した。

予 算 額	予算執行額
421,370千円	407,980千円

13 拠点漁港機能強化事業

流通拠点漁港の市場機能の強化を図るため、高度衛生管理型の荷さばき施設の整備に要する経費の一部を助成した。

予 算 額	予算執行額
257,717千円	257,133千円

14 生産拠点漁港市場機能強化事業

消費者へ高品質で安全な水産物を供給するため、衛生管理を強化した荷さばき施設の整備に要する経費の一部を助成した。

予 算 額	予算執行額
333,040千円	326,999千円

15 水産情報通信センター運営事業

漁船漁業の安全確保と操業の効率化を図るため、民営漁業無線局と連携して漁業無線業務にあたるとともに、人工衛星からの情報を含む漁海況情報及び市場情報を収集・解析して、最新漁業情報を漁業者に提供した。

予 算 額	予算執行額
37,090千円	30,678千円

16 漁船漁業操業支援事業

漁業調査船「千葉丸」及び「ふさみ丸」を運航し、海洋調査、漁場調査及び各種漁業試験を実施した。

予 算 額	予算執行額
149,871千円	139,864千円

17 水産総合研究センター維持運営費・研究事業

水産技術の向上及び本県水産業の振興に寄与するため、試験調査や技術の普及指導を実施した。

予 算 額	予算執行額
130,421千円	108,415千円

18 水産総合研究センター再編整備事業

水産総合研究センターの機能強化を図るため、東京湾漁業研究所の新車庫棟の新築工事及び新本館棟の改修工事等を実施した。

予 算 額	予算執行額
133,678千円	10,077千円

漁業資源課

1 漁場環境の保全事業

油流出等による漁業被害の防止及び漁場環境の保全・回復を図るため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
5,917千円	5,095千円

(1) のり漁場油濁監視事業

東京湾のり漁場の油濁事故を未然に防止するため、関係漁業協同組合が実施する船舶によるのり漁場油濁監視業務に対し助成した。

(2) 漁場環境保全推進事業

河川内に留まっている流竹木が大雨時の出水により海に流され、ノリ養殖業、漁船の航行等に大きな被害を与えていることから、小櫃川の流竹木の回収・処理を行った。

2 東京湾漁場環境改善事業

水産有用種への貧酸素水塊の影響を明らかにするため、棚状・マウンド状の浅海域が持つ貧酸素水塊からの避難所等機能について調査した。

予 算 額	予算執行額
3,053千円	2,289千円

また、東京湾内の底質（粒度組成、強熱減量など）を分析し、底質が底生性の水産生物に与える影響をまとめた基礎資料を作成した。

3 水産多面的機能発揮対策事業

環境・生態系の維持・回復や安心して活動できる海域の確保など、水産業や漁村の有する多面的機能の発揮のため、次の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
33,471千円	31,881千円

(1) 干潟保全活動支援事業

東京湾の二枚貝資源の維持・増大に向け、市川市、船橋市、木更津市及び富津市の6漁業協同組合の17活動グループが行うウミグモ等有害生物の駆除活動等に対し助成した。

(2) 藻場保全活動支援事業

アワビやサザエ等の磯根資源の増大に向け、鋸南町、南房総市、館山市、勝浦市及び御宿町の7漁業協同組合の7活動グループが行う藻場の維持・保全を目的としたウニ等食害生物の除去や母藻の設置活動等に対し助成した。

(3) 内水面環境保全活動支援事業

長生村及び白子町の2漁業協同組合の2活動グループが行う河川環境の維持・保全を目的として実施する清掃活動等に対し助成した。

4 栽培漁業総合推進事業

沿岸漁業における有用水産資源の維持増大を図るため、
(公財)千葉県水産振興公社が実施するクルマエビの種苗

予 算 額	予算執行額
31,507千円	31,324千円

生産、マダイ・ヒラメ中間育成等に対し助成するとともに、栽培漁業の新規対象種であるトラフグの
標識放流等を実施した。

5 アワビ増産総合対策事業

アワビ資源の維持増大を図るため、南房総市地先におけ
るアワビ輪採漁場の整備に対し助成した。

予 算 額	予算執行額
126,677千円	125,524千円

また、水産総合研究センター施設及びアワビ・ヒラメ中間育成施設において、アワビ種苗の生産・
育成を行い、県内関係漁業協同組合に配付した。

6 磯焼け緊急対策事業

磯焼けが発生している内房海域で、藻場の回復を図るた
め、磯焼けの原因を推定するとともに、漁業者が実施する
取組に必要な資材等に対して支援した。

予 算 額	予算執行額
7,905千円	6,897千円

また、磯焼けの兆候がみられる外房海域で、磯焼けの未然防止に取り組むため、食害生物の駆除
及びモニタリングを実施した。

さらには、各海域の特性にあった藻場回復手法を実証するため、食害生物の駆除等を集中的に実施
した2地区において、令和5年度に追跡調査を実施した。

7 ノリ養殖業総合対策事業

ノリ養殖の大きな課題となっている食害への対策とし
て、効果が期待される省力型食害防除ネット等の普及にと
り組んだ。

予 算 額	予算執行額
12,344千円	11,149千円

また、増加傾向にある食害魚の漁獲を推進するため、効果的な漁獲方法の開発や食害魚の行動把握
に取り組むとともに、漁業者が積極的に漁獲する取組に対して支援を行った。

さらには、高付加価値化が見込める青混ぜノリの増産・高品質化を図るため、アオノリの養殖技術
開発に取り組むとともに、生産者に対するアオノリの種の元となる母藻の供給体制の整備を行った。

8 アサリ漁業総合対策事業

アサリ稚貝の冬季減耗の対策として、囲い網を用いた保
護の取組に対して支援した。

予 算 額	予算執行額
4,724千円	4,604千円

また、ウミグモの発生状況モニタリングやウミグモ駆除などの漁場管理に係る指導のほか、アサリ
の資源動向を把握するための生息密度調査等に取り組んだ。

9 東京湾貝類資源増産対策事業

東京内湾貝類の資源維持・増大を図るため、漁業協同組合が行うミルクイの種苗生産試験やカキの養殖試験の取組に対して支援するとともに、ハマグリ¹の種苗生産技術の開発を行った。

予 算 額	予算執行額
3,562千円	3,443千円

10 農林水産物等放射性物質対策事業

県産水産物の放射性物質モニタリング検査を実施して結果を公表し、水産物の安全・安心を確保するとともに、出荷が制限されている内水面魚種について、年齢や季節と放射性物質濃度の関係を調査した。

予 算 額	予算執行額
3,082千円	2,864千円

11 資源管理型漁業推進総合対策事業

資源の維持増大に資する有効な資源管理方策を検討するため、東京湾漁業の重要魚種であるマアナゴ、マコガレイ、ホンビノスの発生状況や分布等の調査のほか、本県沿岸重要資源であるキンメダイやチョウセンハマグリなど18魚種の資源評価を行った。

予 算 額	予算執行額
5,026千円	4,509千円

12 海域環境に配慮した漁場の整備事業

水産資源の増大、漁場の生産力の回復及び漁業経営の安定向上を図るため、外房地区外川工区において、魚礁設置完了後の効果調査を行った。

また、内湾地区千葉北部工区・富津工区において、漁場の試験覆砂等を実施し増産効果のモニタリング調査を行った。

予 算 額	予算執行額
28,955千円	8,394千円

13 種苗生産研究所運営費

マダイ、ヒラメ、マコガレイ及びアユの種苗生産を実施するとともに、種苗生産研究所の管理運営を行った。

予 算 額	予算執行額
192,880千円	180,354千円

種苗生産実績

マダイ(38mm)	1,350千尾
ヒラメ(42mm)	1,200千尾
マコガレイ(19mm)	1,270千尾
アユ(61mm)	187千尾

14 水産総合研究センター再編整備事業

水産総合研究センターの機能強化を図るため、種苗生産施設の基本設計、実施設計等を実施した。

予 算 額	予算執行額
177,717千円	8,100千円

15 内水面漁業振興・水産研究事業

内水面漁場における水産資源の維持増大のため、主要漁場における各種調査や、種苗放流事業等を実施するとともに、養殖業振興のため、卵の配布や養殖指導、魚病診断等を実施した。

予 算 額	予算執行額
16,750千円	14,272千円

(1) 内水面資源造成・漁場環境保全調整事業

漁場環境の把握のため、魚介類の生息状況及び生息環境について調査を実施した。

また、内水面の重要な水産資源である、アユの優良種苗の作出技術の開発を行うとともに、漁業協同組合等が実施するアユ、フナ、ウナギ等の種苗放流及びカワウ等による漁業被害の防除対策に対し助成した。

(2) 内水面漁業を活用した地域振興支援事業

内水面養殖業の振興及び生産の安定のため、種卵の配付のほか、養殖技術の指導普及並びに魚病診断及び対策指導を行った。

また、内水面水産研究所において、県民に対し内水面漁業に関する情報提供や環境保全技術の普及指導を行った。

漁港課

1 県営漁港建設事業

令和5年度の県営漁港建設事業においては、国庫補助事業で4,513,231千円、県単独事業で288,116千円の事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
8,029,440千円	4,801,347千円

区分	事業名	漁港名	整備内容等	執行額
国庫補助事業	拠点漁港整備事業	銚子漁港ほか1漁港	導流堤・防波堤等	2,939,404千円
	水産基盤ストックマネジメント事業	銚子漁港ほか12漁港	機能保全・機能強化工事等	1,420,666千円
	漁港漁村基盤整備事業	外川漁港ほか1漁港	海岸保全施設整備等	153,161千円

区分	事業名	漁港名	整備内容等	執行額
県単独事業	漁港整備事業	銚子漁港ほか15漁港	維持補修工事等	108,384千円
	特定漁港浚渫事業	銚子漁港ほか5漁港	航路・泊地浚渫等	36,106千円
	海岸保全施設整備事業	太東漁港ほか1漁港	海岸保全施設改修等	6,232千円
	漁港建設調査事業	銚子漁港ほか6漁港	事業計画作成等	77,723千円
	県単漁港災害復旧事業	天津漁港ほか7漁港	応急補修等	59,671千円

(1) 拠点漁港整備事業

水産物の流通拠点の整備を図るために、銚子漁港ほか1漁港で漁港施設の整備を実施した。

(2) 水産基盤ストックマネジメント事業（機能保全・機能強化・機能増進）

ア 機能保全事業

老朽化の進行した施設が増加していることから、更新コストの平準化・縮減を行いつつ、施設の長寿命化を図るため、機能保全計画に基づき、銚子漁港ほか12漁港で保全工事を実施した。

イ 機能強化事業

漁港における地震・高潮・津波・高波に対応した防波堤や岸壁等の嵩上げ改良等、漁港施設の機能強化に資する整備として、鴨川漁港において橋梁の耐震補強工事を実施した。

ウ 機能増進事業

漁港の安全性向上と就労環境改善に資する整備として、銚子漁港ほか1漁港の岸壁附属施設補修を実施した。

(3) 漁港漁村基盤整備事業

水産物の安定供給と漁村地域の活性化に資する施設整備を行うほか、防潮堤等の海岸保全施設の整備を行う。

令和5年度は、東日本大震災により津波被害を受けた片貝漁港及び外川漁港で海岸保全施設整備を実施した。

2 市町村営漁港建設事業

市町村営漁港の整備を促進するため、市町村の漁港建設事業に対して補助金を交付した。

予 算 額	予算執行額
140,844千円	79,831千円

事業名	執行額	摘 要
市町村営漁港建設事業	79,831千円	鴨川市ほか4市町

3 漁港災害復旧事業

富崎漁港において、公共災害復旧事業で採択となった復旧事業を実施した。

予 算 額	予算執行額
112,312千円	48,312千円

県土整備部

県土整備政策課

1 災害復旧事業

令和5年発生災害(台風13号等)により被災した河川等の災害復旧工事のほか、令和4年発生災害(地すべり)や令和3年発生災害(梅雨前線豪雨)により被災した河川等の災害復旧工事を実施した。

予 算 額	予算執行額
3,568,401千円	465,991千円

区分	事業名	箇所数	予算執行額
補助事業	公共河川海岸災害復旧事業(5年災)	16箇所	327,611千円
	公共河川海岸災害復旧事業(4年災)	1箇所	120,310千円
	公共河川海岸災害復旧事業(3年災)	2箇所	18,070千円
合 計		19箇所	465,991千円

技術管理課

1 建設副産物対策

資源の有効活用、環境負荷の低減を図り循環型社会の構築を目指すため、建設発生土等の建設副産物の発生抑制、再利用の促進及び適正処理の推進に係る施策を実施した。

予 算 額	予算執行額
10,348千円	8,191千円

(1) 建設副産物実態調査の実施

建設副産物の再資源化・縮減の状況のほか、再生資材の利用状況について把握するため、県内の建設副産物に係る実態調査を実施した。

(2) 建設リサイクル推進計画の推進

「建設リサイクル推進計画2020」の目標達成に向け、建設事業の計画、設計・積算、工事施工の段階において、建設副産物の発生抑制、再資源化・縮減、再生資材の利用に努め、建設リサイクルの推進を図った。

(3) 建設発生土情報交換システムの運用

建設発生土の工事間利用を円滑に推進するため、公共事業発注者が工事発注者、工期、土質、土量等の情報を共有できる当該システムを運用して建設発生土の工事間利用を行った。

(4) スtockヤードの管理運営

公共工事で発生する建設発生土の工事間利用を促進するため、一時仮置きすることで工事間の土砂の搬出入時期等を調整することができるStockヤードの管理運営を行った。

建設・不動産業課

1 建設業に対する指導監督

(1) 建設業の許可

建設工事の適正な施工を確保し、発注者を保護するとともに、建設業の健全な発達を促進するため、建設業法の厳正な運用に努めた。

予 算 額	予算執行額
101,650千円	86,906千円

建設業許可状況（5年度）

新規許可件数	追加許可件数	更新許可件数	取下件数	拒否件数	年度末許可業者数
743件	333件	1,937件	4件	1件	18,642

建設業法に基づく監督処分（5年度）

処分件数	指 示	営業停止	許可取消
3件	2件	1件	0件

(2) 公共工事等の適正な施工の確保

公共工事の入札に参加する建設業者について、建設業法に基づく経営事項審査を行った。

また、県の建設工事等の入札に参加する者について、資格の審査を行い、資格者名簿を作成した。

経営事項審査（5年度）

申請業者数	申請業種数
3,266	11,042

入札参加資格者数（5年度末）

建設業者数	コンサルタント等
4,148	1,457

2 宅地建物取引業に対する指導監督

宅地及び建物の取引の公正を確保し、その円滑な流通を推進するため、宅地建物取引業者に対する指導を強化し、関係法令の知識の向上及び制度の厳正な運用に努める一方、悪質な業者に対しては、監督処分の実施により一般消費者の保護に努めた。

予 算 額	予算執行額
30,962千円	29,341千円

宅地建物取引業者免許状況（5年度）

免許件数	取下件数	拒否件数	年度末免許業者数
1,126件	6件	3件	4,607

宅地建物取引業法に基づく監督処分（5年度）

処分件数	宅地建物取引業者			宅地建物取引士		
	指 示	業務停止	免許取消	指 示	事務の禁止	登録消除
13件	0件	0件	10件	0件	0件	3件

用地課

1 適正かつ円滑な用地事務の推進

（1）用地担当職員に対する指導

県土整備部各出先機関の用地担当職員に対し、用地事務に関する専門的知識・技能を修得させ、適正かつ円滑に遂行できるよう、研修を行った。また、随時相談を受け対応した。

予 算 額	予算執行額
176,563千円	164,687千円

（2）用地取得難航案件対策

用地取得が難航している案件について、土地収用制度の活用に向けた調整や11事業に対して用地機動班を配置した。

（3）登記事務の指導等について

用地買収等により行うこととなる登記嘱託事務に関する指導を行った。（現在、登記嘱託関係事務は、職員又は登記事務のための会計年度任用職員が行うほか、（公社）千葉県公共嘱託登記司法書士協会及び（公社）千葉県公共嘱託登記土地家屋調査士協会に委託して行っている。）

（4）国有・県有土地（用地課所掌分）の財産管理

国土交通省所管の公共用財産並びに廃道・廃川敷等の県有財産の適正な管理及び処分を行った。

2 国土利用計画の推進

（1）土地取引の規制

国土利用計画法第23条の規定による届出を処理し、適正かつ合理的な土地利用の確保を図った。

予 算 額	予算執行額
75,951千円	73,508千円

（2）地価調査

国が行う地価公示制度と相互に補完的な関係にあり、一般の土地の取引価格の指標とするとともに公共事業用地の買収価格の算定に用いられるなど適正な地価の形成に寄与することを目的として、国土利用計画法施行令第9条の規定により県内875地点（住宅地699、商業地135、その他41）について、令和5年7月1日現在の価格を調査し、同年9月20日に公表した。

3 地籍調査事業

国土調査法に基づき、国土の開発及び保全並びに土地利用の高度化に資するとともに、地籍の明確化を図るため、千葉市ほか20市町村で実施した調査事業に対し補助金を交付した。

予 算 額	予算執行額
1,246,521千円	981,765千円

道路計画課

1 道路橋りょう整備事業

県内外との交流・連携を強化し、県内を広く活性化させていくため、広域的な幹線道路ネットワークの充実・強化を推進した。

予 算 額	予算執行額
10,073,185千円	9,702,479千円

(1) 道路直轄事業負担金

道路法第50条などの規定に基づく、県内一般国道指定区間の国土交通省直轄事業に係る県の負担金であり、首都圏中央連絡自動車道、北千葉道路及び一般国道357号等の新設並びに改築等の事業が実施された。

(2) 幹線道路網整備事業

湾岸地域などの慢性的な交通渋滞や房総地域等の観光時における交通渋滞を緩和するとともに、地域の活性化や県民生活の利便性向上を図るため、地域高規格道路等に関する調査・計画等を実施した。

(3) 東京湾アクアライン料金割引事業

高速道路ネットワークの有効活用や首都圏における交流・連携の強化等の地域経済の活性化を図るため、E T C車を対象に普通車800円など、全日・全車種について東京湾アクアライン通行料金の引下げを継続した。また、特定の時間帯に集中する交通の分散を図ることを目的に、令和5年7月22日から、土日・祝日の上り線において、E T C時間帯別料金の社会実験を開始した。

道路整備課

1 道路橋りょう整備事業

県内地域相互の交流・連携を強化する地域高規格道路等の整備を実施した。

予 算 額	予算執行額
36,860,239千円	26,246,602千円

また、県民の利便性向上、安全で安心した日常生活の確保を図り、経済的にも文化的にも自立した魅力ある千葉県づくりを目指すため、県管理国道及び県道等について、整備を実施した。

区 分	事 業 名	概 要	執 行 額
国庫補助 交付金事業	道路改築事業	32路線48箇所	16,721,736千円
県単独事業	道路改築事業	90路線141箇所	9,445,445千円
	そ の 他	道路受託事業	79,421千円
計			9,524,866千円
合 計			26,246,602千円

地域産業の活性化や湾岸地域の慢性的な交通渋滞の緩和を図るインターチェンジへのアクセス道路の整備を進めるとともに、首都圏中央連絡自動車道の効果を県内各地に波及させるアクセス道路の整備や房総地域等の観光道路ネットワークの向上・充実を図る道路整備などを実施した。

国庫補助・交付金事業については、国道で464号北千葉道路など9路線22箇所、県道で越谷流山線（流山市）など23路線26箇所を実施した。

県単独事業については、成東酒々井線（八街市）など90路線141箇所の道路改築事業を実施した。

2 街路整備事業

(1) 街路事業

都市における安全・円滑な交通の確保及び防災機能、

予 算 額	予算執行額
12,988,591千円	10,411,370千円

都市施設のための空間機能を備えた豊かな市街地の形成を図るため、19路線20箇所の道路改築、3路線3箇所の単独立体交差（踏切除却）事業を実施した。

(2) 連続立体交差事業

市街地における鉄道と道路の平面交差は、踏切遮断による交通渋滞、踏切事故の発生など、鉄道による地域の分断が、大きな問題となっている。

これらの状況を解消し、市街地の一体化と道路交通の円滑化を図るため、新京成線（鎌ヶ谷市）及び東武野田線（野田市）で、鉄道の連続立体交差事業を実施した。

道路環境課

1 道路橋りょう整備事業

高齢者、障害のある人、子供たちなど全ての人が安全で安心して生活できる地域の実現を支援する道路整備が求められている。

予 算 額	予算執行額
37,407,957千円	25,806,877千円

これに対処するため、既設舗装道路の補修、交通安全施設の整備等の事業を積極的に推進し、道路の維持管理に万全を期した。

事業名	事業概要	執行額
舗装道路修繕事業	<p>県管理の舗装道路について、これを常時良好な状態に維持し、併せて道路の老朽化を防止するため修繕事業を実施した。</p> <p>交付金 打替 延長 0.6 k m 被覆 延長 1.5 k m 単独 打替 延長 2.5 k m 被覆 延長 79.6 k m</p>	7,786,142千円
排水整備事業	<p>路面排水に必要な側溝・横断管・流末処理等の施設の整備を実施した。</p> <p>側溝整備 2.0 k m</p>	619,657千円
橋りょう修繕事業	<p>県管理の橋りょうを常時良好な状態に維持し、併せて老朽化を防止するため補修を実施した。なお、従来の事後的な修繕から予防保全型管理を行い、維持更新用費用の縮減を図った。また、橋梁の耐震補強を実施した。</p> <p>補助金 123橋 単独 114橋</p>	4,193,509千円
道路災害防除事業	<p>道路における落石や土砂崩壊などの道路災害を未然に防止するための対策を実施した。</p> <p>交付金等 23箇所 単独 13箇所</p>	1,629,306千円
交通安全対策事業	<p>交通環境を改善し交通事故の防止及び交通の円滑化を図るため、歩行者の安全確保を重点に歩道等の整備を実施した。</p> <p>交付金 歩道 1.4 k m 単独 歩道 0.1 k m</p>	3,506,724千円

河川整備課

1 河川事業

社会経済活動の発展や土地利用の変化に対応した治水対策を推進するため、河川については、河道拡幅工、

予算額	予算執行額
38,776,450千円	20,896,081千円

護岸工等の河川改修を行い、ダムについては、維持管理を実施するとともに必要な施設・設備の更新

等を行った。

主要な事業として、広域河川改修事業は一宮川ほか20河川で、河川激甚災害対策特別緊急事業は一宮川で護岸工等を行った。

河川総合開発事業では亀山ダムほか1箇所では警報局舎改良工等を行った。

また、県単独事業として、河川改良事業、河川構造物緊急改築事業等で護岸工等を行い、県単河川総合開発事業で管理ダムの電気機械設備点検や整備等の管理業務を行った。

事業名	河川名	工事箇所	工事内容	執行額
総合流域防災事業	真亀川ほか6河川	東金市ほか	護岸工・橋梁工等	665,728千円
広域河川改修事業	一宮川ほか20河川	茂原市ほか	護岸工・測量設計・調節池掘削工等	5,262,600千円
住宅市街地盤整備事業	飯山満川ほか1河川	船橋市ほか	調節池掘削工等	178,141千円
低地対策河川事業	旧江戸川ほか1河川	市川市ほか	地盤改良・護岸工等	809,240千円
総合治水対策特定河川事業	大柏川ほか3河川	鎌ヶ谷市ほか	地下水対策工・用地補償等	159,799千円
河川総合開発事業	亀山ダムほか1箇所	君津市ほか	警報局舎改良工等	812,719千円
河川激甚災害対策特別緊急事業	一宮川	茂原市ほか	護岸工・河道掘削等	3,658,208千円
浸水対策重点地域緊急事業	一宮川ほか2河川	長柄町ほか	調査・設計・用地補償等	821,430千円
県単河川総合開発事業（消費）	亀山ダムほか4箇所	君津市ほか	電気機械設備点検等	632,721千円
河川改良事業	小糸川ほか51河川	君津市ほか	護岸工・築堤工等	2,447,286千円
河川構造物緊急改築事業	夷隅川ほか5河川	いすみ市ほか	護岸改築工等	122,744千円

2 土砂災害防止事業

土砂災害から県土を保全し、人命保護を図るため砂防関係施設の整備を実施した。

予算額	予算執行額
4,456,370千円	2,113,344千円

主要な事業として、土砂災害防止事業（砂防・地すべり・急傾斜）は、砂防事業では、大川ほか4箇所では護岸工等を行い、地すべり対策事業は、平群ほか9箇所では横ボーリング工等を行い、急傾斜地崩壊対策事業は、天津ほか7箇所では擁壁工等を行った。

災害関連緊急地すべり対策事業では、外野で簡易吹付法砕工を行った。

また、県単独事業として、緊急急傾斜地崩壊対策事業、砂防整備事業、砂防調査事業等で吹付法砕工、法面補修工、地形測量等を行った。

事業名	箇所名	工事箇所	工事内容	執行額
土砂災害防止事業	天津ほか22箇所	鴨川市ほか	擁壁工等	1,016,349千円
災害関連緊急地すべり対策事業	外野	南房総市	簡易吹付砕工	188,635千円
砂防整備事業	興津ほか56箇所	栄町ほか	法面補修工等	463,538千円
砂防調査事業	大金沢町ほか10箇所	千葉市ほか	地形測量等	86,435千円
緊急急傾斜地崩壊対策事業	仁戸名町ほか9箇所	千葉市ほか	吹付法砕工等	157,247千円

3 海岸事業

本県の海岸線約530 kmのうち、約180 kmに及ぶ国土交通省水管理・国土保全局所管海岸保全区域において、海岸保全施設の整備等を実施した。

予算額	予算執行額
3,637,782千円	1,818,290千円

主要な事業として、海岸基盤整備事業により市川海岸ほか6箇所で、護岸工等を行った。

また、県単独事業として、海岸整備事業で護岸工、対策検討等を行った。

事業名	海岸名	工事箇所	工事内容	執行額
海岸基盤整備事業	市川海岸ほか6箇所	市川市ほか	護岸工等	925,373千円
海岸整備事業	浦安海岸ほか20箇所	浦安市ほか	護岸工・対策検討等	892,907千円

河川環境課

1 河川管理事業

一級河川（指定区間）及び二級河川について、排水機場・水門等の管理運転業務、プレジャーボート等の不法係留対策等の維持管理業務を行った。

予算額	予算執行額
836,057千円	779,216千円

2 海岸管理事業

海岸保全区域及び一般公共海岸区域の排水機場・水門等の管理運転業務、漂着物の回収・処分及び海岸施設の補修等の維持管理業務を行った。

予算額	予算執行額
187,163千円	171,835千円

3 河川維持事業

河川の治水機能を維持するため、河川堤防・護岸等の補修や河道内に堆積した土砂の撤去等を実施した。

予 算 額	予算執行額
6,775,390千円	4,211,321千円

4 河川管理施設機能確保事業

排水機場などの河川管理施設の延命化のため、河川管理施設長寿命化計画に基づき、18施設において、点検・更新等を実施した。

予 算 額	予算執行額
2,150,551千円	633,001千円

5 河川等環境整備事業

良好な河川環境の保全等のため、補助事業では、手賀沼・印旛沼で植生帯整備等を実施した。

予 算 額	予算執行額
1,099,320千円	1,019,383千円

県単独事業では、海老川等において、県単河川環境整備事業により除草、植物群落の駆除等を実施した。

また、養老川ほか3河川において、水辺環境整備事業により管理用通路等の整備を実施した。

事業名	河川名	工事箇所	工事内容	執行額
統合河川環境整備事業	手賀沼・印旛沼	佐倉市ほか	植生帯整備等	264,661千円
県単河川環境整備事業	海老川ほか県管理河川	船橋市ほか	除草、植物群落の駆除等	708,538千円
水辺環境整備事業	養老川ほか3河川	市原市ほか	管理用通路工等	46,184千円

6 土砂災害警戒対策事業

土砂災害から県民の命と暮らしを守るため、土砂災害警戒区域の指定に向けた基礎調査や、土砂災害警戒情報システムの改修を行った。

予 算 額	予算執行額
3,926,109千円	1,279,853千円

7 水防事業

水防活動を支援するため、県内の降雨や河川水位の状況を迅速かつ的確に把握するための水防情報システムの整備や排水機場、水門等の整備補修を行った。

予 算 額	予算執行額
1,718,844千円	721,257千円

港湾課

1 港湾管理事業

国際拠点港湾である千葉港、重要港湾である木更津港並びに地方港湾の上総湊港、浜金谷港、館山港、興津港及び名洗港の7港において、港湾施設の適正な管理・運営に努めた。

予 算 額	予算執行額
1,453,939千円	1,371,456千円

2 港湾維持事業

港湾を良好な状態に維持するため、千葉港、木更津港等において、航路・泊地の維持浚渫工事等を実施した。

予 算 額	予算執行額
785,860千円	748,431千円

3 港湾整備事業

令和5年度の港湾整備事業においては、国庫補助・交付金事業で3,067,709千円、県単独事業で1,103,375千円の事業を実施した。また、直轄事業負担金として1,252,556千円を執行した。

予 算 額	予算執行額
7,680,980千円	5,423,640千円

区分	事業名	概要	執行額
国庫補助・交付金事業	老朽化対策緊急事業	海岸保全施設の機能強化	5,000千円
	統合補助事業	港湾施設の補修	111,600千円
	高潮対策事業	災害対策施設の整備	242,318千円
	改修事業	港湾施設の改修	894,448千円
	大規模海岸保全施設改良事業	海岸保全施設の改修	227,175千円
	予防保全事業	既存港湾施設の改修	248,685千円
	港湾メンテナンス事業	既存施設延命化の整備	489,144千円
	海岸メンテナンス事業	既存施設延命化の整備	174,497千円
	地方創生港整備推進交付金事業	港湾施設の整備	636,840千円
	カーボンニュートラルポート形成計画策定事業	CNP形成計画の策定	38,002千円
	計		3,067,709千円
県単独事業	港湾調査事業（海岸）	海岸における各種調査の実施	74,787千円
	港湾調査事業（港湾）	港湾における各種調査の実施	135,991千円
	港湾海岸整備事業	海岸施設の整備	390,469千円
	港湾整備事業	港湾施設の整備	472,875千円
	うるおいのある海岸づくり事業	親水性のある海岸施設の整備	29,253千円
	計		1,103,375千円
直轄事業負担金		国直轄事業に対する負担金	1,252,556千円
合 計		5,423,640千円	

4 特別会計港湾整備事業

(1) 港湾施設運営事業

千葉港、木更津港、館山港及び浜金谷港において、
港湾施設の適正な管理・運営に努めた。

予算額	予算執行額
4,211,426千円	3,628,060千円

(2) 港湾施設整備事業

千葉港及び浜金谷港において、港湾機能の充実を図るため、埠頭用地の舗装を実施した。
また、千葉港において上屋の改修、荷役機械の更新を実施した。

営繕課

1 営繕事業

知事部局及び教育委員会から依頼された新規公共建築物等の設計・監督等を行った。

令和5年度における執行状況は、次のとおりである。

予 算 額	予算執行額
16,559千円	15,637千円

(1) 工事の執行状況

(単位：千円)

工事種別 部局別	建築工事		電気設備工事		機械設備工事		その他の工事		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
知事部局	10	10,959,454	3	3,067,900	4	4,212,450	5	858,927	22	19,098,731
	6	10,790,340	3	3,067,900	4	4,212,450	5	858,927	18	18,929,617
教育委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
警察本部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	10	10,959,454	3	3,067,900	4	4,212,450	5	858,927	22	19,098,731
	6	10,790,340	3	3,067,900	4	4,212,450	5	858,927	18	18,929,617

※表中の下段の数値は、営繕課発注分を内書き

(2) 設計・監督等の委託状況

(単位：千円)

委託区分 部局別	設 計		監 理		調 査		そ の 他		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
知事部局	15	558,855	1	238,700	3	35,647	—	—	19	833,202
	11	529,210	1	238,700	3	35,647	—	—	15	803,557
教育委員会	1	638,000	—	—	—	—	—	—	1	638,000
	1	638,000	—	—	—	—	—	—	1	638,000
警察本部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	16	1,196,855	1	238,700	3	35,647	—	—	20	1,471,202
	12	1,167,210	1	238,700	3	35,647	—	—	16	1,441,557

※表中の下段の数値は、営繕課発注分を内書き

施設改修課

1 施設改修事業

知事部局及び病院局から依頼された改修工事等に係る設計・監督等を行った。

予 算 額	予算執行額
8,826千円	6,132千円

令和5年度における執行状況は、次のとおりである。

(1) 工事の執行状況

(単位：千円)

工事種別 部局別	建築工事		電気設備工事		機械設備工事		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
知事部局	9	1,103,982	9	890,872	7	428,153	25	2,423,007
	5	852,566	9	890,872	7	428,153	21	2,171,591
病院局	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	9	1,103,982	9	890,872	7	428,153	25	2,423,007
	5	852,566	9	890,872	7	428,153	21	2,171,591

※表中の下段の数値は、施設改修課発注分を内書き

(2) 設計及び耐震診断等の委託状況

(単位：千円)

委託区分 部局別	設 計		監 理		調 査		耐震診断・ 判定委託		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
知事部局	32	186,248	—	—	—	—	1	9,900	33	196,148
	21	143,392	—	—	—	—	—	—	21	143,392
病院局	1	3,080	—	—	—	—	—	—	1	3,080
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	33	189,328	—	—	—	—	1	9,900	34	199,228
	21	143,392	—	—	—	—	—	—	21	143,392

※表中の下段の数値は、施設改修課発注分を内書き

都市計画課

1 都市計画の推進

都市計画法に基づき、概ね5年ごとに実施する「都市計画基礎調査」の集計・解析結果を踏まえ、「都市計画見直しの基本方針」を策定するとともに、国や近隣都県政令市等と共同で、東京都市圏の物の動きを把握する調査（物資流動調査）の本体調査等を実施した。

予 算 額	予算執行額
92,990千円	88,759千円

2 宅地関係施策の推進

(1) 宅地開発事業に係る審査・指導

住環境の整備された良好な宅地の供給が図られるよう有識者で構成する千葉県開発審査会を運営し必要な審査を行うとともに、法令、条例等に基づき指導を行った。

予 算 額	予算執行額
10,888千円	6,373千円

(2) 被災宅地危険度判定のための市町村への支援等

被災宅地危険度判定を実施する市町村を支援するため、地域連絡協議会の体制整備を進めるとともに、被災宅地危険度判定士の認定や育成を行った。

3 盛土規制法に基づく基礎調査

盛土等による災害から国民の生命・身体を守るため令和4年5月公布、令和5年5月施行された「宅地造成及び特定盛土等規制法」（通称：盛土規制法）に基づき、新たな規制区域を指定する必要があることから、規制候補となる区域の検討に向けた基礎調査を行った。

予 算 額	予算執行額
59,730千円	59,728千円

市街地整備課

1 土地区画整理事業

(1) つくばエクスプレス沿線整備事業

つくばエクスプレス沿線の流山運動公園周辺地区、柏北部中央地区、流山木地区において、鉄道と一体となった利便性の高い街づくりを目指し、土地区画整理事業により、道路等の整備や宅地造成などを行った。

予 算 額	予算執行額
23,951,757千円	17,501,544千円

(2) 金田西土地区画整理事業

アクアライン着岸地に位置する木更津金田西地区において、商業・業務・居住等の多様な機能の集積した新たな街づくりを目指し、土地区画整理事業により、道路等の整備や宅地造成などを行った。

公園緑地課

1 都市公園整備事業

安全で快適な都市生活の確保、環境の保全、レクリエーションの場の確保及び都市防災に対処し、良好な都市環境を提供するため、市野谷の森公園等の整備及び富津公園等の長寿命化計画に基づく施設の更新等を行った。

予 算 額	予算執行額
3,130,648千円	1,826,657千円

2 都市公園管理事業

県立都市公園14箇所及び近郊緑地等において、住民が常に安全かつ快適に利用できるように施設の維持管理を行った。

予 算 額	予算執行額
1,148,547千円	1,092,268千円

3 景観形成事業

良好な景観の形成を推進するため、県民向けに、専門家による講座やまち歩きイベント等の普及啓発事業を実施するとともに、市町村支援として、景観アドバイザーの派遣や、景観まちづくり市町村連絡会議等を実施した。

予 算 額	予算執行額
4,142千円	834千円

下水道課

1 流域別下水道整備総合計画の見直し

本県では、東京湾、利根川及び九十九里・南房総の3つの「流域別下水道整備総合計画（以下「流総計画」という。）」を定めている。令和5年度は、利根川流総計画の策定にあたり、その前提となる調査業務を実施した。

予 算 額	予算執行額
27,775千円	27,775千円

建築指導課

1 建築指導行政の推進

(1) 建築物の確認・許認可

建築基準法の適正な執行を図るため、市町村及び消防機関と連携して、法令に基づく建築確認や中間検査、完了検査等を行った。

予 算 額	予算執行額
71,785千円	67,235千円

(2) 建築士、建築士事務所の指導

建築士、建築士事務所の適正な業務運営を図るため、立入検査を134事務所、報告の徴収を268事務所に対して実施し、業務について指導を行った。

(3) 建築物の安全対策

建築物の安全性を確保するため、市町村及び関係団体と連携して、建築主に対する中間・完了検査受検の啓発を行った。

また、違反建築物発生の未然防止を図るため、建築パトロールを113回実施し、720棟の立入を行った。

2 建築物総合防災対策事業

(1) 耐震診断・改修講習会

建築技術者等を対象に、耐震診断・改修に必要な技術を習得させるため、耐震診断・改修講習会を実施した。

予 算 額	予算執行額
44,103千円	33,927千円

(2) 応急危険度判定士の養成

震災後の被災建築物の倒壊等による二次災害を未然に防止し、住民の安全を確保するため、応急危険度判定士の養成講習会を実施した。

(3) 住宅・建築物の耐震化サポート事業

住宅や多数の県民が利用する建築物等の耐震化を促進するため、耐震診断補助事業等を行う市町村に対し、補助金を交付した。

住宅課

1 公営住宅建設事業

公営住宅法に基づき、住宅に困窮する低額所得者等に対して低廉な家賃の住宅を提供するものであり、令和5年

予 算 額	予算執行額
3,188,627千円	2,250,608千円

度においては、県営住宅56戸の建設事業等を行うとともに、既設県営住宅について、長寿命化計画に

基づく住居改善工事、屋上断熱防水改修、外壁改修等の改善工事を行った。

2 県営住宅管理事業

県営住宅144団地19,171戸（令和5年度末現在）を管理するとともに、必要な維持・補修等を行った。

予 算 額	予算執行額
3,230,334千円	3,207,864千円

教育庁

教育総務課

1 教育行政の推進

(1) 教育委員会会議の開催

教育行政の基本方針の決定をはじめ教育に関する事務を管理・執行するため開催された教育委員会会議は13回で、審議された議案等の件数は129件である。

予 算 額	予算執行額
7,209,499千円	7,143,816千円

(2) 教育功労者の表彰

本県の教育・学術・文化の振興に特に功績が顕著であった78人、20団体を表彰した。

(3) 市町村教育行政の充実強化

教育行政の当面する諸問題について理解を深め、文教施策の円滑な実施を図るため、市町村教育委員会教育長に対し、県の重点施策等についての資料を配付し、動画配信による説明会を開催した。

(4) 教育事務所との連携

所長会議の開催等により、教育事務所と緊密な連絡をとりながら教育行政の推進に努めた。

(5) 教育委員会事務局職員給与事務の執行

教育委員会事務局職員人件費について、例月給与並びに期末勤勉手当等の支給及び適正な事務の執行に努めた。

2 教職員給与事務の執行及び指導

県立の中学校、高等学校及び特別支援学校並びに市町村立の小学校、中学校、義務教育学校及び特別支援学校に係る教職員人件費について、例月給与並びに期末勤勉手当等の支給及び適正な事務の執行のための指導・助言に努めた。

予 算 額	予算執行額
285,058,967千円	283,600,169千円

教育政策課

1 教育施策の企画立案

(1) 第3期千葉県教育振興基本計画の推進

令和2年2月に策定した「次世代へ光り輝く『教育立

予 算 額	予算執行額
21,141千円	17,145千円

県ちば』プラン」について、令和5年度の主要事業概要を作成し、各施策における主要事業を示した。

また、教職員対象の各種研修会を行い、対面やオンラインによる講義をとおして、計画の基本理念や重点施策について周知を図った。

(2) 第4期千葉県教育振興基本計画策定事業

新しい千葉の未来を切り開く「教育立県ちば」を実現する有識者会議を設置し、大学教授等の学識経験者や民間企業の代表等の有識者から、当面する教育課題への対応や中長期的な方向性などについて意見聴取を行った。

(3) 教育委員会の点検・評価

効果的な教育行政を推進し、県民への説明責任を果たしていくため、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価（令和4年度事務を対象）に関する調整を行った。

(4) 国際教育交流の推進

「世界を舞台に活躍する人材の育成」を推進するため、県内施設において県立高校生が日本に滞在中の外国人留学生等と2泊3日の交流を行った。

また、情報科及び理数科を設置する高校の職員及び高校生を台湾へ派遣し、現地の高校生と産業教育等を中心とした交流等を行った。

(5) 県立高等学校における千葉県誕生150周年記念事業

職業系専門学科（農業・工業・商業）設置校が、農産物の販売会、150周年記念式典の記念品製作、山崎製パン株式会社との商品開発等を行った。

(6) 心のバリアフリー教育の推進

オリンピック・パラリンピックを活用した教育の成果を無形のレガシーとして受け継ぎ、共生社会の形成を目指し、教員の資質向上を図る研修、地域拠点校（40校）における実践、児童生徒がパラアスリート等を講師としてパラスポーツ体験や交流を行う取組、更なる発展・継続のための顕彰校の選定及び広報を実施した。

2 県立学校の改革推進

(1) 「県立高校改革推進プラン」の推進

「県立高校改革推進プラン」（令和4年3月策定）の具

予 算 額	予算執行額
17,331千円	13,518千円

体計画である「第1次実施プログラム」（令和4年10月策定）にまとめた事項の推進に努めた。

「第1次実施プログラム」概要

- ・12項目18校の高校再編を行う（令和5年度から7年度まで）。
※令和5年度 船橋豊富高等学校に「福祉コース」を設置
- ・全日制高校の適正規模・適正配置の基本的な考え方を示す。

(2) 県立高等学校魅力発信事業

中学生が自らのキャリアを考え、より適切な高校選択を実現できるよう、県立高校の魅力ある

教育内容等を情報発信する「学校提案型魅力発信事業」を実施し、県立高校と地域の様々な主体が連携・協働した8つの事業を通じて県立高校の魅力を発信した。

また、専門学科等の学びをわかりやすく教える体験授業や魅力を伝えるための広報活動等を行う「専門学科を体験しよう事業」を実施した。

(3) 魅力ある県立学校づくりに向けた支援

魅力ある県立学校づくりに向けた優れた取組を表彰し、県立学校の魅力づくりを推進した。

魅力ある県立学校づくり大賞

- ・最優秀賞 1校 木更津東高等学校
- ・特別賞 2校 下総高等学校、市原特別支援学校つるまい風の丘分校
- ・優秀賞 4校 千葉工業高等学校、仁戸名特別支援学校、長生特別支援学校、野田特別支援学校

(4) 工業高校企業等連携推進事業

工業教育の拠点校である千葉工業高等学校へのコーディネーターの配置や、工業系高校と、企業や大学等、外部関係機関との連携を推進する「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉」により、キャリア教育の充実と今後の地域産業を支える人材の育成を図った。

(5) 農業高校企業等連携推進事業

農業教育の拠点校である茂原樟陽高等学校へのコーディネーターの配置や、農業系高校と、各教育機関、行政機関及び地域の諸団体との連携を推進する農業関係高校人材育成支援組織「アグリサポーターズちば」により、農業教育の充実と今後の地域産業を支える人材の育成を図った。

3 広報活動の推進

教育広報「夢気球」、千葉県教育委員会ホームページ等を中心とする広報媒体の活用により、県教育委員会の重点施策や先進的な取組を効果的に紹介した。

予 算 額	予算執行額
5,017千円	5,016千円

また、広聴及び教育行政に係る相談窓口業務として、問合せ等に迅速に対応した。

令和5年度発行刊行物等

- ・教育広報「夢気球」年2回
- ・パンフレット「千葉県の教育」
- ・千葉県教育委員会ホームページ
「県教委ニュース」月2回発行
「フォトニュース」随時更新

財務課

1 県立学校管理運営事業

県立中学校、全日制高等学校及び特別支援学校の教育活動の充実を図るとともに、定時制及び通信制教育についても、その充実に努めた。

予 算 額	予算執行額
6,740,338千円	6,565,137千円

事 業 名	金 額	備 考
中学校教育振興費	14,555千円	2校
全日制高等学校管理費	3,851,985千円	119校
定時制高等学校管理費	110,004千円	16校
通信教育費	21,835千円	1校
実習船運営費	184,037千円	千潮丸（499 t）
特別支援学校運営費	2,382,721千円	37校

2 公立小・中学校施設等の整備促進

公立小・中学校等の危険建物・老朽建物の改築・改造や不足教室の解消のための施設整備事業について、国庫補助金の確保に努め、かつ、適正に執行されるよう市町村を指導した。

予 算 額	予算執行額
2,065千円	1,852千円

3 公立高等学校就学支援金

高等学校等における教育に係る経済的負担の軽減を図るため、授業料相当額の就学支援金を支給した。

予 算 額	予算執行額
7,752,632千円	7,710,765千円

4 公立高等学校等奨学のための給付金

高等学校等における教育に係る教育費負担軽減を図るため、奨学のための給付金を支給した。

予 算 額	予算執行額
868,916千円	810,884千円

5 千葉県奨学資金貸付金

高等学校等の在学者で経済的理由により修学が困難な者に対し、学資の貸付けを行った。

予 算 額	予算執行額
1,930,527千円	244,088千円

6 千葉県県立学校チャレンジ応援基金

県立学校における特色のある教育活動を推進するため、「千葉県県立学校チャレンジ応援基金」へ令和5年度に受け入れた寄附金48,721千円を積み立てた。

また、基金から4,935千円を取り崩し、各学校のプランを実施した。

予 算 額	予算執行額
5,370千円	4,935千円

7 高等学校等新入生臨時給付金

物価高騰の影響を踏まえ、制服や教材等の購入費の負担を軽減するため、特に影響が大きい公立高校1年生を対象に、県独自に給付金を支給した。

予 算 額	予算執行額
346,000千円	269,423千円

教育施設課

1 県立学校の教育財産管理

学校施設の安全対策や防災に資するため、警備委託、施設定期点検及び消防設備補修・点検等を実施した。

また、県立学校施設校地の適正な管理のため、測量等を実施した。

予 算 額	予算執行額
517,177千円	483,525千円

事 項	金 額	備 考
教育財産管理費	96,152千円	警備委託、用地測量等
教育施設防災費	376,587千円	施設定期点検、消防設備補修・点検等
財務管理事務費	10,786千円	建築確認手数料等

2 産業教育施設整備

産業教育を行う学校に、実習用備品等の整備を進め、産業教育の充実を図った。

予 算 額	予算執行額
105,774千円	71,612千円

3 高等学校施設整備

保護者が設置した普通教室空調設備のリース料等を負担するとともに、教職員の執務環境及び生徒の学習環境の改善を図るため、職員室等の管理諸室及び特別教室への空調設備の整備を進めた。

高等学校施設の長寿命化対策を推進するため「千葉県県有建物長寿命化計画」に基づき基本設計、

予 算 額	予算執行額
4,688,494千円	4,211,592千円

実施設計及び改修工事等を行った。

事 項	金 額	備 考
県立学校空調設備整備事業	961,424千円	普通教室・管理諸室空調設備リース料 特別教室等設計委託料等
県立学校長寿命化対策事業	2,069,988千円	長寿命化対策改修工事基本設計、実施設計 長寿命化対策改修工事等
高等学校施設整備費	1,151,234千円	一般整備、トイレ洋式化改修等
その他	28,946千円	高等学校土地借上料

4 特別支援学校施設整備

特別支援学校の児童生徒の増加に伴う過密状況に対応するため「第3次県立特別支援学校整備計画」に基づき、新設校の基本設計を行った。

予 算 額	予算執行額
3,095,472千円	784,737千円

また、和式トイレの洋式化や、教職員の執務環境の改善を図るため、職員室等管理諸室への空調設備の整備を行った。

学校施設の長寿命化対策を推進するため「千葉県県有建物長寿命化計画」に基づき実施設計及び改修工事を行った。

事 項	金 額	備 考
特別支援学校施設整備費	546,472千円	(仮称)千葉県立葛南地区特別支援学校大規模 改修他工事基本設計 トイレ洋式化改修、管理諸室空調設備工事等
県立学校長寿命化対策事業	237,962千円	長寿命化対策改修工事实施設計 長寿命化対策改修工事等
その他	303千円	特別支援学校土地借上料

福利課

1 教育庁等職員健康管理事業

教育庁等職員の健康の保持増進を図るため、各種の健康診断を実施し、疾病の予防・早期発見に努めた。

予 算 額	予算執行額
14,069千円	12,220千円

なお、令和5年度の教育庁等職員の定期健康診断の受診率は、人間ドックの受診も含めて、ほぼ100%となっている。

2 教職員住宅管理事業

教職員住宅の維持管理のため、施設設備の点検や補修等を行うとともに、教職員住宅1件に係る解体工事家屋事後調査を行った。

予 算 額	予算執行額
26,452千円	21,610千円

3 公立学校共済組合千葉宿泊所建設費の償還

公立学校共済組合千葉宿泊所に係る建設費の償還を行った。

予 算 額	予算執行額
383,454千円	383,452千円

生涯学習課

1 生涯学習の推進と社会教育の振興

(1) 生涯学習審議会

教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べるなど、生涯学習や社会教育に関し教育委員会に助言や答申を行った。

予 算 額	予算執行額
582,225千円	535,699千円

(2) 指導者等の養成

社会教育主事、図書館、公民館関係職員等を対象とした研修事業を実施し、生涯学習関係職員・社会教育関係職員の資質の向上に努めた。

(3) 社会教育関係団体の育成

社会教育関係団体の育成を図るため、適切な指導、助言及び助成を行った。

(4) さわやかちば県民プラザにおける生涯学習の推進

生涯学習を推進するため、生涯学習情報提供システムにより、県内の生涯学習に関する情報を収集・提供した。また、現代的な課題に関する講座や子供の学ぶ意欲を高める講座を開催した。

(5) 県立学校開放の推進

県立学校文化施設及び交流施設等を地域の団体に開放した。また、県民の多様な学習ニーズに応えるため、県立学校の教育機能を開放し、「県立学校開放講座」を開催した。

(6) 青少年教育の充実

「読書県『ちば』」の推進に向け、発達段階に応じた保護者向けリーフレットの作成・配付を行った。

(7) 地域とともにある学校づくり・学校を核とした地域づくり（学校と地域の連携・協働）の推進

学校・家庭・地域の連携を強化し、地域ぐるみで学校運営を支援する体制整備を図るとともに、地域とともにある学校づくりを推進した。また、子供たちの安全で安心な居場所づくりのため、

小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組の充実に努めた。

(8) 家庭教育への支援の充実

少子化や核家族化などにより子育て中の保護者が孤立することを防ぐため、地域の多様な人材を活用し、保護者同士の交流の場や子育てに関する学習機会の提供などを行う家庭教育支援チームの設置を推進した。また、市町村家庭教育支援員等のための研修講座を実施するなど、家庭教育に関する学習機会や支援体制の充実に努めた。

(9) 企業や大学等と連携した教育の推進・教育CSRの推進

子供たちが、将来の千葉県を支える社会人・職業人として自立していく上で必要な勤労観、職業観を育てるため、県内の多様な企業や大学等と連携した体験プログラムを提供するなど、キャリア教育や教育CSRの推進に努めた。

(10) 学校卒業後における障害者の学びの支援事業

学校卒業後の障害者が社会で自立して生きるために必要となる力を生涯にわたり維持・伸長するため、市町村公民館での障害者対象講座の開講支援や生涯学習講座の動画配信等を行った。

(11) リカレント教育推進事業

社会に求められる産業人材の育成等につなげるため、生涯にわたり必要な知識を学び直すリカレント教育を「千葉県リカレント教育推進協議会」、「リカレント講座」などを通じて推進した。

2 視聴覚教育の促進

情報化社会に対応した視聴覚教育の振興を図るため、総合教育センターにおける視聴覚教育の充実と教材の整備・活用を図るとともに、視聴覚教育の指導者を養成するための研修等を実施した。

予 算 額	予算執行額
928千円	831千円

3 青少年教育施設の管理・運営

集団宿泊生活等を通じて心身ともに健全な青少年の育成を目指す県立青少年教育施設の5施設については、指定管理者に運営を委託し、青少年の体験活動の一層の充実と適正な施設運営を図るとともに、必要な施設整備を行った。

予 算 額	予算執行額
621,998千円	617,651千円

4 図書館の管理・運営

県立図書館については、県内公共図書館サービスの拠点として図書館資料の充実を図ったほか、資料の図書館間の貸出しや課題解決支援サービスの普及など県内市町村立図書館等への支援活動を行った。また、令和元年8月に策定した「新千葉県立図書館等複合施設基本計画」に基づき、新たな「知の拠点」となる複合施設を建設するための整備を進めている。

予 算 額	予算執行額
738,689千円	676,407千円

学習指導課

1 教職員の研修事業

教職員の資質能力の向上と学習指導要領に基づいた学習指導の充実を図るために、幼稚園等、小中学校等、高等学校、特別支援学校の教職員を対象として、教育課程、各教科等及び今日的教育課題等に関する研修や研究協議を実施した。

また、各学校の実態に応じた教職員の指導力の向上のために、県内公立学校に指導主事等を派遣し、ICTや学習支援ソフトの活用、学習評価等に関する指導、助言を行った。

さらに、先進的・具体的な授業実践の研究を通じて、全県的な教科指導技術の向上を図るために、高等学校では教科研究員を任命し、研究成果を広く周知した。

予 算 額	予算執行額
5,342千円	3,162千円

2 学力向上の推進

(1) 学力向上対策

児童生徒の学力向上を目的として、「自ら課題を持ち、多様な人々と協働し、粘り強くやりぬく子」、「子供と社会の変化を捉え、自律的に学ぶ姿勢を持ち、授業を工夫する教員」を目標に、子供たちの学ぶ意欲の向上と、教員の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の2点を柱とした「ちばっ子『学力向上』総合プラン（学びの未来づくりダブル・アクション+ONE）」を総合的な学力向上施策として推進した。

小学校専科非常勤講師等配置事業や塾講師による専科指導研究事業等、外部人材を活用した事業に取り組んだ。

予 算 額	予算執行額
345,069千円	334,457千円

(2) 学習サポーター派遣事業

児童生徒の学力向上を図るため、少人数指導等の授業支援や、学校教育の一環として行う放課後等の学習支援の取組などに対して、退職教員や教員を志望する大学生等を学習サポーターとして小中学校184校に派遣した。

(3) 塾講師による専科指導研究事業

県全体の教員の指導力向上と児童の学力向上につなげることを目的に、県内3校の小学校第5学年の算数科の専科指導に、塾講師を活用し、教員と塾講師による指導の比較検証を行った。それぞれの良さを生かした効果的な指導法を明らかにし、県内小中学校の教員に対して、周知を図った。

(4) キャリア教育の推進

本県のキャリア教育等に係る今後の効果的な施策展開につなげるため、高校生等を対象とした働くことに関する意識調査と、企業を対象とした雇用に関する実態調査を行った。また、キャリアデザインを考え方を学ぶプログラムを、県立高校3校を対象に実施した。さらに、高校生を対象に、各分野で活躍する方の講演会や地域課題に協働して取り組む探究活動を実施し、キャリア意識の醸

成や社会人として求められる課題解決力の育成を図るとともに、インターンシップ実施に係る支援などを行った。

(5) 海の副読本制作事業

三方を海に囲まれた千葉県において、県内の小学生が郷土への興味関心を広げ、ふるさと「ちば」の価値を再認識するきっかけとするため、本県の海にまつわる歴史や文化、産業等を学ぶことができる副読本を作成し、県内すべての小学5年生に配付した。

3 国際理解教育の推進

国際化社会に対応した教育の推進の一環として、外国語教育及び国際理解教育の充実を図るため、外国語指導助手（ALT）60人を県立学校に配置した。

予 算 額	予算執行額
341,357千円	330,442千円

外国人児童生徒等の教育の支援のため、県立学校48校に延べ80名の教育相談員を派遣し、適応指導、日本語指導のほか、国際理解教育の推進を図った。

4 道徳教育の推進

千葉県で学ぶ子供の道徳性を高めるために、道徳教育懇談会では、道徳教育の充実と、これまで県独自に作成してきた道徳教材の効果的な活用について、大学教授等の有識者を委員として意見交換を行った。

予 算 額	予算執行額
3,335千円	2,364千円

また、特色ある道徳教育推進校16校1園の指定や道徳教育推進教師研修会の実施等を通して、本県の道徳教育の在り方について検討した。

5 総合教育センター等の運営

(1) 時代のニーズ並びに本県の教育課題に即応するため、4件の調査研究を実施した。

予 算 額	予算執行額
196,569千円	177,488千円

(2) 教職員の資質向上のための研修を、幼稚園等、小中学校等、高等学校、特別支援学校の教職員等（延べ46,494名）を対象に実施した。

(3) カリキュラムサポート室においては、学校や教職員の教育活動の充実に向け、相談への対応や教育情報の提供、人材育成のための教師塾や研修を希望する教員の要望に応えるオーダーメイド研修等を実施した。

(4) 教職員の資質向上に資するため、教育情報誌として「千葉教育」を年間6回発行した。

(5) 教育相談事業(特別支援教育部)として、子供、保護者からの来所相談(62件、延べ522回)、電話相談(444件)、メール相談(12件)、子供、保護、教職員等に対する出張相談(1件、延べ1回)を実施した。

6 教育用ICT環境の整備

(1) 県立学校における教員の校務環境改善のため、教員一人一人が成績処理や教材作成等の校務処理を行う校務用パソコン（1人1台PC）を整備し活用を図った。

予 算 額	予算執行額
2,615,083千円	2,560,781千円

(2) 学校から安全にインターネットに接続できる環境を整備し、提供しているサービスの充実を図った。

(3) 情報活用能力を育成するため、教育用コンピュータの更新整備を推進した。

(4) 高速大容量通信が可能なネットワークにより、全県立学校において1人1台端末などのICTを活用した授業を実施した。

(5) 県立高校においてICTを活用する機会を増加させ、ICT活用指導力を向上させるため、専門的な知識を有し、ICTの活用を積極的に促す人材（学校DX推進パートナー）を配置した。

7 公立学校情報機器整備基金事業

県内市町村の1人1台端末の計画的な更新を行うため、国から交付された資金を、複数年度にわたり適正に管理することを目的として、新たに基金を設置した。

予 算 額	予算執行額
3,800,000千円	3,787,187千円

児童生徒安全課

1 生徒指導の充実

(1) 教育相談体制の充実

いじめ、不登校等の未然防止や早期発見・解決を図るため、スクールカウンセラー等を県下全公立中学校及び公立小学校（千葉市を除く）、県立高等学校105校、教育事務所等6箇所配置し、学校における教育相談体制の充実に努めた。

また、難しい事案への支援や、重大事件事故に対応できるスクールカウンセラースーパーバイザー15名を各教育事務所等に配置し、心のケアに対する緊急支援体制の強化に努めた。

児童生徒が抱える問題が、多様化、複雑化している中、スクールソーシャルワーカーを公立小中学校18校、定時制課程を置く公立高等学校17校、地域連携アクティブスクール4校、教育事務所5箇所に配置し、児童生徒のきめ細かな支援の充実に努めた。

さらに、県内の中学校・高等学校に在籍する生徒を対象に身近なコミュニケーションツールであるSNSを活用した相談窓口について、週当たり火・木・日の3日開設し、悩みを抱える生徒が安心して相談できる体制の充実に努めた。

(2) いじめ防止対策の推進

いじめ防止対策推進法、県いじめ防止対策推進条例及び県いじめ防止基本方針に基づき、学校におけるいじめ対策の体制について指導助言を行った。いじめ防止等に関する啓発資料を活用し、教職員の研修等を実施するとともに、国及び県基本方針の内容について周知を図った。

(3) 不登校児童生徒の教育機会の確保

千葉県不登校児童生徒の教育機会の確保を支援する条例に基づき、不登校児童生徒の教育機会の確保を総合的に推進するため、支援を必要とする子供たちやその保護者のニーズ、フリースクール等民間団体の活動状況及び諸課題を把握するため、不登校児童生徒等実態調査を実施した。

2 子どもと親のサポートセンター等の運営

- (1) 教育相談事業として、来所相談（延べ6,255件）、電話相談（延べ10,862件）、SNS相談（延べ3,569件）等を実施した。

予 算 額	予算執行額
99,887千円	97,292千円

- (2) 子供たちの心豊かな成長を支援するため、学校・関係機関支援（112件）、不登校児童生徒支援チーム（68件）など8事業を実施した。
- (3) 生徒指導・教育相談の充実を図るため、教員対象の研修講座、教育関係職員研修会（2,946名）を実施した。
- (4) 子供たちを取り巻く様々な今日的課題の解決に資するため、2件の調査研究を実施した。

3 学校安全

(1) 交通安全教育及び防犯教育の充実

原付通学許可者等に対する交通安全教室を開催し、安全に対する意識の啓発等を図った（参加生徒305名）。千葉県通学路推進事業では、モデル地域1地域、拠点校1校を指定し、学校と地域が連携した安全確保の取組を実践し、交通安全教育の推進を図った。防犯教育公開事業では、モデル地域1地域、拠点校1校を指定し、防犯教育について地域と学校が連携した安全確保の取組を行い、防犯教育の推進を図った。

予 算 額	予算執行額
35,787千円	4,250千円

(2) 防災教育の推進

各地区における防災教育のリーダーとなる教員を育成するため、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校から推薦された教員（88名）、管理職（282名）を対象に、実践的な防災教育を推進するため研修を行った。命の大切さを考える防災教育公開事業では、モデル地域3地域、拠点校3校を指定し、公開授業や合同避難訓練などを行い、その研究成果を広め、効果的な防災教育の推進を図った。

特別支援教育課

1 特別支援教育振興事業

(1) 千葉県教育支援委員会の開催

心身に障害のある児童生徒の適切な就学を図るため、教育支援委員会を開催した。

- ・委員会開催 5回
- ・取扱件数 541件

(2) 特別非常勤講師の配置

特別支援学校において、障害のある児童生徒への指導の充実を図るため、専門的知識を有する外部講師を配置した。

- ・配置校 34校
- ・配置人数 67名

(3) 県立特別支援学校修学旅行等安全対策事業

医療的ケアを必要とする児童生徒が参加する修学旅行に医師・看護師を派遣し、児童生徒の健康及び安全の確保を図った。

- ・実施校 27校
- ・派遣医師・看護師数 111名

(4) 特別支援アドバイザー事業

教育事務所に特別支援アドバイザーを配置し、発達障害を含む障害のある幼児児童生徒の支援のため、要請に応じて公立の幼稚園、小・中学校、高等学校等を巡回し、派遣先の各学校の教員、特別支援教育支援員、ボランティア等に対して助言・援助を行った。

- ・配置人数 21名
- ・派遣回数 1,018回

(5) 高等学校特別支援教育支援員配置事業

県立高等学校に在籍する生活全般の介助を必要とする生徒への適切な支援を行うために、特別支援教育支援員を配置した。

- ・配置校数 11校
- ・配置人数 13名

(6) 特別支援学校におけるパラスポーツ事業

2020東京オリンピック・パラリンピックの成果をレガシーとして本県に定着させていくことを踏まえ、地域の小中学校等への出前授業、パラスポーツ紹介、パンフレットの作成・配布等を行った。

- ・出前授業 31回

予 算 額	予算執行額
311,798千円	294,597千円

(7) 「第3次県立特別支援学校整備計画」の推進

令和4年3月に策定した「第3次県立特別支援学校整備計画」に基づき、特別支援学校の過密状況への対応を進めた。

教職員課

1 学校管理運営指導事業

(1) 公立学校教員採用候補者選考事業

県立学校及び義務教育諸学校教員志願者4,949人を

予 算 額	予算執行額
1,904,435千円	1,711,843千円

対象に採用候補者選考を実施し、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭、養護教諭及び栄養教諭2,076人を採用候補者名簿に登載した。

令和5年度は、大学3年次等から選考の一部を受験することができる「ちば夢チャレンジ特別選考」を新設した。また、「ちばスペシャリスト特別選考Ⅰ」での「家庭」の追加、「ちばスペシャリスト特別選考Ⅱ」の「水産」での1次選考免除、「社会人特別選考」「他県現職特例選考」の志願要件変更を行ったほか、兵庫臨時会場の新設や盛岡会場・名古屋会場の受験教科の拡大など、他県会場の充実に取り組んだ。

(2) 教員不足解消に向けた緊急対策事業

人材サービス会社と連携し、訴求力の高い採用プロモーション活動や千葉大学教育学部とのモデル事業、優れた人材を確保するための奨学金返還緊急支援事業を実施した。

(3) 教育職員免許状授与等事業

教育職員免許法に基づき、教育職員免許状の授与、検定、書換、再交付、授与証明書の発行及び免許状更新の事務を実施した。

(4) 教職員研修事業

ア 公立学校管理運営研修会

学校の管理及び運営に関する諸問題について共通理解を深め、学校経営の適正かつ円滑な実施に資するため、教頭を対象に研修を実施した。

イ 公立小・中学校等事務職員研修会

学校事務職員の資質能力の向上を図るため、新任・中堅事務職員を対象に研修を実施した。

ウ 教職員の人事評価に係る研修会

教職員の人事評価制度への理解と円滑な運用を図るため、全公立学校長等を対象に研修を実施した。

エ 免許法認定講習

教育職員免許法に基づき、上級免許状や他教科免許状、他校種免許状等の取得に必要な単位を

修得するための講習を現職教員対象に実施した。

(5) 非常勤講師等の配置

学校教育の充実を図るため、非常勤講師や小学校専科教員、スクール・サポート・スタッフ等を配置した。

2 高等学校総務事業

(1) 学校教育の充実を図るため、非常勤講師等を配置した。

予 算 額	予算執行額
2,032,617千円	1,977,085千円

(2) 県立高等学校の学校技能員の退職不補充に伴い、業務委託を行った。

3 特別支援学校振興事業

(1) 学校教育の充実を図るため、非常勤講師やスクール・サポート・スタッフ等を配置した。

予 算 額	予算執行額
2,454,291千円	2,371,485千円

(2) 県立特別支援学校の学校技能員及び運転手の退職不補充に伴い、業務委託を行った。

保健体育課

1 学校保健の充実

(1) 学校医等の委嘱

県立学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師及び健康管理医を委嘱し、健康教育の推進に努めた。

予 算 額	予算執行額
295,230千円	290,606千円

(2) 保健教育の充実

ア 養護教諭を対象とした研修の実施

養護教諭初任者研修、養護教諭2年目研修、中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（養護教諭）等の各種研修を実施し、専門的知識や技術の習得に努めた。

イ 学校保健に関する研修会の開催

小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教員を対象に、性教育や薬物乱用防止教育等の学校保健に係る課題をテーマとした研修会を開催し、学校保健に関する指導者の育成を図った。

(3) 公立学校健康審査会

千葉県公立学校職員健康審査会（一般部会、神経・精神部会、特別部会）を実施し、学校職員の健康管理の充実を図った。

(4) 県立中学校・高等学校へのAEDトレーナー等の設置

「千葉県AEDの使用及び心肺蘇生法の実施の促進に関する条例」に基づき、AEDトレーナー

を拠点校24校に配置し、県立中学校・高等学校の生徒を対象とした実習の充実を図った。

2 健康管理対策

(1) 教職員の健康管理

教職員の健康の保持増進のために各種健康診断を実施

し、疾病等の予防及び早期発見に努めた。また、「千葉県教育委員会メンタルヘルスプラン」を活用し、教職員を対象としたメンタルヘルス対策の推進を図った。

予 算 額	予算執行額
239,479千円	226,518千円

(2) 児童生徒の健康管理

ア 児童生徒の健康の保持増進のために各種健康診断を実施し、疾病等の予防及び早期発見に努めた。

イ 校内における救命救急体制の充実を図るため、全県立学校に自動体外式除細動器（AED）を設置した。

3 学校給食の充実

(1) 栄養教諭・学校栄養職員対象の研修の開催

栄養教諭及び学校栄養職員の資質向上を図るため、各層の研修を開催した。

- ・新規採用学校栄養職員研修、学校栄養職員2年目研修、中堅等資質向上研修Ⅰ（学校栄養職員）、専門研修（学校栄養職員）、栄養教諭初任者研修、中堅等資質向上研修Ⅰ（栄養教諭）

予 算 額	予算執行額
1,176,621千円	1,041,957千円

(2) いきいきちばっ子食育推進事業

「ちばの食」を通じて子供たちの健やかな体を育むとともに、規則正しい生活習慣を身に付けさせるため、食育ノートの活用や体験型の食育活動を行うなど、学校における食育の推進を図った。

ア 食に関する指導事業地区別研究協議会

千葉市を除く給食を実施する公立学校の管理職又は給食主任及び栄養職員・栄養教諭等に対して、食に関する指導のあり方等の研修を実施。

イ 地域における食育指導推進事業

食育指導推進拠点校16校指定、食育指導推進委員16名委嘱

ウ 高等学校と連携した食育活動支援事業

高等学校の施設や人材を活用し、近隣小中学校の児童生徒が体験型の食育活動を行った。

- ・東葛飾地域：県立清水高等学校、野田市立七光台小学校・北部小学校

県立流山高等学校、流山市立西初石小学校・西初石中学校

(3) 学校給食の安全安心の確保

給食食材の一層の安全安心のため、放射性物質検査機器を各教育事務所に設置し、給食に使用予定の食材のサンプル検査を実施した。

(4) 学校給食設備の整備充実

県立特別支援学校における学校給食に必要な設備の更新を行った。

(5) 被災児童生徒就学支援等事業（医療費、学校給食費）

被災により就学が困難となった幼児、児童又は生徒の医療費、学校給食費に対して助成するため、国の被災児童生徒就学支援等事業交付金を活用し、市町村が実施する就園・就学支援事業に助成した。

(6) 夜間定時制高等学校夕食費補助事業

夜間定時制高校に通う経済的に厳しい生徒に対して、学校で提供される夕食に係る費用の一部を助成することにより負担軽減を図った。

(7) 公立学校給食費無償化事業

子どもの多い世帯について経済的負担の軽減を図るため、市町村と連携し、第3子以降の義務教育期間における学校給食費の無償化を実施した。

- ・市町村(53市町村) 県立学校(30校)

(8) 県立学校の学校給食における物価高騰対策事業

学校給食の質の維持及び給食費の値上げ防止のため、消費者物価指数の上昇率を踏まえ、県立学校の給食費会計に対して食材費高騰分の補助を行った。

4 体育・スポーツ振興事業

(1) 指導力強化事業

運動部活動指導者の指導力向上を目的とした「運動部活動指導者講習会」の実施や県立学校に運動部活動指導者を派遣する「スポーツエキスパート活用事業」、学校部活動の地域移行を推進するための「地域における部活動地域移行環境整備事業」を実施した。

予 算 額	予算執行額
100,863千円	84,421千円

(2) 学校体育指導事業

児童生徒の体力・運動能力の実態調査及び運動能力証の交付を行った。また、遊・友スポーツランキングちばを実施した。

「千葉県教育委員会研究指定校（学校体育）」を指定し、その研究成果の普及・活用を図った。

小中体連、高体連、高野連、特体連に「学校体育関係団体事業補助金」を交付するとともに各種大会を共催し、学校体育の推進を図った

(3) スポーツ振興事業

幼児期における体力づくりを推進するため、幼稚園教諭対象の研修会や保護者対象の家庭教育支援講演会を実施した。

文化財課

1 文化財保護事業

貴重な文化財の適正な保存・管理とその活用を図るため、指定文化財の保存整備・修理等事業への助成等を行い、

予 算 額	予算執行額
176,897千円	156,245千円

文化財に対する保存と活用に努めた。また、埋蔵文化財を保護するため、重要遺跡の確認調査を実施したほか、緊急調査事業の助成等を行い、保護体制の整備に努めた。

事 業 名	事 業 内 容	金 額
文化財の保存・管理充実と活用の促進	・国・県指定文化財等の保存整備等事業への助成 ・県有文化財の活用	140,286千円
埋蔵文化財保護対策の推進	・重要遺跡確認調査の実施 ・埋蔵文化財緊急調査事業の助成 ・不特定遺跡発掘調査の助成	15,959千円

警察本部

1. 警察活動基盤の充実強化

(1) 治安情勢に対応した警察活動の推進

予 算 額	予算執行額
9,411,339千円	8,321,862千円

安全で安心できる県民生活を確保するため、高齢者が被害に遭いやすい電話 d e 詐欺や交通事故防止対策を始め、自治体や関係機関等と連携した広報啓発活動など、地域の治安情勢に即した総合的な対策を推進した。

また、県民生活を脅かす犯罪の徹底検挙と犯罪組織の弱体化・壊滅に向けた取組の推進を重点として、組織の総合力を発揮した初動捜査や科学捜査を積極的に推進した。

このほか、県警では、令和5年中においては「安全で安心できる県民生活の確保」を、令和6年からは「安全安心を実感できるくらしの実現」を重点目標に掲げるとともに、「働きやすい職場環境の形成と職員相互の連携」を加えた6項目を活動重点とし、各種警察活動を展開している。

(2) 警察施設の基盤整備

令和5年度は、千葉県県有建物長寿命化計画に基づき、老朽化・狭隘化が著しい警察署の建替事業として、旭警察署が完成、富津警察署が工事2年目など、治安基盤を充実強化するための施策を推進した。

2. 刑事警察活動の強化

令和5年中における本県の刑法犯認知件数は37,538件で、前年と比較して4,810件（14.7%）増加した。

予 算 額	予算執行額
1,784,024千円	1,696,136千円

平成15年以降減少していたが、増加に転じた令和4年よりも大幅に増加した。

このうち、殺人・強盗等の重要犯罪は541件で、前年と比較して93件（20.8%）増加し、侵入窃盗・ひったくり等の重要窃盗犯は4,013件で、前年と比較して621件（18.3%）増加となっている。

刑法犯認知件数の全国順位は第6位と高水準で推移していることから、更なる県民の安心感醸成のため、殺人・強盗等の凶悪犯については、組織の総合力を発揮した初動捜査やDNA型鑑定等の科学捜査を積極的に推進するとともに、各種検挙活動を強力に展開して、被疑者の早期検挙に努めている。

また、電話 d e 詐欺については、認知件数が1,310件、被害総額が約30億円と依然として巨額な被害をもたらしていることから、自治体や関係機関等と連携して各種広報媒体を活用した抑止活動を行うとともに、警察の総力を挙げた取締り活動を推進し、被疑者の徹底検挙・犯行グループの壊滅に取り組んでいるところである。

犯罪組織の弱体化・壊滅に向けた取組については、県内で活動する暴力団等の組織実態を解明するとともに、あらゆる法令を駆使した取締りを徹底し、併せて、犯罪収益の剥奪を図った。薬物事犯では、末端乱用者、密輸事犯の取締りを徹底するとともに、薬物密売組織の実態解明、壊滅に向けた取組を推進した。

また、自動車ヤード総合対策については、立入り、実態把握・解明と併せ、あらゆる法令を駆使し、

関連犯罪の徹底検挙を図るなど、不法自動車ヤードの壊滅に向けた取組を推進した。

なお、刑法犯の認知及び検挙状況については別表1及び別表2、暴力団犯罪及び来日外国人犯罪の検挙状況については別表3、薬物犯罪の検挙状況及び拳銃押収状況については別表4のとおりである。

別表1

区 分	全刑法犯	前 年 比	重要犯罪	前 年 比	重要窃盗犯	前 年 比
認知件数	37,538件	4,810件 (14.7%)	541件	93件 (20.8%)	4,013件	621件 (18.3%)
検挙件数	11,806件	697件 (6.3%)	409件	39件 (10.5%)	1,663件	282件 (20.4%)
検挙人員	7,589人	889人 (13.3%)	347人	67人 (23.9%)	233人	44人 (23.3%)

別表2

区 分	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他刑法犯	総 数
認知件数	268件	2,216件	28,287件	2,094件	503件	4,170件	37,538件
検挙件数	211件	1,666件	7,607件	623件	382件	1,317件	11,806件
検挙人員	210人	1,656人	4,096人	433人	246人	948人	7,589人

別表3

区 分	暴力団犯罪		来日外国人犯罪	
	刑法犯	特別法犯	刑法犯	特別法犯
検挙件数	643件	287件	990件	707件
検挙人員	358人	238人	294人	510人

注) 来日外国人：永住者、永住者の配偶者等、特別永住者、在日米軍関係者及び在留資格不明者を除いた外国人をいう。

別表4

区 分	薬物犯罪		拳銃押収	
		密輸		暴力団
検挙件数	826件	113件	13丁	0丁
検挙人員	711人	129人		

犯罪抑止の取組では、地域住民や自治体・関係機関等と連携し、総合的な犯罪抑止対策を推進している。

犯罪の予防や犯罪発生時の迅速な対応を図るため、駅周辺の繁華街を対象として、街頭防犯カメラネットワークシステムを設置運用しており、平成30年12月に50台、令和2年7月に70台、計120台のカメラを設置している。

令和5年中は、警察署ごとに選定した「電話d e詐欺被害撲滅モデル地区」を中心に、迷惑電話対策機器の普及促進を始めとした固定電話機対策を推進した。さらに、10月を「電話d e詐欺被害

防止強化月間」に設定し、県や各関係機関・団体と連携した集中的な広報啓発活動を展開するなど、官民一体となった取組を強力に推進した。また、「電話 d e 詐欺・悪質商法被害抑止コールセンター事業」を継続運用したほか、令和5年4月から新たに配置された「高齢者安全対策アドバイザー」が、高齢者世帯への個別訪問による防犯指導を実施するなど、各種施策を推進した。

サイバー犯罪への対処については、情勢に応じた必要な資機材の整備・高度化を推進するとともに、最新の犯行手口に対応するための研修により対処能力の強化に努めた。

ストーカー・DV事案、児童虐待事案等の人身安全関連事案に対しては、継続して県や千葉市などの関係機関相互の連携と情報共有を図った。

このほか、風俗関係事犯の取締り等による繁華街・歓楽街の安全・安心の確保に向けた対策、高齢者が被害に遭いやすい悪質商法事犯など、県民生活に深く関わりのある警察事象に対し迅速かつ的確な対応に努めた。

3. 交通警察活動の強化

令和5年中の県下の交通事故発生件数は13,564件と前年より341件増加し、死者数も127人と前年より3人増加

予 算 額	予算執行額
6,380,117千円	6,250,957千円

したが、飲酒を伴う交通事故発生件数は116件と前年より7件減少した。

令和5年中の交通事故防止対策では、交通情勢や交通事故発生状況の分析に基づき、「飲酒運転の根絶」、「通学路をはじめとした歩行者保護「ゼブラ・ストップ」等の徹底」、「高齢者安全対策の強化」及び「自転車等の安全利用対策の強化」を4つの柱として、飲酒運転の危険性や罰則等についての広報啓発活動や交通安全教育の推進、通学路等における交通規制や交通安全施設等による交通安全環境の整備、反射材の普及促進を始めとした高齢者安全対策、交通事故抑止に資する交通指導取締りなど、「交通安全県ちば」の実現に向けた対策を推進した。

そのほか、違法駐車に対しては、地域住民の意見・要望等を反映させ、違法駐車の実態に応じた、駐車監視員活動ガイドライン又は違法駐車取締り活動方針を策定・公表し、当該ガイドライン等の随時見直しを図るなど、悪質性・危険性・迷惑性の高い違反に重点を置いた取締りを推進した。

なお、令和5年度における交通安全施設等の整備状況は、次のとおりである。

区 分	金 額
信号機（新設12基）	84,431千円
信号機（改良等）	1,606,418千円
管 制 セ ン タ ー	694,463千円
標 識	412,100千円
標 示	411,060千円
そ の 他	87,293千円
合 計	3,295,765千円

※ 繰越予算163,493千円（信号機改良等）は含まない。

定額の資金を運用する基金の 運用状況報告書

定額の資金を運用する基金の運用状況報告書

1 土地開発基金・美術品等取得基金運用状況報告書

令和5年度における特定の目的のために定額の資金を運用する基金について、地方自治法第241条第5項の規定により報告する。

(1) 千葉県土地開発基金

運用状況

令和5年度末の基金現在高は1,800,000千円で、内訳は千葉県土地開発公社等への貸付金が1,400,000千円、現金が400,000千円である。

なお、当該年度中の運用状況は次のとおりである。

(単位：千円)

区 分		令和4年度末現在高	令和5年度中増減	令和5年度末現在高
基金総額		1,800,000		1,800,000
内訳	貸付金	1,400,000		1,400,000
	現金	400,000		400,000

(2) 千葉県美術品等取得基金

運用状況

令和5年度末の基金現在高は2,000,000千円で、内訳は現金が2,000,000千円である。

なお、当該年度中の運用状況は次のとおりである。

(単位：千円)

区 分		令和4年度末現在高	令和5年度中増減	令和5年度末現在高
基金総額		2,000,000		2,000,000
内訳	現金	686,260	1,313,740	2,000,000
	物品	1,313,740	△1,313,740	

